HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

ベーシックインターナビ

VXM-194VFi

エントリーインターナビ

VXM-194Ci

Designed for Windows Media™

Made for iPhone | iPod

Bluetooth®

VICS

DVD VIDEO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

SDXC™

地デジ DIGITAL

ワイドFM

ETC 2.0

DOLBY AUDIO™

internavi Premium Club

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda 純正の商品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品は Honda 車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。
- Honda 車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機 (ナビゲーション) を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■ お客様のプライバシー保護のために ...

- メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ (登録リスト、メンテナンス情報など) を、本書に記載した内容に従って初期化 (データの消去) するようにしてください。

■ 著作権保護のために ...

- 本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡 (有償、及び無償) ・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■ 個人情報のお取り扱いについて

- 個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。

https://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

目次

はじめに

安全上のご注意 (必ずお守りください) ..8
使用上のご注意 ..10
本書の読みかた ..12
本書の構成 ..12
インターナビについて ..14
インターナビとは ..14
インターナビサービスについて ..14
インターナビサービスを開始するまでの流れ 15
インターナビとは ..16
パソコン、スマートフォンでインターナビを利用する ..18
インターナビ・プレミアムクラブの方 ..18
プレミアムクラブの会員 ID とパスワード（暗証番号）について ..18
パーソナル・ホームページ ..18
スマートフォン・アプリ ..19
Honda Total Care 会員の方 ..19
Honda Total Care 会員サイト（PC）..19
スマートフォン・アプリ ..19

基本操作

各部の名称とはたらき ..20
本機の機能制限について ..21
基本操作 ..22
電源を入れる / 切る ..22
電源をオンする ..22
電源をオフする ..22
ユーザーセットアップ（初期設定）..22
自宅を登録する ..23
Bluetooth の設定をする ..23
地図表示を設定する ..24
案内音声の音量を設定する ..24
オプションボタンに機能を登録する ..24
フロントパネルの角度を調整する ..24
画面 / リストの操作 ..25
画面の切り替えかた ..26
フロントパネルのボタンで切り替える画面 ..26
目的地メニュー画面または AUDIO メニュー画面から切り替える画面 ..27
画面をカスタマイズする ..28
目的地メニュー /AUDIO メニューをカスタマイズする ..28
お買い上げ時のメニューに戻す ..29
オープニング画面を変更する ..29
お買い上げ時の画面に戻す ..30
画面の明るさを調整する ..30
画面表示のオン / オフ ..31
画面表示をオフにする ..31
画面表示をオンにする ..31
時計を全画面に表示する ..31
時計の全体表示を解除する ..31
ショートカット機能を使う ..32
ショートカットボタンに機能を登録する ..32
お買い上げ時の設定に戻す ..32

ナビゲーション

地図の見かたと操作 ..33
現在地図画面の見かた ..33
地図の縮尺を変える ..34
市街地図について ..34
地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える ..34
地図を 2 画面表示する ..35
地図をスクロールする ..35
スクロール地図画面の見かた ..36
自宅を登録する / 自宅に帰る ..37
自宅を登録する ..37
自宅を変更する ..38
自宅へ帰る ..38
ナビゲーションの流れ ..39
行き先を探す ..40
目的地メニューで探す ..40
名称から探す ..41
エリアを指定して検索する ..42
ジャンルで絞り込む ..42
住所から探す ..43
電話番号 / 郵便番号 / マップコード / 緯度・経度で探す ..44
履歴から探す ..45
履歴を削除する ..45
登録地点から探す ..46
周辺の施設を探す ..46
ジャンルから探す ..47

NaviCon で探す（VXM-194VFi のみ）..... 48
本機とスマートフォンを接続する 48
NaviCon からナビの地図表示を操作する 48
目的地を設定する 48
NaviCon 友達マップ機能を使う 48
提携駐車場を行き先に設定する 50
ルートの探索と案内.....51
ルートの探索と案内を開始する 51
internavi ルートで案内を開始する..... 51
internavi ルート以外の探索条件で案内を開始する..... 51
VICS によるルート探索 52
ルート学習による自宅周辺の探索 52
複数の到着地点情報があったとき 53
ルートの探索条件を変更する 53
ルート案内画面について..... 54
一般道路でのルート案内..... 54
マルチインフォメーションディスプレイ表示について..... 54
高速道路でのルート案内..... 55
音声案内について 56
案内ポイントでの割り込み表示 57
交差点案内図の表示..... 57
高速道分岐イラストの表示..... 57
ETC レーン表示..... 58
ルートを再探索する 58
ルートを編集する 59
経由地を追加する 59
目的地・経由地の順番を入れ替える 59
目的地・経由地を削除する..... 60
利用するインターチェンジを変更する..... 60
変更したインターチェンジを元に戻す..... 61
走行中のルートを表示する..... 62
ルート全体を表示する..... 62
目的地を表示する 62
ルート案内を中止する..... 63
ルートから外れたときは..... 63
地点を登録する.....64
地点を登録する 64
登録した地点をリストで見る 64
登録地点を編集する 65
グループ名を編集する..... 66
登録地点を削除する 66
文字入力のしかた 67
文字の種類を切り替える..... 67
文字を入力する 67
トグル入力で文字を入力する 68

オーディオ・ビジュアル

AV の基本操作 69
ソースを切り替える 69
AV 画面を表示する 69
AV 画面からソース切替画面を表示する..... 69
画質を調整する 70
映像の画面表示サイズを変更する 70
ラジオ（AM/FM/ 交通情報）を聴く...72
画面の見かたと操作 72
プリセットモードを切り替える 72
放送局をリストから選局する 72
放送局を登録（プリセット）する 73
交通情報を受信する 73
TV を視聴する（VXM-194VFi のみ）... 74
放送局のプリセットについて 74
画面の見かたと操作 74
放送局を登録（プリセット）する 75
画質を調整する 75
番組表を見る..... 76
番組表の見かたと操作..... 76
緊急放送を表示する 76
中継局 / 系列局をサーチする..... 77
TV の設定をする 77
CD・オーディオファイルディスクを再生する.....78
ディスクを入れる / 出す..... 78
ディスクを取り出す..... 78
ディスクを取り出せないときは 78
画面の見かたと操作 79
DVD を再生する（VXM-194VFi のみ)...80
画面の見かたと操作（DVD ビデオ /DVD-VR）..... 80
DVD ディスクメニューを操作する..... 81
ディスクメニューを直接操作する 81
カーソルで操作する..... 81
DVD の設定をする..... 81
画質を調整する 81
USB 機器 /SD カードのファイルを再生する.....82
USB 機器を接続する 82
USB 機器を取り外す 82
SD カードを入れる / 出す..... 82
SD カードを取り出す 82
画面の見かたと操作 83
画質を調整する 83

iPod の曲を再生する 84
iPod を接続する 84
USB で接続する 84
Bluetooth で接続する 84
画面の見かたと操作 85
リストから曲を選択する 85
外部機器の音声を聴く（VXM-194VFi のみ） 86
外部機器を接続する 86
画面の見かたと操作 86

設定 / 情報

設定 / 情報メニューについて 87
VICS 情報を見る 88
VICS 情報とは 88
VICS 情報の内容と種類 88
VICS 情報の提供方法 88
VICS 情報利用上のご注意 88
地図に表示される VICS 情報 88
レベル 3（地図表示型）情報の表示 88
地図上の VICS 情報を見る 89
ETC2.0 割り込み表示 89
VICS 図形 / 文字情報を見る 90
FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示 90
ETC2.0 割り込み情報 90
VICS 局の選局方法を切り替える 91
自動選局に設定する 91
手動で選局する 91
VICS 情報の表示設定をする 92
ナビゲーションの設定をする 93
地図表示を設定する 95
走行軌跡の表示を設定する 95
走行軌跡を消去する 95
自車の現在位置を修正する 96
地図に表示するランドマークを設定する 96
サウンドの設定をする 97
車両タイプを設定する 98
リスニングポジションを設定する 98
プリセットイコライザーを設定する 98
ユーザーイコライザーを設定する 99
調整したイコライザーカーブを保存する 99
ソースの音量レベルを設定する 100
システムの設定をする 100
システムを初期化する 102
設定を SD カードに保存する 102
設定データを本機に読み込む 102
オプションボタンに機能を割り当てる 103
セキュリティ機能を設定する 104
セキュリティの設定をする 104
セキュリティインジケータの設定をする 104
バージョンを確認する 105

Bluetooth

Bluetooth 機器の登録と設定 106
Bluetooth 機器を登録する 106
Bluetooth 機器の画面に PIN コードを入力する画面が表示されたら 107
２台目を登録するときは 107
オートペアリング機能で登録する 108
Bluetooth の設定をする 108
登録した機器を接続 / 解除する 109
Bluetooth 機器を接続する 109
Bluetooth 機器の接続を解除する 109
登録した機器を削除する 110
PIN コードを変更する 110
本機のデバイス名を変更する 111
ハンズフリーを使う 112
電話メニューを表示する 112
画面の見かたと操作 112
ハンズフリーで電話を受ける / 切る 113
プリセットダイヤルを使う 113
プリセットダイヤルから電話をかける 113
プリセットダイヤルに電話番号を登録する 114
プリセットダイヤルの登録を削除する 114
履歴から電話をかける 115
電話帳から電話をかける 115
PBAP 対応機器の電話帳を登録する 116
電話帳を削除する 116
ダイヤルして電話をかける 117
リダイヤルで電話をかける 117
地点情報画面から電話をかける 117
ハンズフリー電話の音量を調整する 117
Bluetooth オーディオ機器を再生する 118
画面の見かたと操作 118

internavi

インターナビを使う.....119
リンクアップフリーについて.....119
リンクアップフリー専用通信機器について...119
インターナビに接続する.....120
会員 ID（フレーム No.）とパスワード（暗証番号）の入力.....120
インターナビ接続アイコンについて.....120
internavi 画面の構成.....121
インターナビ交通情報を取得する.....122
渋滞情報.....122
予測リンク旅行時間情報.....122
駐車場情報を表示.....123
インターナビフローティングカーシステム....123
災害情報.....123
交通情報読み上げ.....123
インターナビウェザーを取得する.....124
地図画面に表示される情報について.....124
現在の天気と天気予報表示.....124
気象警戒エリアの表示.....124
internavi ダイレクトからインターナビウェザー情報を取得する.....125
天気予報.....125
警報・注意報.....125
台風情報.....126
車両のメーター内へのウェザーインフォメーション表示.....126
災害情報.....127
防災情報の配信について.....127
気象情報読み上げ.....127
簡易図形情報を表示.....127
駐車場セレクトで駐車場を探す.....128
読み上げ再開.....129
ドライブの記録.....129
メッセージセンターを利用する.....130
インターナビの情報サービスを利用する...130
internavi 図形情報.....131
カーカルテ.....132
メンテナンス記録を見る場合.....132
マイカースケジュールの表示.....132
駐車場セレクト設定.....133
位置付き安否連絡.....134
通行実績情報マップ.....134
安全運転コーチング.....135
My コース.....135
登録地点をパーソナル HP と同期.....136
目的地クリップ.....136
販売店連絡先を表示する.....137
My ディーラー.....137
任意保険.....137
インターナビの設定をする.....138
internavi ウェザー設定.....139
internavi ダイレクトカスタマイズ.....139
internavi システム設定.....140
インターナビの設定を初期化する.....140
インターナビルートを利用する.....141
緊急サポートを利用する.....142
緊急サポート画面を表示する.....142
電話をかける.....143
地図データ更新サービス.....143
地図データ更新サービスについて.....143
地図更新について.....143

オプション

ETC/ETC2.0 車載器を使う.....144
ETC 情報について.....144
ETC2.0 情報について.....144
ITS スポットとは.....144
ETC 予告アンテナについて.....144
アップリンクとは.....144
VICS 機能を利用する.....144
ETC カードの状態表示について.....145
ETC/ETC2.0 の設定をする.....145
ETC 履歴 / 車載器情報を見る.....146
ドライブレコーダーの操作・設定をする.....147
録画について.....147
録画の状態表示について.....147
手動録画する.....148
ドライブレコーダーで静止画撮影する.....148
録画した動画・静止画を再生する.....148
録画した動画・静止画を削除する.....150
全て削除する.....150
一つ選んで削除する.....150
保存フォルダへ移動する.....150
ドライブレコーダーの設定をする.....151
ドライブレコーダーから SD カードを取り出す.....152
ドライブレコーダーの映像を表示する.....152
フロントカメラ / コーナーカメラを使う（VXM-194VFi のみ）.....153
カメラの映像について.....153

フロント / コーナーカメラを設定する..... 153
フロント / コーナーカメラの映像を表示する..... 154
ビューを切り替える（コーナーカメラ 2 ビュー接続時のみ）..... 155
コーナーカメラのガイドラインを消す / 表示する..... 155
ガイドラインの見かた..... 156
画質を調整する..... 156
リアカメラを使う..... 156
リアカメラの映像を表示する..... 156
ビューを切り替える（リアワイドカメラ接続時）..... 157
ガイドラインを消す..... 157
ガイドラインの見かた..... 158
次回表示ビューを設定する（リアワイドカメラ接続時）..... 159
画質を調整する..... 159
パーキングセンサーを使う..... 160
ステアリングリモコンを使う..... 162
ステアリングリモコンについて..... 162
お買い上げ時の設定..... 162
独自に機能を割り当てる..... 163
割り当てられたキーを確認する..... 164
ステアリングリモコンキーの割り当てを初期化 / 変更する..... 165
リアカメラ de あんしんプラスを使う (VXM-194VFi のみ)..... 166
リアカメラ de あんしんプラス機能をオン / オフする..... 166
警報音を設定する..... 166
リアカメラ de あんしんプラス機能の種類と表示..... 167
後退出庫サポート..... 167
後方死角サポート..... 168
車線キープサポート..... 169
リアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）を使う (VXM-194VFi のみ)... 170
リアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）機能をオン / オフする..... 170
警報音を設定する..... 170
リアカメラ de あんしんプラス機能の種類と表示..... 171
後退出庫サポート..... 171
後方死角サポート..... 173
車線キープサポート..... 174
後退駐車サポート..... 175

付録

自車位置の測位精度について..... 176
地図記号の凡例..... 178
地図データベースについて..... 180
ソフトウェア使用許諾契約書..... 182
VICS について..... 184
メディアおよびファイルについて..... 186
iPod について..... 190
Bluetooth について..... 191
ETC について..... 192
初期設定一覧..... 193
故障かなと思ったら..... 196
主な仕様..... 204
構成内容..... 206
保証とアフターサービス..... 207
索引..... 210

安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解·修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は Honda 販売店に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず Honda 販売店に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(➔ P.196) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを点けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約 1 時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくすると GPS の測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路 * は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地図画面
  - 市街地図を表示しているとき
  - マップマッチングしていないとき
  - 駐停車中

  *: 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡、売却、廃棄したりする場合は、本機に記録された情報（例:登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
個人情報の消去は、システムを初期化する（➔ P.102）で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。
<問い合わせ先>

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-977-846
（ディーラーオプション専用窓口）
FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月 曜 ～ 金 曜 9:30 ～ 18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。
したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

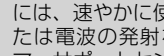
- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

● 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意
本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。



2.4： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH： FH-SS 変調方式を表します。
1： 電波与干渉距離は 10m です。
□□□：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

● 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

● 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

● 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(➜ P.8)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。(➜ P.20)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。(➜ P.33)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）および各ソースの操作方法について説明しています。(➜ P.69)
設定・情報	本機のシステム設定、ナビ設定や VICS 情報について説明しています。(➜ P.87)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作について説明しています。(➜ P.106)
internavi	インターナビの機能について説明しています。(➜ P.119)
オプション	ETC 車載器やカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(➜ P.144)
付録	関連する資料やトラブルシューティングなどについて説明しています。(➜ P.176)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- 本書の画面は主に VXM-194VFi の画面を使用しています。
- 特定のモデル名を記載しているところは、記載されているモデルのみ対応している機能を説明しています。
- ボタンの表記について

  [　　] は画面に表示される操作ボタンを表します。

  例：[ルート] は を表します。

  【　　】は本機のフロントパネルのキーを表します。

  例：【MENU】は キーを表します。

- は当商品が故障、破損するのを防ぐためのアドバイスを記載しています。また知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。

インターナビについて

インターナビとは

インターナビとは、双方向通信型カーナビで、走行に関わるさまざまな情報をリアルタイムでカーナビに集め、最適な情報としてドライバーに提供することができます。

インターナビは、通信を行う会員から自動的に収集される走行データ（フローティングカーデータ）を活用することで、快適なドライブに欠かせない交通情報を、渋滞を予測し的確なルート誘導を可能にする情報に進化させました。また、燃料消費の少ないルート案内や防災情報の提供など、環境や安全にも配慮し、みなさまのドライブをサポートします。

インターナビサービスについて

インターナビのサービスをご利用になるには、Honda 販売店（Honda Cars 店、ホンダオートテラス店）での会員登録（無料）が必要です。
詳しくは、お買い上げの Honda 販売店にご相談ください。
会員登録完了後、インターナビ情報センターから発行する会員 ID、カーナビ用パスワード（暗証番号）などを記載した「登録完了のご案内」をお渡しします。
また、会員専用パーソナル･ホームページを通じて、ナビゲーションシステムと連動した情報サービスや地図データ更新のご案内などをご提供しております。ぜひご覧ください。
インターナビのホームページ
https://www.honda.co.jp/internavi/

■ インターナビのサービスについて

2018年5月時点の情報を基に作成しております。サービス内容並びに仕様について予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

インターナビサービスを開始するまでの流れ

インターナビ・プレミアムクラブ入会
申し込み専用の登録申込書に必要事項を記入
または
Honda Total Care の会員申込
（申し込み専用のタブレット端末申し込み
または登録申込書）

↓

Honda 販売店

登録申込書に記入したお客様の情報を
インターナビ情報センターに登録

↓

インターナビ情報センターより
「登録完了のご案内」を発行 *

↓

Honda 販売店

本機のセットアップ

（リンクアップフリーの接続設定、パスワード（暗証番号）の入力など）
「会員 ID（フレーム No.）とパスワード（暗証番号）の入力」（➜ P.120）

↓

サービスをご利用いただけます

エラーメッセージが表示されたら
「故障かなと思ったら」（➜ P.196）

必ず Honda 販売店で「登録完了のご案内」をお受け取りください。

*：販売店オンラインシステムで発行・印刷してお客様にお渡しします。

お知らせ

カーナビ用パスワード（暗証番号）は、インターナビ情報センターより発行される「登録完了のご案内」に記載されています。紛失しないようにご注意ください。

パスワードメモ用

アドバイス

- 会員 ID やパスワード（暗証番号）は、Honda 販売店での会員登録手続き後、Honda 販売店のオンラインシステムで発行する「登録完了のご案内」に記載されています。また、中古などで本製品を入手された方も、最寄りの Honda 販売店（Honda Cars 店、ホンダオートテラス店）で会員登録手続きを承ります。インターナビ・プレミアムクラブ入会および Honda Total Care 基本会員の入会金・会費等は不要です。
- インターナビのサービスを受けるには、お客様の個人情報の登録が必要になります。そのため、本製品を譲られる場合は個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda 販売店へご依頼ください。

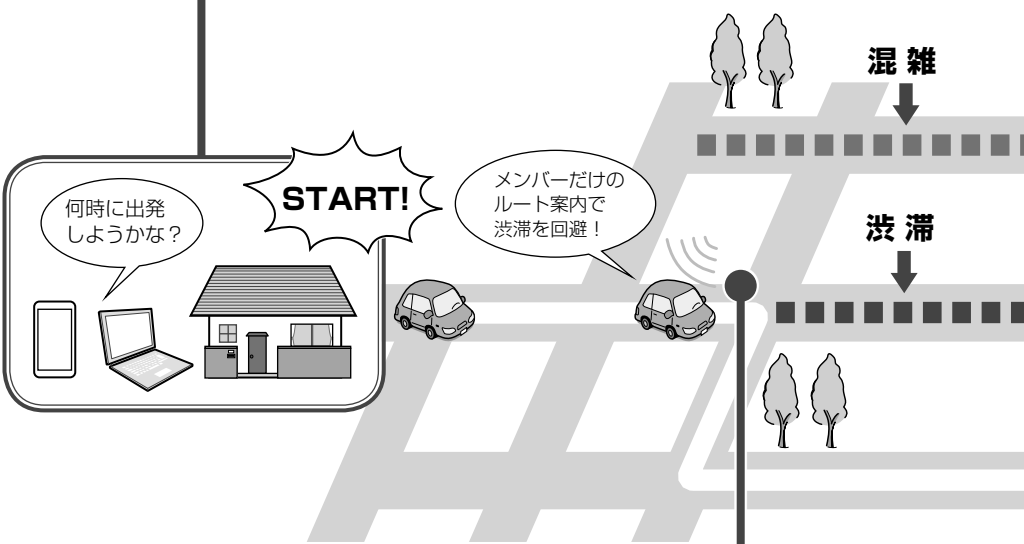
インターナビとは

インターナビは、Honda 車オーナーのために生まれたオーナーズ サービスです。サービス概要のイメージ (下図) のように、上手に利用して、快適で安心なドライブをお楽しみください。

パーソナル・ホームページ（➜ P.18）
パソコン向けにご提供するメンバー専用のホームページです。ドライブに役立つさまざまな情報や大切なお知らせを掲載しています。会員 ID とパスワード（暗証番号）を入力してアクセスしてください。

ドライブプランニング
ルートと希望の到着時刻を設定すれば、最適な出発時刻を案内します。

スマートフォン向けアプリ（➜ P.19）
スマートフォンでもインターナビのさまざまなサービスがご利用いただけます。



インターナビフローティングカーシステム（➜ P.123）
メンバーだけが共有できる交通情報で最適なルートを案内します。

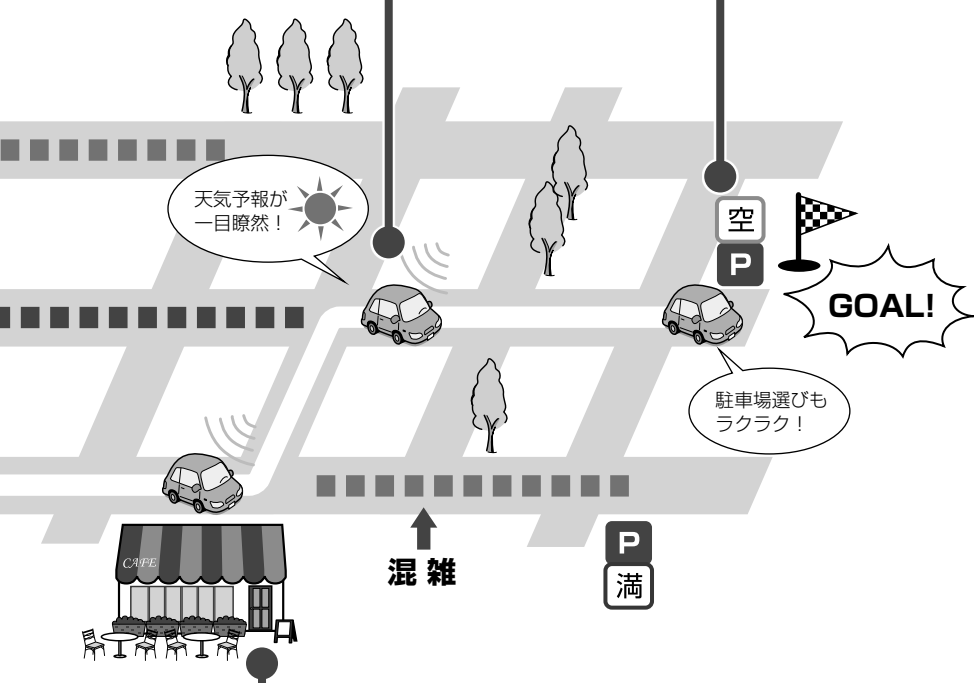
インターナビ交通情報（➜ P.122）
目的地までの交通情報を受信して、出発地点から最短時間のルートに誘導します。

インターナビルート（➜ P.141）
お客様のニーズに合わせて、最適なルートを選べます。

メッセージセンターからのお知らせ
(➔ P.130)
Hondaからの重要なお知らせを受信し表示します。

インターナビウェザー（➔ P.124）
現在地や目的地周辺の気象情報をわかりやすく提供します。

駐車場セレクト（➔ P.128）
料金や営業時間など、希望の条件にあった駐車場を案内します。



My スポット情報（➔ P.136）
パーソナル・ホームページで作成したMyスポットを本機の目的地に設定できます。

パソコン、スマートフォンでインターナビを利用する

パソコンからアクセスできるパーソナル・ホームページとスマートフォンで使用できるスマートフォン向けアプリを利用することができます。燃費履歴や車のメンテナンス時期などの情報サービスを無料で利用できます。

アドバイス

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- パーソナル・ホームページ利用時の通信料およびプロバイダ接続料などは、お客様のご負担となります。
- ホームページの内容は予告なく変更されることがあります。

インターナビ・プレミアムクラブの方

プレミアムクラブの会員 ID とパスワード（暗証番号）について

- パソコン、スマートフォンからインターナビを利用する場合は、プレミアムクラブの会員 ID とパスワード（暗証番号）が必要です。会員 ID とパスワード（暗証番号）は、Honda 販売店にて発行している「登録完了のご案内」に記載されています。
- プレミアムクラブの会員 ID とパスワード（暗証番号）は、大文字と小文字を区別して入力してください。
- プレミアムクラブのパスワード（暗証番号）は大変重要なものですので、「登録完了のご案内」を紛失したり、第三者に渡したりしないよう、管理には充分ご注意ください。

パーソナル・ホームページ

インターナビ・プレミアムクラブのホームページからログインすることで利用できます。

1 インターナビ・プレミアムクラブホームページ (https://www.honda.co.jp/internavi/) にアクセスする

2 「会員の方」をクリックする

3 ログイン ID（会員 ID）とパスワード（暗証番号）を入力し、「ログイン」をクリックする

パーソナル・ホームページのトップ画面が表示されます。

・「ログイン情報を保存する」に ✓ マークを付けるとログイン情報が記憶され、同じパソコンからの次回ログイン時に手順 3 の操作を省略することができます。

スマートフォン・アプリ

2つのアプリから利用できます。

●インターナビ・リンクアプリ (無料)

給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。

●internavi POCKET (一部有料)

出発推奨時刻や、到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
https://www.honda.co.jp/internavi/

・はじめてログインする場合は、ログイン ID/ パスワードに、マスター ID/ マスターパスワードを入力してログインしてください。マスター ID/ マスターパスワードは、プレミアムクラブ会員登録のときにお渡しする「登録完了のご案内」に記載されています。

Honda Total Care 会員の方

Honda Total Care 会員サイト (PC)

Honda Total Care のホームページからログインすることで利用できます。
https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/

スマートフォン・アプリ

2つのアプリから利用できます。

●Honda Total Care 会員サイト (アプリ)

給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。

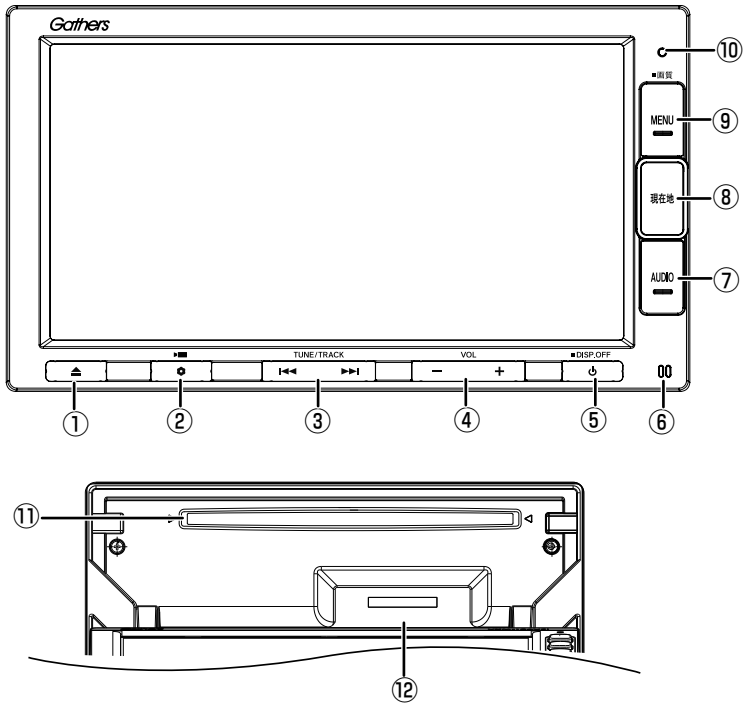
●internavi POCKET (一部有料)

出発推奨時刻や、到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、Honda Total Care のホームページをご覧ください。
https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/

・はじめてログインする場合は、ログイン ID/ パスワードに、仮 ID と仮パスワードを入力してログインしてください。「仮 ID」は「車台番号」を入力、「仮パスワード」は、「Honda Total Care 会員番号の下 6 桁」となっております。Honda Total Care 会員番号は会員申込時にお渡しする会員申込書に記載されています。

各部の名称とはたらき



①【 ⏏ 】(オープン /CLOSE)
フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

②【 ✿ 】(OPTION)
オプションボタン登録で割り当てた機能がはたらきます。
機能を登録していない場合は、登録画面を表示します。(➔ P.103)
「▬」マークは VXM-194VFi のみです。

③【 ⏮ / ⏭ 】(TUNE/TRACK)
- ラジオ :
  - 押すと 1 ステップずつ周波数を変えます。(マニュアル選局)
  - 0.5 秒以上～ 1.5 秒未満押し続けて指を離すと、受信可能な放送局を探し始めます。受信可能な放送局が見つかると停止し、受信を開始します。(オート選局)
  - 1.5 秒以上押し続けていると、押している間、周波数を連続して変えます。(マニュアル選局)
- TV (VXM-194VFi のみ) :
  放送局を切り替えます。
- 音楽 / ビデオ再生 :
  前 / 次の曲、オーディオファイルまたはビデオファイルを再生します。押し続けると、早送り / 早戻しします。

④【 ー / ＋ 】(VOL)
ソースの音量、ハンズフリー電話の受話音量、発着信音量を調整します。
ナビの案内音量はナビ設定画面 (➔ P.94) またはユーザーセットアップから調整します。

⑤【 ⏻ 】(■ DISP.OFF)
- オーディオ機能をオフまたはオンします。
- 押し続けると、画面の表示をオフにします。(➔ P.31)

⑥ 内蔵マイク
ハンズフリー通話 (Bluetooth) をするときに使用します。

⑦【 AUDIO 】
選択しているソースの AV 画面を表示します。AV 画面を表示しているときに押すと AUDIO メニュー画面を表示します。(➔ P.69)

⑧【 現在地 】
- 現在地図画面を表示します。(➔ P.33)
- 現在地図を表示しているときに押すと、現在地の住所を表示します。
- ルート案内の音声を出力した後に押すと、再度音声を出力します。さらに現在地の住所も表示されます。

⑨【 MENU 】
- 目的地メニューを表示します。(➔ P.40)
- 押し続けると画面の明るさを調整する画面を上部に表示します。映像画面のときはさらに下部に画質調整ができる画面を表示します。(➔ P.70)

⑩ セキュリティインジケータ
セキュリティインジケータを ON に設定していると、エンジンスイッチオフ時に点滅します。(➔ P.104)

⑪ ディスク挿入口
ディスクを挿入する場所です。挿入方法については 78 ページをご覧ください。

⑫ SD カード挿入口
SD カードを挿入する場所です。また、地図更新データ用 SD カードを挿入します。
挿入方法については 82 ページをご覧ください。

本機の機能制限について

本機は、車両の装備やグレードにより、下記機能が使えない場合があります。
詳しくはお近くの販売店までお問い合わせください。

分類	機能	詳細
時計	車両メーター内時計の連動機能	ナビからメーターに時刻情報を送信し、メーター内時計の時刻を合わせて連動させる機能
インターナビ	ｅｃｏ情報	クルマに蓄積されたデータをもとに燃費などの eco 情報を、パーソナルホームページで確認できる機能
	ドライブノート	クルマに蓄積されたデータをもとにひとつひとつのドライブの詳細を、後から簡単に振り返ることができる機能
	ウェザーインフォメーション	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、気象情報を表示する機能
パーキングセンサー	パーキングセンサー表示	パーキングセンサーと連動し、検知した障害物と車両の距離を表示する機能
交差点案内表示	車両メーター内交差点案内表示機能	ナビからメーターに進行方向情報等を送信し、メーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示する機能 (表示内容は、実際の道路形状と案内方向矢印などの情報が異なる場合があります。)
その他	イルミ減光キャンセル機能	車両のイルミ減光キャンセル機能 * に連動し、ナビ画面を昼画面輝度に自動で切り替える機能

* 車両インストルメントパネル照明が減光しているとき（車両イルミスイッチ ON 状態)、インストルメントパネル照明調整ノブを最大方向に回すと、減光状態が解除される機能、調整ノブの配置など、当機能の詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。なお、減光状態を解除した場合は、車両ライトスイッチの状態によらず、本機の画面の輝度が昼 (通常) 固定となります。
また、照度感知センサー搭載車両において、周囲が明るい場合は、車両ライトスイッチの状態によらず、本機の画面の輝度が昼 (通常) 固定となります。

基本操作

電源を入れる / 切る

電源をオンする

車のエンジンスイッチをアクセサリー、または ON に入れる

アドバイス
- エンジンスイッチをアクセサリーにしているときに「イグニッション ON モードにしてください。」と表示されたときはエンジンを ON に入れてください。

［コード入力画面］にタッチしてセキュリティカードに記載されている 5 桁のセキュリティコードを入力すると本機を起動することができます

電源をオフする

車のエンジンスイッチをオフにする

アドバイス
- 取り付け後に初めてエンジンスイッチをオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めてエンジンスイッチをオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中でエンジンスイッチをオフにしてもルートは消えません。次にエンジンスイッチをオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

■ セキュリティコード入力画面が表示されたときは

1 セキュリティコードを入力して［決定］にタッチする

現在地の地図が表示されます。
- 規定回数を間違うと、一定時間操作ができなくなります。

アドバイス
- セキュリティカードに 5 桁のセキュリティコードが記載されています。セキュリティコード入力画面が表示されたら、5 桁の数字を入力してください。セキュリティカードは、なくさないよう保管してください。セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げの Honda 販売店までお問い合わせください。
- セキュリティコードを変更することはできません。
- 起動時のセキュリティコードの入力を省略することもできます。104 ページの「セキュリティの設定をする」で「OFF」に設定してください。

ユーザーセットアップ（初期設定）

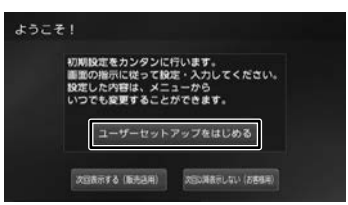
初回起動時に本機を使用するための初期設定を行います。

設定項目：

自宅登録 ⇨ Bluetooth 設定 ⇨ 地図表示設定 ⇨ 案内音声の音量設定 ⇨ オプションボタン登録

アドバイス
- ユーザーセットアップは、【 MENU 】を押して「設定 / 情報」メニューの「設定」メニュー の「ユーザーセットアップ」からも設定できます。

1 ［ユーザーセットアップをはじめる］にタッチする



［次回表示する］：
今回は、ユーザーセットアップは行わず、次回起動時にこの画面を再度表示します。

［次回以降表示しない］
次回起動時以降もこの画面を表示しません。

自宅を登録する

1 自宅を登録する方法にタッチする

ここでは住所で説明します。

住所以外の検索方法については、40 ページをご覧ください。

2 画面に従って自宅の住所を入力する

3 ［登録］にタッチする

▼

メッセージが表示されます。

4 ［はい］にタッチする

5 ［決定］にタッチする

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 67 ページをご覧ください。

▼

Bluetooth の設定をする

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器で“Gathers”を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

■ パスキーを確認する画面が表示された場合

106 ページの「Bluetooth 機器を登録する」に進んで設定を行ってください。

■ Bluetooth 機器側で PIN コードまたは入力画面が表示された場合

107 ページの「Bluetooth 機器の画面に PIN コードを入力する画面が表示されたら」に進んで設定を行ってください。

3 ［次へ］にタッチする

地図表示を設定します。

▼

つづく➔

地図表示を設定する

地図の色、文字サイズと表示切替の設定をします。

1 設定項目にタッチする

[地図色]：
地図色 1/ 2を設定します。

[文字サイズ]：
小 / 中 / 大から文字サイズを設定します。

[地図色昼夜切替]：

自動
車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)

昼色に固定
常に昼色の地図を画面に表示します（昼画面)。

夜色に固定
常に夜色の地図を画面に表示します（夜画面)。

時刻連動
日没と日出で昼と夜画面を切り替えます。

2 [次へ] にタッチする

案内音声の音量設定を行います。

▼

案内音声の音量を設定する

案内音声の音量を調整（1 ～ 10 ～ 20）します。

1 [案内音声の音量] にタッチする

2 [ ] または [ ] にタッチして調整する

シークバー

シークバーを動かして調整することもできます。

3 [閉じる] にタッチする

4 [次へ] にタッチする

オプションボタンに機能を登録します。

▼

オプションボタンに機能を登録する

1 登録したい機能にタッチする

2 [終了] にタッチする

ユーザーセットアップを終了します。

フロントパネルの角度を調整する

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度を調整できます。

1 【⏏】(オープン /CLOSE キー）を押す

2 角度（[− 1] ～ [5]）にタッチする

アドバイス

- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、エンジンスイッチオフ時には“0”の位置に戻ります。再度エンジンスイッチをオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

画面 / リストの操作

■ 画面をドラッグ / フリックする

地図画面やメニュー画面をドラッグ / フリックすることができます。

・ **ドラッグする**
指先で画面を押さえながら動かします。

・ **フリックする**
指先で画面の上をすばやくはらいます。

■ 前の画面に戻る

［戻る］にタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

■ リストの操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

・ **スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする**
ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。
フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。

・ **リストをページ送りする**

送りたい方向の［△］［▽］にタッチします。
［▲］［▼］にタッチするとリストの最初 / 最後を表示します。

■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。

■ 設定画面の操作

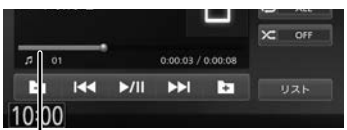
設定画面では、設定項目がリストで表示されます。設定はいくつかの種類があり、画面では①と②に表示されています。
②にタッチするとその種類の先頭項目を表示します。

本書では、設定の種類を探し、項目をタッチする操作を以下のように記載しています。

例：リストをスクロールして「表示設定」を探し、［映像画面の時計表示］をタッチする場合

“「表示」の［映像画面の時計表示］にタッチする”

■ シークバー

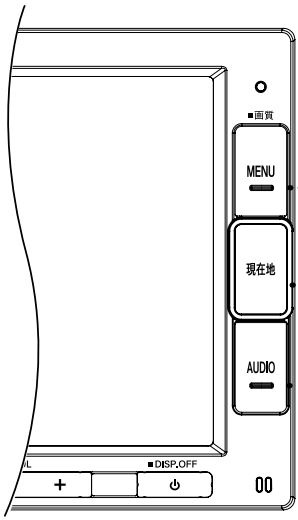


シークバー

AV 画面でシークバーが表示されているときは、タッチすると再生位置を移動することができます。

画面の切り替えかた

フロントパネルのボタンで切り替える画面



目的地メニュー (➔ P.40)

目的地メニュー画面を表示します。

現在地図画面 (➔ P.33)

現在地図画面を表示します。

AV 画面 /AUDIO メニュー画面 (➔ P.69)

押すたびに切り替わります。

選択しているソースの AV 画面を表示します。

AV 画面表示中に押すと AUDIO メニュー画面を表示します。

AV 画面の［ソース］にタッチするとソース切替一覧が表示されます。
タッチするとソースが切り替わります。

アドバイス

- 映像ソース画面表示中に走行を開始しても自動で地図画面には切り替わりません。

目的地メニュー画面または AUDIO メニュー画面から切り替える画面

設定 / 情報メニュー画面やハンズフリー電話の電話メニュー画面などは、目的地メニュー画面と AUDIO メニュー画面の共通メニューから表示します。

目的地メニュー

AUDIO メニュー

共通メニュー

1

電話メニュー (➔ P.112)

ハンズフリー電話の画面を表示します。

3

ルートメニュー (➔ P.59)

ルート編集、ルートの全体表示などを行う画面を表示します。

2

設定 / 情報メニュー (➔ P.87)

ナビ、システム、サウンドなどの設定を行います。[設定] と [情報] にタッチして設定メニュー画面と情報メニュー画面を切り替えます。

画面をカスタマイズする

本機の目的地メニュー画面、AUDIO メニュー画面、オープニング画面をカスタマイズすることができます。

目的地メニュー /AUDIO メニューをカスタマイズする

1 【 MENU 】を押して目的地メニュー画面、または【 AUDIO 】を押して AUDIO メニュー画面を表示する

ここでは目的地メニュー画面で説明します。

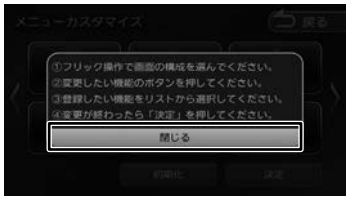
2 [ ]にタッチして「カスタマイズ」ボタンを表示する

3 [カスタマイズ] にタッチする

▼

メッセージが表示されます。

4 [閉じる] にタッチする



5 画面を左右にフリックして設定したいレイアウトを選ぶ

左または右に画面をフリックするとレイアウトサンプル（ボタン数が3～8個のレイアウトから選べます）画面が表示されます。

6 カスタマイズしたいボタンにタッチする

▼

メニュー候補リストが表示されます。

7 ボタンに配置する項目を選んでタッチする

8 手順6と7を繰り返してその他のボタンも設定する

9 [決定] にタッチする

▼

カスタマイズした画面が表示されます。

アドバイス
・ カスタマイズできるのは、目的地メニュー、AUDIO メニューのそれぞれ 1 ページ目の画面のみです。

お買い上げ時のメニューに戻す

1 手順 5 の画面を表示して [初期化] にタッチする

▼

メッセージが表示されます。[はい] にタッチすると、お買い上げ時の 6 個ボタンのレイアウトに戻ります。

オープニング画面を変更する

オープニング画像は下記ホームページにあるサンプル画像の中から選びます。SD カードに保存して本機に取り込みます。

アドバイス
・ 使用できる SD カードは 187 ページの「本機で再生できる SD カード」をご覧ください。

事前準備

オープニング画面の画像を Web サイトから入手し、SD カードに取り込んでおいてください。
画像の入手先および SD カードへの取り込み方法は
https://www.honda.co.jp/navi/support/
からご覧ください。

1 オープニング画像を取り込んだ SD カードを本機に挿入する

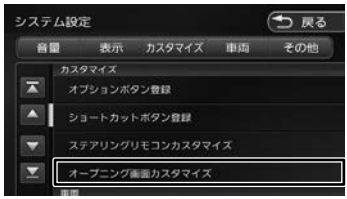
挿入方法は 82 ページの「SD カードを入れる / 出す」をご覧ください。

2 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

3 [システム] にタッチする

つづく➔

4 「カスタマイズ」の [オープニング画面カスタマイズ] にタッチする



5 変更したい画像にタッチする

6 [決定] にタッチする

7 [はい] にタッチする

▼

画面の差し替えが始まります。

アドバイス

- SD カードに取り込んだオープニング画像は、他の用途には使えません。
- オープニング画像は弊社 Web サイトより提供される専用の画像のみ対応しています。

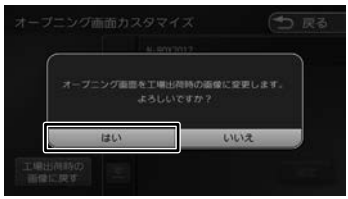
お買い上げ時の画面に戻す

1 手順 5 の画面を表示して [工場出荷時の画像に戻す] にタッチする

▼

メッセージが表示されます。

2 [はい] にタッチする



お買い上げ時の画面に戻ります。

画面の明るさを調整する

本機の画面の明るさ（－4 ～ +4）を調整します。画質調整の値はイルミ ON 時と OFF 時でそれぞれ調整することができます。

1 【 MENU 】を押し続ける

2 [明るさ] の － または ＋ にタッチする

[初期値]：
設定した値をお買い上げ時に戻します。

アドバイス

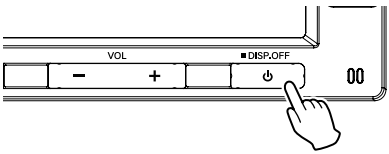
- 画面の明るさは、システム設定から調整することもできます。（➔ P.100）

画面表示のオン / オフ

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

画面表示をオフにする

1 【 ⏻ 】を押し続ける



▼

画面表示が消えます。

画面表示をオンにする

1 画面表示のオフ中に画面にタッチする

▼

画面表示をオフにする前の画面に戻ります。
フロントパネルのボタンを押しても（【⏮/⏭】と【－/＋】は除く）画面表示がオンになります。

アドバイス

- 画面表示のオフ中にエンジンスイッチをオフにすると、次にエンジンスイッチをオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- 画面表示オフ中でもカメラ映像は表示されます。

時計を全画面に表示する

時計を全画面に表示することができます。

1 画面左下の時計にタッチする

▼

画面全体に時計が表示されます。

時計の全体表示を解除する

1 時計表示中の画面にタッチする

▼

時計を全体表示する前の画面に戻ります。
【現在地】などを押して画面を切り替えると時計の全体表示は解除されます。

アドバイス

- 時計の全体表示中にエンジンスイッチをオフにすると、次にエンジンスイッチをオンにしたときは、時計の全体表示は解除されます。
- 時計の全体表示中でもカメラ映像は表示されます。

ショートカット機能を使う

よく使う機能や表示したい画面を登録して呼び出すことができます。また、特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

1 **現在地図画面（➔ P.33）または スクロール画面（➔ P.35）を表示する**

2 **[Quick] にタッチする**

3 **呼び出したいショートカットボタンまたは特別メモリ地点にタッチする**

ショートカット
登録してある機能を実行します。

特別メモリ地点
グループの「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」に設定した登録地点を呼び出します。（➔ P.64）

[編集]
本機の機能をショートカットボタンに登録したり、登録してある機能を変更できます。

ショートカットボタンに機能を登録する

本機の機能をショートカットボタンに登録します。

1 **[編集] にタッチする**

2 **登録するショートカットボタンにタッチする**

3 **登録する機能にタッチする**

お買い上げ時の設定に戻す

1 **手順 2 の画面を表示して [初期化] にタッチする**

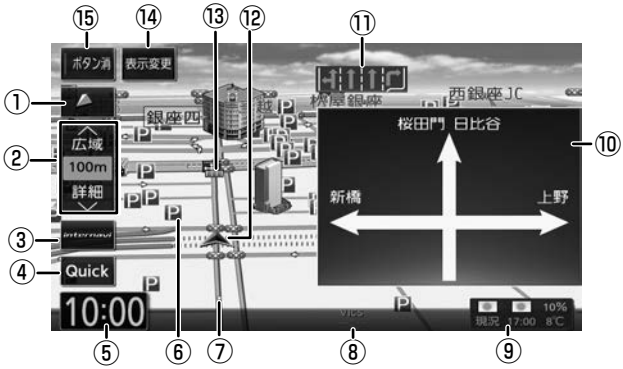
▼

「ショートカットボタンを初期設定に戻します。よろしいですか？」と表示されたら、[はい] にタッチしてください。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

フロントパネルの【現在地】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① **（コンパスボタン）**
地図の方位が表示されます。（➔ P.34）
タッチするたびに、地図の向きを切り替えることができます。

② **［広域］/［詳細］：**
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。

③ **［internavi］：**
internavi 画面を表示します。
インターナビについては、119 ページをご覧ください。

④ **［Quick］：**
よく使う機能を登録している画面を表示します。（➔ P.32）

⑤ **時計**
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。
本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑥ **ランドマーク**
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。タッチすると施設名、距離、方向が表示されます。ランドマークについては 96 ページをご覧ください。

⑦ **走行軌跡**
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示を消すことや、データを消去することもできます。（➔ P.95）

⑧ **VICS 情報提供時刻**
VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑨ **気象予測アイコン**
詳細については 124 ページをご覧ください。

⑩ **方面看板**
方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

⑪ **レーン情報**
次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑫ **自車マーク**

⑬ **案内地点**
：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑭ **［表示変更］：**
地図の表示方法を設定します。

⑮ **［ボタン消］：**
①～④、⑧、⑨、⑭を消します。消すとインジケータが緑になります。もう一度タッチすると①～④、⑧、⑨、⑭を再度表示します。

アドバイス
- 現在地画面で【現在地】を押すと画面上部に現在地の住所を表示します。
- ⑩、⑪はナビ設定で表示しないようにすることができます。（➔ P.94）

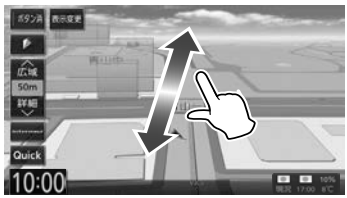
地図の縮尺を変える

1 ［広域］または［詳細］にタッチする

それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

■ 地図を直接操作する

2 本の指でタッチして、指の間を開く。（詳細表示）



2 本の指でタッチして、指の間を閉じる。（広域表示）

市街地図について

市街地図は、50m 以下で表示されます。

アドバイス

- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面（➔ P.36）で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。

地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える

地図の表示方法（向き、2D/3D 表示）を切り替えることができます。表示方法は「2D ノースアップ」、「2D ヘディングアップ」、「3D ビュー」の 3 つがあります。

1 地図画面のコンパスボタンにタッチする

タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。

（ノースアップ）：
地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

（ヘディングアップ）：
進行方向が画面の上方向になるように表示されます。

（3D ビュー）
進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。
市街地図では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。

アドバイス

- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。（➔ P.93）
- 地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

地図を 2 画面表示する

現在地図画面の上に小画面の地図または AV 簡易画面を表示することができます。

1 ［表示変更］にタッチする

2 表示したい方法にタッチする

［地図 1 画面］：
現在地図画面（手順 1 の画面）を表示します。

［地図 2 画面］：
現在地図画面の右側に小画面の地図を表示します。

［地図 & AV 簡易画面］：
現在地図画面と選択しているソースの AV 簡易画面を表示します。

［走行軌跡の表示］、［ランドマーク表示］、［VICS 情報表示］はナビ設定（➔ P.93）の各項目のショートカットです。

［ルート表示］、［目的地表示］はルート画面（➔ P.62）の各項目のショートカットです。

［ハイウェイモード］は 55 ページをご覧ください。

アドバイス

- 地図 2 画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の向き、縮尺、2D/3D 表示の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 地図 2 画面表示中の小画面の地図は、スクロールできません。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。

■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。

■ ポイントスクロール

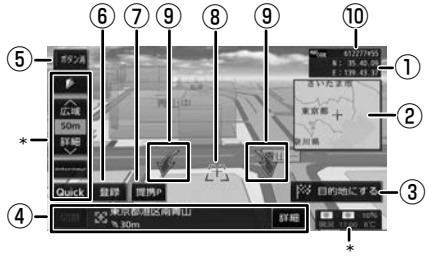
地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

スクロールした後に**【現在地】**を押すと、現在地図画面に戻ります。

アドバイス

- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロール地図画面の見かた



① **緯度／経度表示**
スクロールした地点の緯度／経度を表示します。

② **フライビューマップ**
スクロールした地点を広域地図で表示します。

③ **[目的地にする]：**
この地点を目的地に設定します。

④ **地点情報**
カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

[切替]：
同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

[詳細]：
地点詳細情報画面を表示します。

⑤ **[ボタン消]：**
⑥、⑦と*の表示を消します。消すとインジケータが緑になります。もう一度タッチすると⑥、⑦と * を再度表示し、インジケータの緑が消えます。

⑥ **[登録]：**
この地点を登録します。

⑦ **[提携 P]：**
カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

⑧ **（カーソル）**
地図画面の中心点に表示されます。

⑨ **地図回転ボタン**
3D ビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

⑩ **マップコード表示**
スクロールした地点のマップコードを表示します。

アドバイス

- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。
- ①、②、⑩はナビ設定で表示しないようにすることができます。（➔ P.93）

自宅を登録する / 自宅に帰る

自宅を登録する

ユーザーセットアップ（初期設定）で自宅を登録していないときは、目的地メニューから登録することもできます。

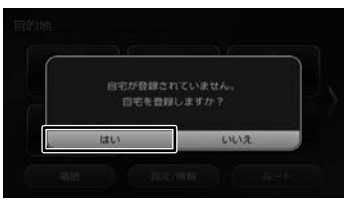
1 【 MENU 】を押す

2 ［自宅］にタッチする

▼

メッセージが表示されます。

3 ［はい］にタッチする



4 自宅の検索方法にタッチする

ここでは住所で説明します。

住所以外の検索方法については、40 ページをご覧ください。

5 画面に従って自宅の住所を入力する

6 ［登録］にタッチする

▼

メッセージが表示されます。

7 ［はい］にタッチする

8 ［決定］にタッチする

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 67 ページをご覧ください。

アドバイス

- 名称は、後から編集することができます。(➔ P.65)
- 自宅は名称と電話番号を編集することができます。65 ページをご覧ください。

▼

[目的地にする] にタッチすると、目的地に設定することができます。(➔ P.51)

自宅を変更する

1 【 MENU 】を押す

2 検索する方法にタッチする

3 検索した地点の画面で［登録］にタッチする

4 ［自宅］にタッチする

▼

メッセージが表示されます。

5 ［はい］にタッチする

タッチすると自宅が変更されます。

先に自宅として登録されていた地点は、［未分類］グループに変更されます。

アドバイス

・ 自宅を削除する場合は 66 ページをご覧ください。

6 ［決定］にタッチする

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 67 ページをご覧ください。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 ［自宅］にタッチする

▼

メッセージが表示されます。

2 ［はい］にタッチする

▼

自宅へのルート案内が開始されます。

(➔ P.51)

ナビゲーションの流れ

① 行き先を探す

目的地メニュー画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(➔ P.40)

地図画面から

地図をスクロールして行き先を探して(➔ P.36)、[目的地にする] にタッチします。

② 行き先に設定する

[目的地にする] にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルート案内が開始されます。(➔ P.51)

③ ルートを編集する

経由地の追加・入れ替え

途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(➔ P.59)

案内中止

ルート案内を中止します。(➔ P.63)

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(➔ P.59)

アドバイス

- ルート探索の条件を「internavi ルート」以外に設定しているときは、[目的地にする] にタッチした後、[案内開始] にタッチするとルート案内が開始されます。(➔ P.51)

行き先を探す

目的地メニューで探す

本機の目的地メニュー画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

1 【 MENU 】を押す

2 検索方法にタッチする

名称：
施設の名称などで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。（➜ P.41）

住所：
住所から目的地を探します。（➜ P.43）

自宅：
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。
あらかじめ自宅の登録が必要です。
（➜ P.37）

番号：
電話番号、郵便番号、マップコード、緯度・経度を入力して行き先を探します。
（➜ P.44）

履歴：
いままでにルートを探索した行き先から探します。（➜ P.45）

登録地点：
本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（➜ P.46）

周辺施設：
食事や買い物など、ジャンルで周辺の施設を探します。（➜ P.46）

ジャンル：
食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。（➜ P.47）

カスタマイズ：
目的地メニューをカスタマイズします。
（➜ P.28）

アドバイス

- スマートフォンアプリケーション「NaviCon」を使って目的地や経由地に設定することができます。（➜ P.48）

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

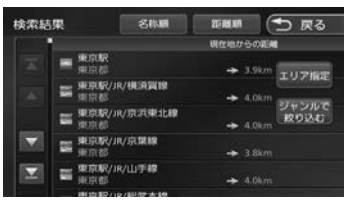
1 ［名称］にタッチする

2 施設の名前を入力して、［検索］にタッチする

アドバイス

- 施設名の入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致の件数が５件以下になると、自動的に手順３の画面が表示されます。

3 行き先にタッチする



［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。
（➔ P.42）

［ジャンルで絞り込む］：
さらにジャンルで絞り込みます。
（➔ P.42）

［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［この地点を選択］にタッチする

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

アドバイス

- ピンは手順３で指定した行き先を含めて 50 件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、［◀］/［▶］にタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 **検索結果画面（41 ページの手順 3）で［エリア指定］にタッチする**

2 **指定したいエリアにタッチする**

［地域を指定］：
住所を入力して検索します。（➔ P.43）

［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［現在地周辺］/［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 5）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 **［ ◀ ］/［ ▶ ］にタッチして、目的の施設を選ぶ**

［ ◀ ］/［ ▶ ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［ ◀ ］/［ ▶ ］は表示されません。手順 4 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。
（➔ P.51）

アドバイス
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 **［この地点を選択］にタッチする**

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

アドバイス
- 手順 2 の［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 5）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 **検索結果画面（41 ページの手順 3）で［ジャンルで絞り込む］にタッチする**

2 **ジャンルにタッチする**

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択ジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ

[エリア指定]：
さらに指定したエリアで検索します。
(➔ P.42)

[名称順]：
検索結果を名称順で表示します。

[距離順]：
検索結果を距離順で表示します。

4 [◀] / [▶] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[◀] / [▶] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が 1 件のときは、[◀] / [▶] は表示されません。手順 5 に進んでください。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。
(➔ P.51)

アドバイス
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 [この地点を選択] にタッチする

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 [住所] にタッチする

2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ

リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

アドバイス
- [番地を入力] にタッチすると番地の入力画面が表示され、番地（丁目、番、号など）をテンキーで入力できます。
- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、"-" でつないで一度に入力することができます。
- ［あ］～［わ］にタッチすると都道府県名、市区町村名、地名を頭出しします。
- ［代表地点］にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

電話番号 / 郵便番号 / マップコード / 緯度・経度で探す

電話番号、郵便番号、マップコード、緯度・経度から行き先を探します。

1 ［番号］にタッチする

2 検索に使用する番号の種類にタッチする

3 番号を入力して、［検索］にタッチする

BS ：
カーソルの前にある文字を消去します。

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

アドバイス

- 電話番号と郵便番号のハイフンは入力しません。
- 全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。［検索］にタッチする必要はありません。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。付近の地図を表示します。」というメッセージが表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して［検索］にタッチします。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ（https://www.e-mapcode.com/）をご覧ください。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 ［履歴］にタッチする

2 検索履歴にタッチする

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

アドバイス

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 100 か所まで保存されます。100 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。

アドバイス

- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面（45 ページの手順 2）を表示して［削除］にタッチする

2 削除する履歴地点にタッチする

複数の履歴を選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 ［削除］にタッチして、［はい］にタッチする

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

アドバイス
- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は 64 ページをご覧ください。
- 登録地点の編集については、65 ページをご覧ください。

1 ［登録地点］にタッチする

2 グループにタッチする

3 登録地点にタッチする

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

周辺の施設を探す

現在地周辺の施設をジャンルから探します。

1 ［周辺施設］にタッチする

2 ジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 ［ ◀ ］/［ ▶ ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［ ◀ ］/［ ▶ ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［ ◀ ］/［ ▶ ］は表示されません。手順 4 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。
（➔ P.51）

アドバイス
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 [この地点を選択] にタッチする

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。

1 [ジャンル] にタッチする

2 ジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

[全て検索]：
選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したいエリアにタッチする

[地域を指定]：
住所を入力して検索します。（➔ P.43）

[地図から指定]：
地図をスクロールして場所を指定します。

[ルート周辺]：
ルート前方にある施設を表示します。

[現在地周辺] / [目的地周辺] / [経由地（1 ～ 5）周辺]：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 [◀] / [▶] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[◀] / [▶] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[◀] / [▶] は表示されません。手順 5 に進んでください。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。（➔ P.51）

アドバイス
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 [この地点を選択] にタッチする

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

アドバイス
- 手順 3 の［ルート周辺］/［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 5）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

NaviCon で探す（VXM-194VFi のみ）

「NaviCon」は、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。
また、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や NaviCon の操作については下記の URL をご覧ください。
  https://navicon.com/user/support/
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。

アドバイス

・「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

本機とスマートフォンを接続する

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。
接続ケーブルは iPhone に付属の接続ケーブルを使用します。
また、Bluetooth で接続することもできます。
Bluetooth 接続には設定が必要です。
84 ページをご覧ください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。
（➔ P.106）

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。
なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。

1 「NaviCon」を起動する

2 「NaviCon」から本機に地点情報を転送する

転送方法については「NaviCon」のアプリの説明をご覧ください。

▼

転送された場所が本機に表示されます。

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

NaviCon 友達マップ機能を使う

友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。友達の位置を目的地に設定することもできます。

■ ナビの友達マップ機能を ON にする

1 本機にスマートフォンを接続する

2 スマートフォンの「NaviCon」を起動する

3 スマートフォンの「NaviCon」の友達マップ機能をオンにする

4 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

5 [情報] にタッチする

6 [NaviCon 友達マップ] にタッチする

7 [友達マップ表示] にタッチして ON にする

[OFF]:
友達マップ機能を "OFF" にします。

▼

現在地図画面を表示すると友達アイコンが表示されます。

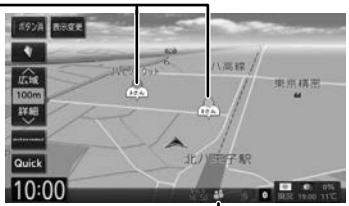
アドバイス
- ナビの友達マップ機能をオンに設定しても他のデバイスを接続したときは、設定がオフになります。設定をオンにしたときと違う機器を使用する場合は設定をオンにしなおしてください。

■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。

友達アイコン

緑色:友達の NaviCon が通信できる状態です。
灰色:友達の NaviCon が通信できない状態です。



本機との接続状態表示アイコン

緑色:
友達マップ機能が "ON" になっています。

黄色:
友達マップ機能は "ON" になっているが通信エラーが発生しています。

表示なし:
友達マップ機能が "OFF" になっています。

アドバイス
- 友達アイコンは NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。

■ 友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示させることができます。

1 NaviCon 友達マップ画面を表示して [友達マップ全体表示] にタッチする

▼

全体表示画面が表示されます。

■ **友達の位置を目的地に設定する**

1 地図画面に友達の位置を表示させる

- 複数の友達の位置情報を取得している場合は、[◀] / [▶]、[リスト]にタッチして位置を選んでください。

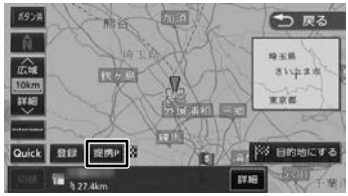
2 [この友達を選択]にタッチする

3 [目的地にする]にタッチする

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P]が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 [提携 P]にタッチする



2 [◀] / [▶]にタッチして、目的の施設を選ぶ

[◀] / [▶]にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[◀] / [▶]は表示されません。手順 3 に進んでください。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。
(➔ P.51)

3 [この地点を選択]にタッチする

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

ルートの探索と案内

ルートの探索と案内を開始する

internavi ルートで案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、探索条件を internavi ルートで案内を開始します。
internavi ルート探索で探索したルートは 1 ルートのみ表示されます。

お買い上げ時のルート探索条件は「internavi ルート」です。（➔ P.53）

さらに「internavi ルート」の探索条件は「スマートルート」が設定されています。インターナビの探索条件については 141 ページをご覧ください。

ここまでの手順 ❯ 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

1 ［目的地にする］にタッチする

表示している地点が目的地に設定され、ルート案内が開始されます。（➔ P.54）

internavi ルート以外の探索条件で案内を開始する

案内ルートの探索条件（➔ P.53）を「internavi ルート」以外に変更したときの操作です。

1 ［目的地にする］にタッチする

表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

2 ルートの探索条件にタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金および最初と最後の IC 名が表示されます。

［標準］：
本機が推奨するルートです。

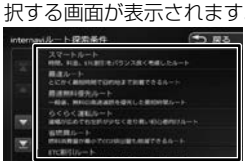
［距離］：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

［高速］：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

［一般優先］：
一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路 (有料道路) を通るルートになることがあります。

［高速 / 距離］：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

［internavi ルート］：
タッチするとインターナビの探索条件を選択する画面が表示されます。



探索条件にタッチすると internavi ルートでの案内が開始されます。（➔ P.54）
この場合は「internavi」ルート以外の案内ではなくなるため手順 3 には進みません。

［スケール調整］：
地図を拡大、縮小、スクロールできる画面を表示します。

［ 戻る ］にタッチすると元の画面に戻ります。

つづく➔

[全行程]：
すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。

[ルート情報]：
選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

3 [案内開始] にタッチする

ルート案内が開始されます。(➔ P.54)

アドバイス

- すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。
- 経由地を設定する場合は 59 ページをご覧ください。
- 「目的地 (経由地) を設定します。どちらの道路に設定しますか？」と表示されたときは、
  [有料道路]：高速・有料道路を目的地(経由地) に設定します。
  [一般道路]：一般道路を目的地(経由地) に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか？」と表示されたときは、53 ページをご覧ください。
- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- ルート探索時にスマート IC またはフェリーを利用するように設定することができます (➔ P.94)
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。
  フェリーアイコン：
- フェリーを利用したルートを案内する場合の「料金」表示には、フェリーの使用料は含まれていません。
- スマート IC を利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマート IC アイコンが表示されます。
  スマート IC アイコン：スマート IC
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥～以上」または「¥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報 (通行止めなど) を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。

■ 渋滞考慮探索 (渋滞を配慮したオートリルート)

- internavi VICS 情報を取得しているときは、ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。

ルート学習による自宅周辺の探索

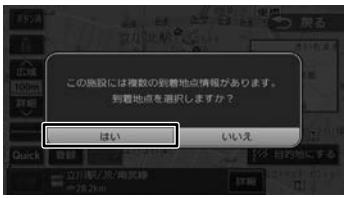
ルート案内中に自宅から約半径 2km 以内で案内ルートを外れて別のルートを数回走行すると、外れたルートを学習します。学習したルート結果を自宅周辺の探索に使用します。
学習するまでの走行回数は、道路の種別や道路幅で異なります。狭い道路や案内ルートよりも距離が遠い場合などは学習するまでの回数が増えます。

- 学習した結果をルート探索に使用しないように設定することもできます。(➔ P.94)
- 学習したルートを初期化することもできます。(➔ P.94)
- 本機に登録した自宅を削除、変更したときと、本機の地図更新を行った場合も学習したルートは初期化されます。
- 下記の検索条件ではルート学習を行いません。
  - 本機に自宅を登録していない
  - ルート案内をしていない
  - 自宅から約半径 2km 以内ではない場所
  - 案内ルートをまたぐ細街路
  - 上記以外でも道路状況によって学習しない場合があります。

複数の到着地点情報があったとき

目的地または経由地に設定した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 [はい] にタッチする



2 [◀] / [▶] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[◀] / [▶] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点情報画面が表示され、行き先に設定することができます。
（➔ P.51）

アドバイス
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 [この地点を選択] にタッチする

▼

案内を開始するには 51 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を変更する

ルートの探索条件は、お買い上げ時は「internavi ルート」に設定されています。探索条件は変更することができます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする

3 「探索」の［優先する探索条件］にタッチする

[internavi ルート]：
internavi の探索条件でルート探索します。インターナビの探索条件については 141 ページをご覧ください。

[標準]：
本機が推奨するルートです。

[距離]：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

[高速]：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

[一般優先]：
一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路 (有料道路) を通るルートになることがあります。

[高速 / 距離]：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

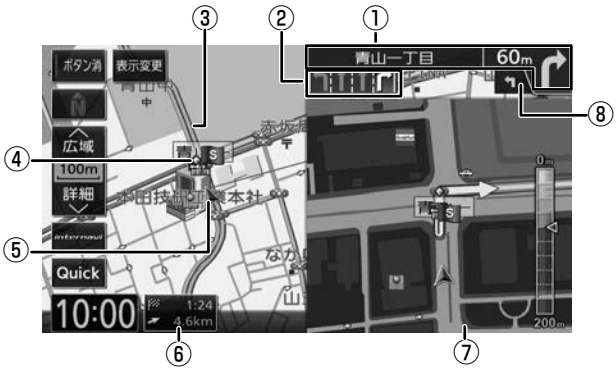
ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① 次案内ポイント情報
次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

② レーン情報表示
白色矢印：通過可能レーン
緑色矢印：誘導レーン

③ 案内ルート
目的地または経由地までのルートです。
道路の種類（一般道 / 高速道路 / 細街路）によって色分けして表示されます。
一般道：緑色
高速道路：水色
細街路：桃色

④ 案内ポイント

⑤ 自車位置マーク

⑥ 到着予想時刻と距離
対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
タッチすると、対象の行き先が切り替わります。

⑦ 案内ポイントでの割り込み表示
(➔ P.57)

⑧ 次々案内ポイント情報
さらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

マルチインフォメーションディスプレイ表示について

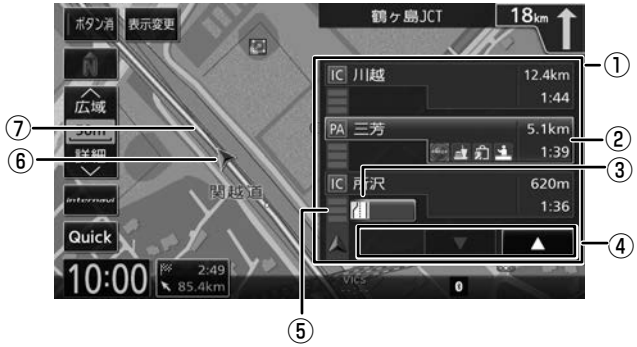
車両のマルチインフォメーションディスプレイが「交差点案内表示」/「コンパス表示」に対応している場合は、本機のルート案内情報と連動して車両側のマルチインフォメーションディスプレイに「交差点案内図」として進路案内を表示します。
案内する項目がない場合はコンパスが表示されます。

車両のマルチインフォメーションディスプレイの「交差点案内表示」

アドバイス
- 実際の道路形状と案内方向矢印などの情報が異なる場合があります。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

② 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ（IC)/ ジャンクション（JCT)、サービスエリア（SA)、パーキングエリア（PA）の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

③ 規制情報表示

車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が 3 件までマークで表示されます。
マークにタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

④ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。スクロールすると［現区間］ボタンが表示されます。

［現区間］にタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑤ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑
赤色：渋滞
※順調の場合、表示は行いません。

⑥ 自車マーク

⑦ 案内ルート

アドバイス

- ハイウェイモード画面は、高速道路を走行中に表示されます（ルート案内中以外でも表示されます)。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

■ ハイウェイモード画面を閉じる

［表示変更］にタッチします。

[ハイウェイモード]にタッチしてチェックを外します。

表示させるときは、[表示変更] にタッチして［ハイウェイモード］にタッチしてチェックを付けてください。

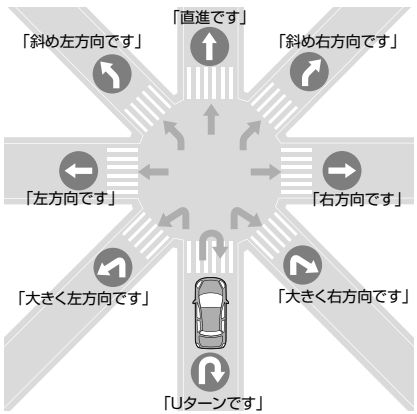
音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。

アドバイス
- 音声案内の前には“ポーン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(➔ P.94)
- 音声案内の音量調整は 94 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロント右スピーカーのみ出力します。
- ルート案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。
- 音声案内をもう一度聴きたい場合は、【 現在地 】を押してください。

進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



アドバイス
- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 細街路に進入するときは

「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞考慮探索 (渋滞を考慮したオートリルート)

最適時間を考慮してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(➔ P.94)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行するレーンにご注意ください。
	この先、走行するレーンにご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行するレーンにご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)

アドバイス
- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ VICS 渋滞 /VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。
これらの音声案内の出力設定はありません。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○km/m先､渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。
	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。左へお寄りください。

■ 盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います（現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います）。

目的地付近で盗難が多い地点

音声
目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

エンジンスイッチをオフにした付近で盗難が多い地点

音声
現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと交差点案内図、高速道分岐イラストが割り込み表示されます。

アドバイス

- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。（➔ P.94）
- 割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示にタッチしてください。
- 消した割り込み表示は、[案内図] にタッチするともう一度表示できます。

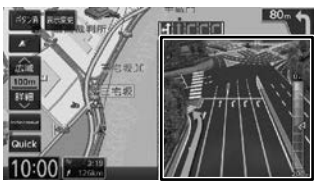
交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m（高速道路は約 800m）手前に近づくと表示されます。

■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

高速道分岐イラストの表示

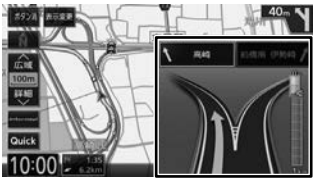
高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。

■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。

■ 出口後分岐

出口後分岐がある場合に、出口分岐を通過後、出口後分岐から約 1 km 手前に近づくと表示されます。

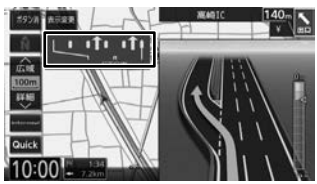
■ 料金所後分岐

料金所を通過後に入口分岐がある場合に表示されます。

ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。



ルートを再探索する

現在地から探索条件（internavi ルート、標準、距離、高速、一般優先、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 **【 MENU 】を押して [ルート] にタッチする**

2 **ルート画面の［再探索］にタッチする**

3 **探索条件を選んで［案内開始］にタッチする**

[スケール調整]：
地図を拡大、縮小、スクロールできる画面を表示します。

▼

選択したルートでルート案内が開始されます。

アドバイス

- ここで条件を変更しても「優先する探索条件」の設定（➔ P.94）には反映されません。
- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は 5 か所まで追加できます。

アドバイス
- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 ❯ 行き先を検索する

1 ［経由地にする］にタッチする

2 経由地の挿入位置を確認し、［決定］にタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

▼

新しいルートで案内が開始されます。

アドバイス
- ルート探索の条件を「internavi ルート」以外に設定しているときは［決定］にタッチした後、［案内開始］にタッチするとルート案内が開始されます。（➔ P.51）

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 ルート画面の［到着順変更］にタッチする

2 順番を変更する行き先にタッチする

3 移動先の［挿入］にタッチする

4 ［再探索］にタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

▼

新しいルートで案内が開始されます。

アドバイス
- ルート探索の条件を「internavi ルート」以外に設定しているときは［再探索］にタッチした後、［案内開始］にタッチするとルート案内が開始されます。（➔ P.51）

目的地・経由地を削除する

アドバイス
- 削除した地点は元に戻せません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 ルート画面の［到着順変更］にタッチする

2 削除する行き先にタッチする

3 ［削除］にタッチする

選択した行き先が削除されます。

4 ［再探索］にタッチする

［やり直す］：
手順 3 で削除した地点を再度表示します。

▼

新しいルートで案内が開始されます。

アドバイス
- ルート探索の条件を「internavi ルート」以外に設定しているときは［再探索］にタッチした後、［案内開始］にタッチするとルート案内が開始されます。（➔ P.51）

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

アドバイス
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとすると、確認メッセージが表示され、［はい］にタッチすると経由地が解除されます。
- 探索条件を「internavi ルート」に設定（➔ P.53）して案内しているときはインターチェンジの変更はできません。

1 ルート画面の［再探索］にタッチする

2 変更したい入口または出口 IC にタッチする

3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ

切替：
タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

アドバイス
- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC(最大 36 件まで) を選ぶことができます。

4 [この IC に変更] にタッチする

指定した IC を通過するルートが探索されます。

5 [案内開始] にタッチする

[IC 変更を解除]：
タッチすると IC 変更を解除します。

[スケール調整]：
地図を拡大、縮小、スクロールできる画面を表示します。

アドバイス
- 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、[はい] にタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定した IC 付近でエンジンスイッチをオフ / オンした場合、IC の指定が解除されることがあります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 ルート画面の [再探索] にタッチする

2 [IC 変更を解除] にタッチする

変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 [案内開始] にタッチする

[スケール調整]：
地図を拡大、縮小、スクロールできる画面を表示します。

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

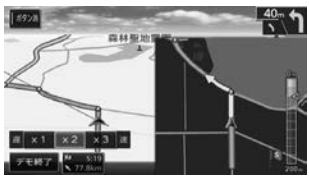
1 ルート画面の［ルート表示］にタッチする

▼

［スケール調整］：
地図を拡大、縮小、スクロールできる画面を表示します。

［ルート情報］：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

［デモ走行］：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。



［× 1］/［× 2］/［× 3］：
デモ走行のスピードを変更できます。

［デモ終了］：
デモ走行を終了します。

アドバイス

・ デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 ルート画面の［目的地表示］にタッチする

2 表示する目的地または経由地にタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

▼

ルート案内を中止する

ルート案内を途中で終了します。

1 ルート画面の［案内中止］にタッチして、［はい］にタッチする

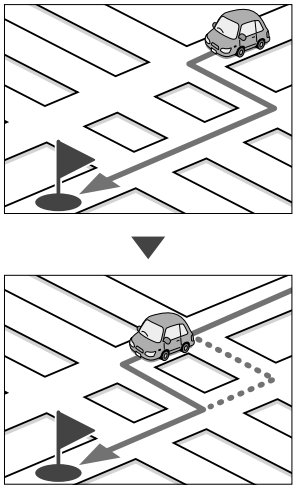
ルート案内が中止され、現在地図画面が表示されます。

アドバイス

・ ルート案内を中止しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、エンジンスイッチをオフにしてオンにしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。
本機には 300 件まで地点を登録できます。
フロントまたはコーナーカメラを接続している（VXM-194VFi のみ）ときはカメラ地点として登録することができます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 ［登録］にタッチする

3 登録するグループにタッチする

■ カメラ地点として登録したい場合

リストを下にスクロールすると「カメラ地点」が表示されます。「カメラ地点」を選ぶとカメラ地点として登録されます。

4 ［決定］にタッチする

この画面で登録する地点の名称を編集することができます。

アドバイス

- 手順 3 で登録先のグループを選択しなかった場合は、「未分類」グループに登録されます。
- 名称は、後から編集することができます。（➔ P.65）

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 目的地メニュー画面の［登録地点］にタッチする

2 見たい地点情報のグループにタッチする

▼

登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称、電話番号、グループ（登録先）を編集できます。

1 目的地メニュー画面の［登録地点］にタッチする

2 ［編集］にタッチする

3 編集したい地点のグループにタッチする

4 編集したい地点にタッチする

5 編集したい項目にタッチして編集する

● 名称を編集する

名称欄にタッチして名称を入力して［決定］にタッチします。

● 電話番号を編集する

電話番号欄にタッチして電話番号を入力して［決定］にタッチします。

● グループを変更する

グループ欄にタッチして変更したいグループにタッチします。

アドバイス

- 登録地点の住所は編集できません。
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「−」は省略することもできます。
- 未分類の地点を自宅にグループ変更したときに、すでに自宅が登録されていると、確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。
- ［パーソナル HP と同期］はインターナビのパーソナル・ホームページと本機の登録地点情報を同期するためのボタンです。詳細は 136 ページをご覧ください。

グループ名を編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名を編集できます。

1 **登録地点検索画面（65 ページの手順 2）を表示して［グループ名変更］にタッチする**

2 **変更したいグループにタッチする**

3 **グループ名を入力して［決定］にタッチする**

アドバイス

- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点 1 ～ 5」、「カメラ地点（VXM-194VFi のみ）」のグループ名の変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

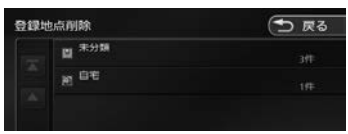
登録地点を削除する

アドバイス

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。

1 **登録地点検索画面（65 ページの手順 2）を表示して［削除］にタッチする**

2 **削除したい地点のグループにタッチする**



3 **削除したい地点を選ぶ**

複数の地点を選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

4 **［削除］にタッチする**

5 **［はい］にタッチする**

選択した登録地点が削除されます。

文字入力のしかた

文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類にタッチする

[切替]：
タッチするたびにかな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数 / 記号に切り替わります。

[小文字]：
小文字に切り替わります。

[半角]：
半角英数文字または記号に切り替わります。

文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする

2 変換する場合は、[変換] にタッチする

[無変換]：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 [決定] にタッチする

文字の入力が確定されます。

アドバイス

- ◀ または ▶にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して、BS にタッチすると文字を消すことができます。
- BS を押し続けると、入力した文字列が全消去されます。
- [入力切替] にタッチすると入力パレットを切り替えることができます。

トグル入力で文字を入力する

1 [入力切替] にタッチしてトグル入力画面に切り替える

2 文字を選んでタッチする

例：「い」を入力する場合
[あ] を 2 回タッチします。

例：「あい」を入力する場合
[あ] をタッチし、[送り] にタッチしたあと、[あ] を 2 回タッチします。

3 変換する場合は、［変換］にタッチする

［無変換］：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

4 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

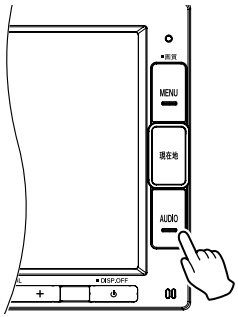
5 ［決定］にタッチする

AV の基本操作

ソースを切り替える

AUDIO メニュー画面でソースを切り替えます。

1 【 AUDIO 】を 2 回押す



AUDIO メニュー画面が表示されます。
AV 画面を表示しているときは 1 回押すと AUDIO メニュー画面を表示します。

2 切り替えたいソースにタッチする

ページ切り替え

iPod：
iPod の曲を再生します。(➔ P.84)

USB：
USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。(➔ P.82)

SD：
SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。(➔ P.82)

DVD/CD（VXM-194VFi のみ）
CD（VXM-194Ci のみ）：
CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。(➔ P.78、P.80)

Bluetooth AUDIO：
本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(➔ P.118)

TV（VXM-194VFi のみ）：
地上デジタル放送を受信します。(➔ P.74)

FM：
FM ラジオ放送を受信します。(➔ P.72)

AM：
AM ラジオ放送を受信します。(➔ P.72)

交通情報：
交通情報を受信します。(➔ P.73)

AUX（VXM-194VFi のみ）：
本機に接続した外部機器のソース（音声）に切り替えます。(➔ P.86)

アドバイス

- 切り替えたいソースが表示されないときは、ページ切り替えにタッチしてページを切り替えてください。
- DVD/CD または CD ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

AV 画面を表示する

選択しているソースの AV 画面を表示します。

1 【 AUDIO 】を押す

AV 画面からソース切替画面を表示する

AV 画面からソースを切り替える画面を表示することができます。

1 画面左上のソースにタッチする

2 ソースにタッチする

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

アドバイス
- 地図画面の画質は調整できません。
- 画面上部の [明るさ] は画面の明るさを調整します。（➔ P.30）
- 画質調整の値はイルミ ON 時と OFF 時でそれぞれ調整することができます。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 【 MENU 】を押し続ける

操作ボタンが表示されます。

3 [−] / [＋]（−4 ～ 0 ～ +4）にタッチして各項目を調整する

ブライトネス：
明るさを調整します。

コントラスト：
コントラストを調整 (強弱) します。

色の濃さ：
色の濃淡を調整します。

色合い（カメラ映像 / ドライブレコーダー映像のみ）：
値を小さくすると画面の赤みが強くなります。値を大きくすると画面の緑が強くなります。

初期値：
調整した値をお買い上げ時に戻します。
画面の明るさ、アスペクトの値もお買い上げ時に戻ります。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

アドバイス
- カメラ（別売）の映像、TV の映像（VXM-194VFi のみ）またはドライブレコーダー（別売）の映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 【 MENU 】を押し続ける

操作ボタンが表示されます。

3 「アスペクト」の [◀] / [▶] にタッチして、サイズを調整する

レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

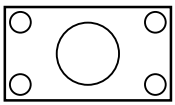
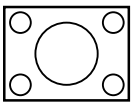
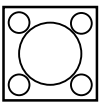
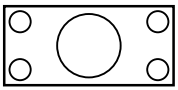
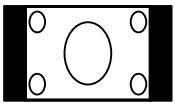
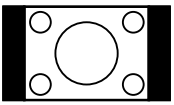
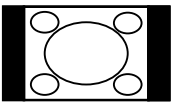
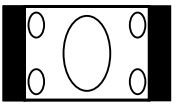
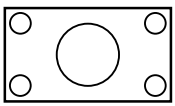
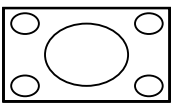
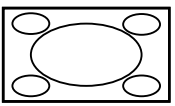
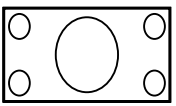
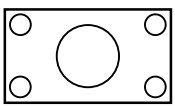
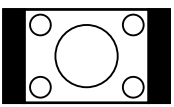
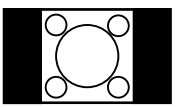
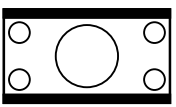
フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル（SD、USB ソースのみ）：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート（VXM-194VFi の DVD 再生時のみ）：
16:9 の映像はフルで、4:3 の映像はレギュラーで表示します。

初期値：
調整した値をお買い上げ時に戻します。
画面の明るさ、画質調整の値もお買い上げ時に戻ります。

■ 映像サイズイメージ

アスペクト設定	16：9 画像	4：3 画像	その他	
				
レギュラー				
フル				
オリジナル（SD、USB ソースのみ）				
オート（DVD 再生時のみ）	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			

アドバイス

- カメラ映像で［初期値］にタッチすると、リアカメラ、フロントまたはコーナーカメラの調整した画質調整の値がお買い上げ時に戻ります。カメラ映像以外で調整した値は残ります。
- カメラ映像以外の映像を表示しているときに初期値にタッチすると、カメラ以外で画質調整した値がすべて初期値に戻ります。画面表示サイズについては［初期値］にタッチしたとき選択されているソースの値のみお買い上げ時に戻ります。

ラジオ（AM/FM/ 交通情報）を聴く

画面の見かたと操作

AUDIO メニュー画面で AM または FM にタッチすると、AM または FM ラジオ放送を受信します。
AM と FM ソースの操作画面は共通です。
本機は「ワイド FM」（FM 補完放送）に対応しています。

ここまでの手順
ソースを AM/FM/ 交通情報に切り替える（➔ P.69）

①プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局
②プリセットモード
③ステレオ受信表示

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / お気に入り 1/ お気に入り 2）が切り替わります。
[FM]/[AM]	受信するバンドを切り替えます。
[交通情報]	交通情報を受信します。
[1] ～ [8]（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。
⏮ / ⏭	・押すと 1 ステップずつ周波数を変えます。（マニュアル選局） ・0.5 秒以上～ 1.5 秒未満押し続けて指を離すと、受信可能な放送局を探し始めます。受信可能な放送局が見つかると停止し、受信を開始します。（オート選局） ・1.5 秒以上押し続けていると、押している間周波数を連続して変えます。（マニュアル選局）
[放送局リスト]	放送局をリストから選択します。
[SOUND]	サウンド設定画面を表示します。

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。（➔ P.73）

1 [プリセット切替] にタッチする

タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 →お気に入り 2 →エリアの順で切り替わります。

放送局をリストから選局する

現在受信できる放送局がリストで表示されます。

1 [放送局リスト] にタッチする

2 受信する放送局にタッチする

：コミュニティ FM 局

[リスト更新]：
リストを最新の情報に更新します。

・「コミュニティ FM 局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（➔ P.72）

2 ［プリセット切替］にタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える

3 登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンにタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。受信状態の良いほうが自動的に受信されます。

■ 手動で切り替える

1 ［1620kHz］または［1629kHz］にタッチする

⏮ / ⏭ にタッチしても切り替えられます。

TV を視聴する（VXM-194VFi のみ）

本機は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式（コンテンツ権利保護専用方式）を採用しており、従来の B-CAS カードは必要ありません。地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式についての詳細は、下記サイトをご確認ください。
一般社団法人地上放送 RMP 管理センター
http://www.trmp.or.jp/

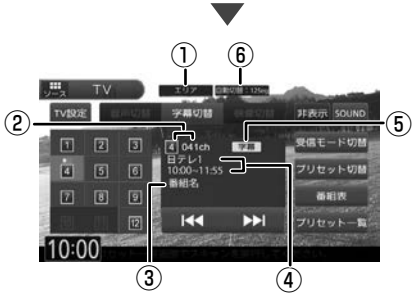
放送局のプリセットについて

本機のプリセットモードは「ホーム」、「お出かけ」、「エリア」があります。
「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされています。
「ホーム」または「お出かけ」をはじめてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
（➜ P.75）

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを TV に切り替える（➜ P.69）

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

①プリセットモード
②プリセット番号 / チャンネル番号
③番組名
④受信している放送局名またはサービス名 / 放送時間
⑤音声 / 字幕 / 映像
　音声、字幕または映像が切り替えられるときに表示されます。
⑥受信モード

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（ホーム / お出かけ / エリア）が切り替わります。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[非表示]	操作ボタンが消えます。
[TV 設定]	TV の設定画面を表示します。
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 固定：1Seg ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定：12Seg 12セグ固定モードに切り替えます。 自動切替： 自動受信モード（1Seg または 12Seg）に切り替えます。
[番組表]	番組表を表示します。 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは［データ収集］にタッチしてデータを取得してください。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
⏮ / ⏭	前または次のプリセット局を選局します。
[1] ～ [12]（プリセットボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
[SOUND]	サウンド設定画面を表示します。

アドバイス

- プリセットモードがエリアの場合、場所によってはプリセットを選んでも受信できないことがあります。その場合は、プリセットモードをホームまたはお出かけに切り替えて、初期スキャンを行ってください。

放送局を登録（プリセット）する

はじめてご使用になる場合は、放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 [プリセット切替] にタッチして、[ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

2 [プリセット一覧] にタッチする

3 [初期スキャン] にタッチする

4 現在地の都道府県にタッチする

メッセージが表示されます。

5 [はい] にタッチする

受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。

アドバイス

- [再スキャン] は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンはすでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

画質を調整する

1 映像表示中に【 MENU 】を押し続ける

▼

画質を調整するボタンが表示されます。
操作については 70 ページをご覧ください。

番組表を見る

最大８日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選択することもできます。ワンセグ番組表は最大２日分表示されます。

1 [番組表] にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

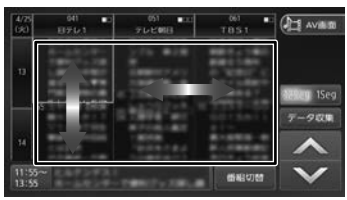
番組表が表示されます。

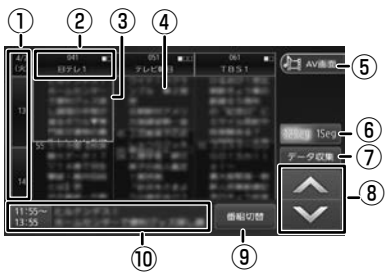
アドバイス

- すでに放送時間が過ぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、エンジンスイッチをオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは［データ収集］にタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。

番組表の見かたと操作

番組表は番組リスト内をフリックまたはドラッグすると、上下左右にスクロールできます。





① 日時：
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。

② 放送局：
タッチするとその放送局を受信します。

③ フォーカス

④ 現在視聴中の番組

⑤［AV 画面］：
番組表を消して、AV 画面に戻ります。

⑥ 1Seg 1Seg ：
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。

⑦［データ収集］：
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。

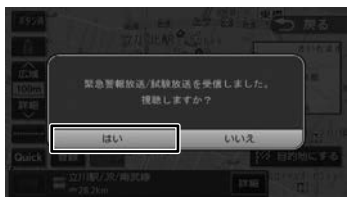
⑧ ／ ：
フォーカスを移動します。

⑨［番組切替］：
フォーカスされているチャンネルで複数サービスが存在する場合に表示されます。
タッチすると、番組表内の番組情報を切り替えます。

⑩ 番組詳細：
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、TV ソースの場合は自動的に緊急警報放送に切り替わります。
TV ソース以外の AV 画面や地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



［はい］：
緊急警報放送に切り替わります。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。
中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「TV 設定」の［中継局 / 系列局サーチ］で設定できます。
［中継局 / 系列局サーチ］を“自動切替 (中継局)”に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。

アドバイス

- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

TV の設定をする

1 [TV 設定] にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

▼

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	標準 */ 12Seg を優先 / 切替頻度低減を優先	受信モードを［自動切替］に設定している場合に、優先させる内容を設定します。
中継局 / 系列局サーチ	自動切替しない / 自動切替（中継局）/ 自動切替（中継局＋系列局）*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
バックグラウンドサーチ（TV アンテナ 4 本装着時のみ表示）	ON*/OFF	「ON」に設定していると、テレビ放送を受信しながらサーチを行います。受信状態が悪いと感じる場合は「OFF」に切り替えてみてください。
文字スーパー	表示しない / 第一言語 */ 第二言語	表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信機識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	

アドバイス

- 「中継局 / 系列局サーチ」が「自動切替しない」に設定されていると「バックグラウンドサーチ」を設定できません。設定したい場合は、「中継局 / 系列局サーチ」設定を「自動切替しない」以外に設定してください。

*：お買い上げ時の設定です。

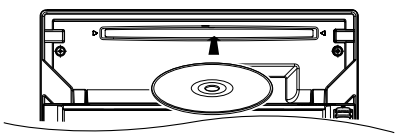
CD・オーディオファイルディスクを再生する

ディスクを入れる / 出す

1 【⏏】を押す

2 [DISC] にタッチする

3 ディスクを挿入口に入れる



フロントパネルが自動的に閉じます。

ソースが DVD/CD(VXM-194VFi のみ) または CD（VXM-194Ci のみ）に切り替わります。

ディスクを取り出す

1 【⏏】を押す

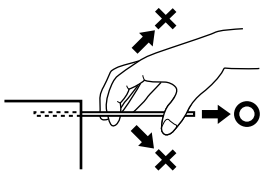
2 [DISC] にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

アドバイス

- ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは、水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すと、ディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



ディスクを取り出せないときは

1 ディスクが排出されるまで【⏏】を押し続ける

2 ディスクを取り出す

画面の見かたと操作

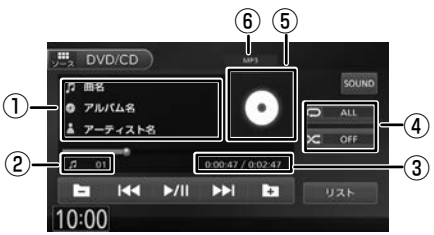
音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順
ソースを DVD/CD(VXM-194VFi のみ) または CD（VXM-194Ci のみ）に切り替える
（➔ P.69）

音楽 CD

①トラック番号
②トラック番号 / 総曲数
③再生時間 / 総再生時間
④リピート / ランダム再生モード

オーディオファイルディスク



①曲名（ファイル名）/ アルバム名（フォルダ名）/ アーティスト名
②ファイル番号
③再生時間 / 総再生時間
④リピート / ランダム再生モード
⑤アルバムアート画像
⑥音声形式

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 **ALL：** すべての曲をくり返し再生します。 **1：** 再生中の曲をくり返し再生します。 **フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）：** 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 **OFF：** ランダム再生モードを解除します。 **ALL（音楽 CD のみ）：** アルバム内の曲をランダム再生します。 **フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）：** 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/（オーディオファイルディスクのみ表示）	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次の曲を選択します。
▶/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。
[SOUND]	サウンド設定画面を表示します。

アドバイス
- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。走行中は、スクロールできません。

DVD を再生する
（VXM-194VFi のみ）

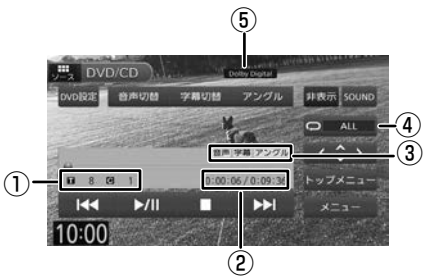
画面の見かたと操作（DVD ビデオ /DVD-VR）

DVD を再生します。
ディスクの出し入れについては、78 ページをご覧ください。

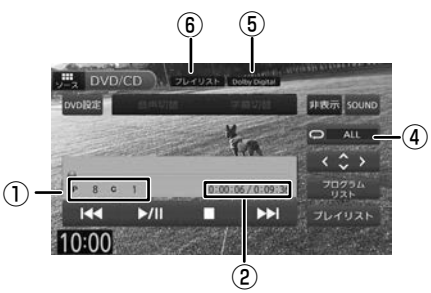
ここまでの手順
ソースを DVD/CD に切り替える（➜ P.69）

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

DVD ビデオ



DVD-VR



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。
① DVD ビデオのとき：
　タイトル番号およびチャプター番号
　DVD-VR のとき：
　プログラム番号およびチャプター番号
②再生時間 / 総再生時間
③音声 / 字幕 / アングル（DVD ビデオのみ）
　それぞれ切り替えられるときに表示されます。
④リピート再生モード
⑤音声形式
⑥プログラムリスト / プレイリスト表示
（DVD-VR のみ）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 **ALL：** すべてのチャプターをくり返し再生します。 **チャプター：** 再生中のチャプターをくり返し再生します。 **タイトル（DVD ビデオのみ）：** 再生中のタイトルをくり返し再生します。 **プログラム（DVD-VR のみ）：** 再生中のプログラムをくり返し再生します。 **プレイリスト（DVD-VR のみ）：** 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
［音声切替］/［字幕切替］	音声 / 字幕の言語が切り替わります。
［アングル］（DVD ビデオのみ表示）	アングルが切り替わります。
［非表示］	操作ボタンを消します。
［DVD 設定］	DVD 設定画面を表示します。
（DVD ビデオのみ表示）	カーソルを表示します。
［トップメニュー］/［メニュー］（DVD ビデオのみ表示）	ディスクのメニュー / トップメニューを表示します。
［プログラムリスト］/［プレイリスト］（DVD-VR のみ表示）	プログラムリスト / プレイリストを表示します。
/	前 / 次のチャプターを選択します。
■	再生を停止します。
▶/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。
［SOUND］	サウンド設定画面を表示します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目に直接タッチして操作できます。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中の画面にタッチして [表示] にタッチする

2 [‹ ^ ›] にタッチする

3 各ボタンにタッチして操作する

‹ / › / ˅ / ˄ :
タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン]：
ディスクメニューの 1 階層上の項目を表示します。

[決定]：
選択中の項目を実行します。

[非表示]：
操作ボタンを消します。

アドバイス
- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。

1 [DVD 設定] にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー / トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

アドバイス
- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

画質を調整する

1 映像表示中に【 MENU 】を押し続ける

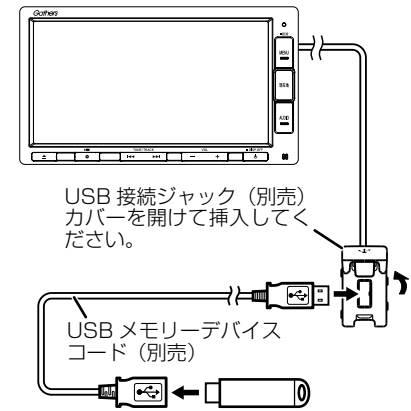
▼

画質を調整するボタンが表示されます。
操作については 70 ページをご覧ください。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する

この操作を行う前に、本機に iPod を USB 接続している場合は取り外してください。



アドバイス
- USB 接続ジャックの形状や取付位置は車両によって異なります。詳しくは Honda 販売店にご確認ください。
- 本機で再生できる USB 機器は 187 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。

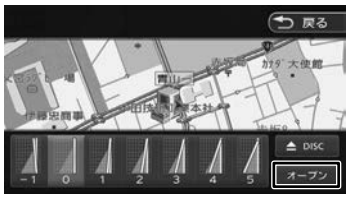
USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。
USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

1 【⏏】を押す

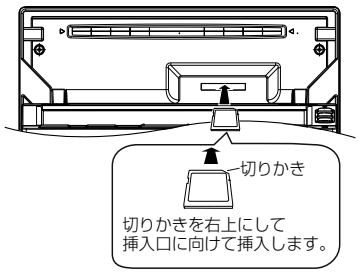
2 [オープン] にタッチする



フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる

SD カードは、突き当たるまで奥に差し込んでください。



4 【⏏】を押す

フロントパネルが閉じます。

アドバイス
- 本機で再生できる SD カードは 187 ページをご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

SD カードを取り出す

ソースを SD 以外に切り替えてから、SD カードを取り出します。
SD ソースのまま取り外すと、SD カード内のデータが破損する場合があります。

1 【⏏】を押す

2 [オープン] にタッチする

3 SD カードを取り出す

SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

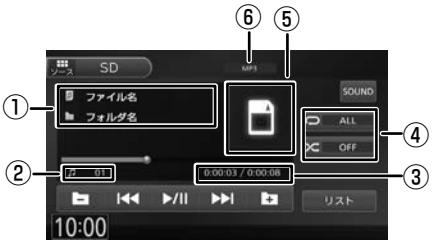
4 【⏏】を押す

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。

ここまでの手順
ソースを USB または SD に切り替える（➔ P.69）

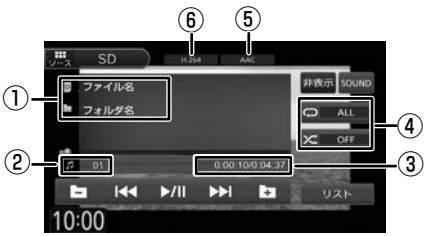
オーディオファイル



①曲名（ファイル名）/ アルバム名（フォルダ名）/ アーティスト名
②ファイル番号
③再生時間 / 総再生時間
④リピート / ランダム再生モード
⑤アルバムアート画像
⑥音声形式

ビデオファイル

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。
①ファイル名 / フォルダ名
②ファイル番号
③再生時間 / 総再生時間
④リピート / ランダム再生モード
⑤音声形式
⑥映像形式

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 **ALL:** すべてのファイルをくり返し再生します。 **1：** 再生中のファイルをくり返し再生します。 **フォルダ：** 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
OFF	ランダム再生モードが切り替わります。 **OFF：** ランダム再生モードを解除します。 **フォルダ：** 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。
/	前 / 次のフォルダを選択します。
/	前 / 次のファイルを選択します。
▶/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。
[SOUND]	サウンド設定画面を表示します。

アドバイス
- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。走行中は、スクロールできません。

画質を調整する

1 映像表示中に【 MENU 】を押し続ける

▼

画質を調整するボタンが表示されます。
操作については 70 ページをご覧ください。

iPod の曲を再生する

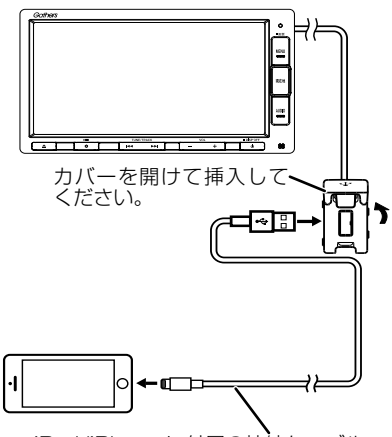
iPod を接続する

本機の iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は USB 接続と Bluetooth 接続です。

USB で接続する

この操作を行う前に、本機に USB を接続している場合は取り外してください。

USB 接続には iPod に付属のケーブルで接続します。



アドバイス
- iPod/iPhone に付属の接続ケーブルは車内に放置しないでください。
- USB 接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。

■ iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

Bluetooth で接続する

Bluetooth で接続する場合は、[iPhone との接続方法] を設定してから接続してください。

- この操作を行う前に、本機に USB 接続している機器がある場合は取り外してください。また本機に Bluetooth 接続している機器がある場合も接続を解除してください。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [システム] にタッチする

3 「その他」の［iPhone との接続方法］にタッチする

4 ［Bluetooth］にタッチする

[USB]：
USB を選択すると USB ケーブルで接続する設定になります。

5 本機に Bluetooth 機器として登録し、接続する（➔ P.106）

アドバイス
- Bluetooth デバイス接続設定として「BT Audio/ アプリケーション連携」にチェックが入っていることを確認してください。（➔ P.109）

画面の見かたと操作

iPod の曲を再生します。

アドバイス

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。走行中は、スクロールできません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

ここまでの手順
ソースを iPod に切り替える（➔ P.69）

①接続方法表示
②曲名 / アルバム名 / アーティスト名
③曲番号 / 全曲数
④再生時間 / 総再生時間
⑤リピート / シャッフル再生モード
⑥アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
ALL	リピート再生モードが切り替わります。 **OFF：** リピート再生モードを解除します。 **ALL：** リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 **1：** 再生中の曲をくり返し再生します。
OFF	シャッフル再生モードが切り替わります。 **OFF：** シャッフル再生モードを解除します。 **曲：** リスト内の曲をシャッフル再生します。 **アルバム順 *：** アルバムをシャッフル再生します。アルバム内の曲は順番どおりに再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。（➔ P.85）
⏮ / ⏭	前 / 次の曲を選択します。
▶/II	再生 / 一時停止（ポーズ）します。
[SOUND]	サウンド設定画面を表示します。

*：iPod nano (第 7 世代) のみ

リストから曲を選択する

再生する曲をリストから選択できます。

1 ［リスト］にタッチする

2 再生するカテゴリー、曲にタッチする

[トップ]：
一番上の層のリストに移動します。

[一つ上]：
一つ上の層のリストに移動します。

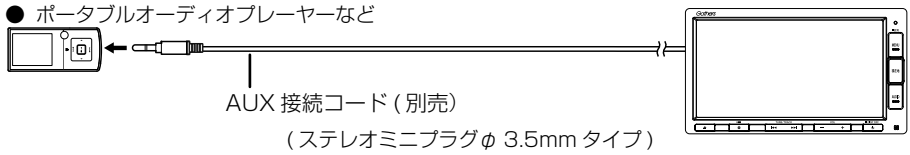
[Play]：
該当するフォルダまたはリストの先頭のファイルから再生されます。

外部機器の音声を聴く（VXM-194VFi のみ）

「AUX」端子から入力された音声を聴くことができます。

外部機器を接続する

接続するときは、接続機器の電源はオフにしておいてください。



アドバイス

- 音声入力レベルが 2Vrms を超える機器を接続した場合、音の乱れやひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを AUX に切り替える
(➔ P.69)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[SOUND]	サウンド設定画面を表示します。

設定 / 情報メニューについて

設定 / 情報メニュー画面では VICS 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定ができます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

アドバイス

- 設定 / 情報メニュー画面は、表示すると設定メニューを表示します。情報メニューを表示したいときは [情報] にタッチしてください。

■ 設定メニュー

ナビ：
ナビゲーションに関する設定を行います。(➜ P.93)

サウンド：
サウンドに関する設定を行います。(➜ P.97)

Bluetooth：
Bluetooth に関する設定を行います。(➜ P.108)

システム：
システムに関する設定を行います。(➜ P.100)：

internavi：
インターナビに関する設定を行います。(➜ P.138)

ユーザーセットアップ：
ユーザーセットアップを行います。(➜ P.22)：

■ 情報メニュー

VICS：
FM VICS 情報、ETC2.0 割り込み情報を表示します。(➜ P.88)

バージョン：
本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(➜ P.105)

ETC：
本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(➜ P.144)

ドライブレコーダー
ドライブレコーダーの設定やファイルリストが表示されます。(➜ P.147)

NaviCon 友達マップ (VXM-194VFi のみ)：
スマートフォンアプリケーション「NaviCon」友達マップを使うときの設定を行います。(➜ P.48)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、一般財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- **レベル 1（文字型情報）**
  情報が文字で表示されます。
- **レベル 2（簡易図形型情報）**
  情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3（地図表示型情報）**
  情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）、ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。

アドバイス
- ITS スポットから情報を取得するには、本機対応の ETC2.0 車載器が必要です。

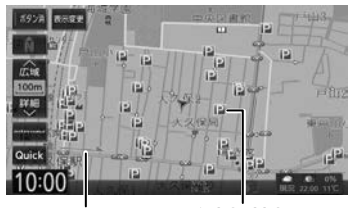
VICS 情報利用上のご注意

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
- FM 放送時間外は利用できません。

地図に表示される VICS 情報

レベル 3（地図表示型）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害
チェーン 規制	**故障車**	**入口閉鎖**	**入口制限**
イベント	**出口制限**	**火災**	**凍結**
車線規制	**車線規制： 右側**	**進入禁止**	**片側交互通行**
駐車場 閉鎖	**駐車場 混雑**	**駐車場 空き**	**駐車場 満車**
	背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場 不明	**SA・PA 閉鎖**	**SA・PA 混雑**	**SA・PA 空き**
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色
SA・PA 満車	**SA・PA 不明**	**その他の規制**	**工事**
背景赤色	背景黒色		
徐行	**速度規制**	**対面通行**	**作業**

アドバイス
- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図に表示する VICS 情報は設定することができます。（➔ P.92）
- レベル 3（地図表示型）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ～ 1km です（一般道では 10m ～ 500m です。また、駐車場情報は 10m ～ 200m で表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークにタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。

2 [詳細] にタッチする

[切替]：
複数の VICS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

▼

VICS の詳しい情報が表示されます。

ETC2.0 割り込み表示

本機に対応の ETC2.0 車載器を接続している場合、ITS スポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます（優先情報は地図以外でも割り込み表示されます）。音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。
対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
  - 安全運転支援情報
  - 緊急メッセージ情報
  - 注意警戒情報
- 一般情報
  - 電子標識情報
  - 多目的情報
  - 長文読み上げ情報

▼：
表示ページを切り替えます。

[再生] / [停止]：
音声情報を再生または停止します。

アドバイス
- ETC2.0 図形情報、文字情報を割り込み表示しないように設定できます。（➔ P.145）
- 割り込み時間を設定することができます。（➔ P.145）
- 音声情報を再生中は、設定した割込表示時間をすぎても表示し続けます。
- ETC2.0 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチする

3 [VICS] にタッチする

4 表示したい情報にタッチする

[FM 図形情報] / [FM 文字情報]：
FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

[ETC2.0 割り込み情報]：
ETC2.0 車載器で受信した割り込み情報を表示します。

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示

右側の番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

■ 図形情報

▽ / △ :
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

■ 文字情報

▽ / △ :
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

ETC2.0 割り込み情報

▼ / ▲ :
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

[再生] / [停止]：
音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局
  現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局の方が便利です。
- 手動選局
  FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
  県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

1 VICS 情報画面を表示する（90 ページの手順 1 ～ 3）

2 [VICS FM 選局モード] にタッチする

3 [自動] にタッチする

[自動] にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動で選局する

1 [自動] にタッチしてチェックを外す

2 ◀ または ▶ にタッチして、受信周波数を設定する

受信する周波数が設定されます。

VICS 情報の表示設定をする

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする

3 「地図」の［VICS 情報表示］にタッチする

4 項目にタッチする

チェックが付いている項目は地図に表示する情報です。チェックが付いていない項目は表示しません。

チェックマークは項目をタッチするたびに切り替わります。

● 表示設定項目

項目	設定	説明
渋滞 / 混雑線の表示：高速道	☑	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示：一般道	☑	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道		高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道		一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	☑	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示		駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

☑ : お買い上げ時の設定です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする

3 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	地図色：1*/2 文字サイズ：小 / 中 / 大* 地図色昼夜切替：昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動 */ 時刻連動	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。(➔ P.95)
ランドマーク表示	−	地図に表示するランドマークを設定します。(➔ P.96)
登録地点表示	−	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーにタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。 [表示オフ] にタッチするとすべて表示しません。
VICS 情報表示	−	地図に表示する VICS 情報を設定します。
自車マーク	* / /	自車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(➔ P.95)
走行軌跡を消去	−	記憶されている走行軌跡を消去します。(➔ P.95)
地図の向き	ノースアップ */ ヘディングアップ /3D ビュー	地図の向きを設定します。
地図の向き (小画面)	ノースアップ */ ヘディングアップ /3D ビュー	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
マップコードの表示	ON*/OFF	スクロール画面で表示されるマップコードを表示するかどうかを設定します。
緯度・経度の表示	ON*/OFF	スクロール画面で表示される緯度・経度を表示するかどうかを設定します。
盗難多発地点表示	ON*/OFF	盗難多発地点 ( ) を表示するかどうかを設定します。 • 縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分し表示します。

項目	設定	説明
冠水注意地点表示	ON*/OFF	冠水注意ポイント（ ）を表示するかどうかを設定します。 ・縮尺が 200 m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 ・冠水注意ポイント表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。 (➔ P.96)	

● 案内

項目	設定	説明
案内音声の音量	1 ～ 10* ～ 20	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	案内音量設定と車速に応じて、案内音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON： ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
盗難多発地点音声案内	ON*/OFF	盗難多発地点の音声案内をするかしないかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。 (➔ P.33)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。 (➔ P.33)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。 (➔ P.57)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(➔ P.57)

項目	設定	説明
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときにETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。(➔ P.58)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。
目的地方向表示	ON*/OFF	自車位置から目的地方向に赤い線が表示されます。この赤い線を表示するかしないかを設定します。
ルート学習	ON*/OFF	自宅から半径2km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、ナビが学習し実際に走行するルートを学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかしないかを設定します。
ルート学習初期化	学習したルートを初期化します。タッチするとメッセージが表示されます。[はい] にタッチすると初期化が開始されます。	

アドバイス
・ 地図を更新すると学習したルートは消去されます。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	internavi ルート *、標準、距離、高速、一般優先、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。 (➔ P.53)
internavi ルート探索条件	この設定については、141 ページをご覧ください。	
道幅の広い道路	優先しない : 道幅を考慮せずルートを探索します。 優先する *: 道幅の広い道路を優先して通るルートを探索します。 最優先する : 道幅の広い道路を最優先して通るルートを探索します。	
スマート IC を利用した探索	ON/OFF*	スマート IC を利用した探索を行うかどうかを設定します。

項目	設定	説明
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。
渋滞を考慮したオートリルート	ON*/OFF	渋滞を考慮した探索を行うかどうかを設定します。渋滞を考慮した探索は internavi 機能を使用します。

・スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● ETC

ETC の設定については 145 ページをご覧ください。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 「地図」の［地図色 / 文字サイズ］にタッチする

2 設定したい項目にタッチする

地図色：
地図の表示色を設定します。

文字サイズ：
小、中、大から文字サイズを設定します。

地図色昼夜切替：

［自動］：
車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます (ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)。

［昼色に固定］：
常に昼色の地図を画面に表示します（昼画面）。

［夜色に固定］：
常に夜色の地図を画面に表示します（夜画面）。

［時刻連動］：
日没と日出で昼と夜画面を切り替えます。

走行軌跡の表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 「地図」の［走行軌跡の表示］にタッチする

［ON］：
走行軌跡を表示します。

［OFF］：
走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

1 「地図」の［走行軌跡を消去］にタッチして、［はい］にタッチする

アドバイス

- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を“OFF”に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 「地図」の［現在地修正］にタッチする

地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる（位置を修正）

3 ［向きを修正］にタッチする

4 または にタッチして、自車の向きを設定する（向きを修正）

5 ［決定］にタッチする

アドバイス

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。(➔ P.34)
- 手順５で［決定］にタッチする前なら、［位置を修正］または［向きを修正］にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。
- 手順５で［決定］にタッチする前に［戻る］にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されて、ナビ設定に戻ります。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニ / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。

1 「地図」の［ランドマーク表示］にタッチする

2 設定するパターンにタッチする

3 表示するランドマークのジャンルにタッチする

タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。

さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名にタッチすると分類が表示されます。設定したい項目にタッチします。

▼

表示させたいパターン（1 ～ 3）にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。

アドバイス

- ［表示オフ］にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

サウンドの設定をする

音響効果や音質、オーディオ効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

アドバイス

- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（POWER OFF）のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリーの発信、着信、通話中はサウンドの設定はできません。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [サウンド] にタッチする

3 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
車両タイプ	車両タイプを設定します。 (➔ P.98)	
リスニングポジション	リスニングポジションを設定します。 (➔ P.98)	
イコライザー	音質を設定します。 (➔ P.98)	

項目	設定	説明
バランス / フェーダー	−	◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ にタッチして前後のバランスを調整します。 [センターに戻す]： 左右 / 前後ともに中央になります。
Drive Equalizer +	ON*/OFF	ON に設定すると車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
バスブースト	OFF*/ LEVEL1/ LEVEL2/ LEVEL3	低音を増強するレベルを設定します。
スペースエンハンサー	OFF*/ SMALL/ MEDIUM/ LARGE	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。ここでは、仮想空間の広さを設定します。 ソースがラジオ（AM/FM/ 交通情報）のときは設定できません。
サウンドライザー	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。
リアライザー	ON*/OFF	ON に設定するとぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。圧縮された音楽に効果的です。
ソースレベル	−	各 AV ソースの音量を揃えます。 (➔ P.100)

車両タイプを設定する

車両のタイプに適した音場になるよう設定します。

1 [車両タイプ] にタッチする

2 車両のタイプにタッチする

リスニングポジションを設定する

車に乗っている人にとってより良い音場になるように、リスニングポジションを選択します。
リスニングポジションを選択すると、最適な DTA（Digital Time Alignment）が設定されます。

アドバイス

- この設定を行う前に、車両タイプを設定してください。
- DTA とは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

1 [リスニングポジション] にタッチする

2 設定するリスニングポジションにタッチする

選択したリスニングポジションに合った DTA（Digital Time Alignment）が設定されます。

プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。

1 設定したいソースを選ぶ

2 [イコライザー] にタッチする

3 [プリセット選択] にタッチする

4 設定したいプリセットイコライザー（ジャンル）にタッチする

▼

手順 1 で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。
ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

1 設定したいソースを選ぶ

2 [イコライザー] にタッチする

3 画面を指でなぞる

[フラットにする]：
すべての音域をフラットにします。

アドバイス
・ 調整したい周波数を選んでタッチし、 / にタッチしてレベルを調整することもできます。

■ プリセットイコライザー（ジャンル）をベースにイコライザーカーブを調整する

1 イコライザー画面で［プリセット選択］にタッチする

2 ベースにしたいプリセットイコライザー（ジャンル）にタッチする

3 調整したい周波数を選んでタッチし、 / にタッチしてレベルを調整する

▼

選択しているソースに設定されます。

調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーの USER1 ～ 4 に保存できます。

1 イコライザーカーブを調整する

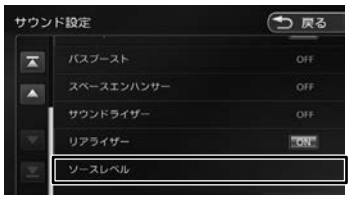
2 ［USER プリセット保存］にタッチする

3 保存先にタッチする

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 ［ソースレベル］にタッチする



2 ＋ または － にタッチして、音量を調整する

［初期値に戻す］：
ソースの音量レベルを初期設定に戻します。

アドバイス
- 「音楽 DISC」の音量レベルは固定です。
- ［iPhone との接続方法］を"Bluetooth"にしているときは、iPod ソースと Bluetooth AUDIO ソースの音量レベル設定は「iPod/Bluetooth AUDIO」で調整してください。
- VXM-194Ci は「TV」、「映像 DISC」、「AUX」は表示されません。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 【 MENU 】を押して［ 設定 / 情報 ］にタッチする

2 ［ システム ］にタッチする

3 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

● 音量

項目	設定	説明
スターターボリューム	動作しない*/更新間隔：速/更新間隔：中/更新間隔：遅	エンジンスイッチオン時に AV の音量を一定量下げます。エンジンスイッチオフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。
電話送話音量	1～11*～21	送話音量を調整します。
電話受話音量	0～15*～40	受話音量を調整します。
電話発着信音量	0～15*～40	発着信音量を調整します。

● 表示

項目	設定	説明
画面の明るさ	イルミ OFF：－ 4 ～ 0* ～+4 イルミ ON：－ 4 ～ 0* ～+4	画面の明るさを調整します。「イルミ OFF」は車両のライトスイッチがオフのときに、「イルミ ON」はライトスイッチがオンのときに調整してください。

項目	設定	説明
映像画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中に時計を表示するかどうかを設定します。
映像画面以外の時計表示	ON*/OFF	映像画面以外で、時計を表示するかどうかを設定します。

● カスタマイズ

項目	設定	説明
オプションボタン登録	オプションボタンに機能を登録します。(➔ P.103)	
ショートカットボタン登録	QUICK 画面のショートカットボタンに機能を割り当てます。(➔ P.32)	
ステアリングリモコンカスタマイズ	ステアリングリモコンのキーに割り当てる機能を割り当てなおします。(➔ P.163)	
オープニング画面カスタマイズ	オープニング画面の画像を変更することができます。(➔ P.29)	

● 車両

項目	設定	説明
車両ナンバー	軽 /5・7*/ 3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
リアカメラ次回表示ビュー(リアワイドカメラ接続時のみ)	リアカメラの映像の表示方法を設定します。	
フロントカメラ自動表示またはコーナーカメラ自動表示(VXM-194VFi のみ)	ON/OFF*	車速が低速になったらフロントまたはコーナーカメラの映像に自動で切り替えるかどうかを設定します。
フロントカメラ登録地点検知またはコーナーカメラ登録地点検知(VXM-194VFi のみ)	ON*/OFF	カメラ地点として登録した場所に低速で近づいたときに、自動でフロントカメラまたはコーナーカメラの映像に切り替えるかどうかを設定します。
フロントカメラインジケータ表示またはコーナーカメラインジケータ表示(VXM-194VFi のみ)	ON*/OFF	フロントカメラまたはコーナーカメラのインジケータアイコンを表示するかしないかを設定します。
後退駐車サポート(VXM-194VFi のみ)	ON*/OFF	後退駐車サポートをオン / オフします。
後退出庫サポート(VXM-194VFi のみ)	ON*/OFF	後退出庫サポートをオン / オフします。
後方死角サポート(VXM-194VFi のみ)	ON*/OFF	後方死角サポートをオン / オフします。
車線キープサポート(VXM-194VFi のみ)	ON*/OFF	車線キープサポートをオン / オフします。
運転支援警報音(VXM-194VFi のみ)	大 / 中 */ 小 / 消	運転支援システム(後退出庫サポート、後方死角サポート、車線キープサポート)の警報音の出力レベルを設定します。
パーキングセンサー表示割り込み	ON*/OFF	カメラ映像画面以外で表示されるパーキングセンサー表示の割り込みをするかしないかを設定します。

アドバイス

- 「車両」に表示される項目は、「車両ナンバー」以外は別売の機器が接続されているときに表示されます。

● その他

項目	設定	説明
セキュリティ	ON*/OFF	セキュリティ機能をオン / オフします。
セキュリティインジケータ	ON*/OFF	エンジンスイッチをオフにしたときにセキュリティインジケータを点滅させるかどうかを設定します。
操作音の出力	ON*/OFF	操作音の出力をするかしないかを設定します。

項目	設定	説明
iPhone との接続方法	USB*/ Bluetooth	iPod ソースを使うときの iPhone または iPod touch の接続方法を設定します。
表示言語	日本語 */ 英語 / 韓国語 / 中国語（簡体）/ 中国語（繁体）	本機の表示言語を設定します。
音声言語	日本語 */ 英語	本機の案内音声言語を設定します。
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。	
設定データの書き出し	設定を SD カードに保存します。	
設定データの読み込み	書き出した設定データを本機に読み込みます。	
システムの初期化	本機に登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。	
販売店ダイアグ	販売店向けのメニューです。	

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 「その他」の［システムの初期化］にタッチして、［はい］にタッチする

アドバイス

- システムの初期化を行ったときは、internavi 設定のフレーム No. と暗証番号も消去されます。本機を継続してご使用になる場合はフレーム No. と暗証番号を再度入力してください。

設定を SD カードに保存する

ナビ設定、システム設定、カメラ設定、サウンド設定や TV 設定、ラジオ設定など各 AV ソースの設定を SD カードに保存 (書き出し) することができます。
次の項目は、SD カードに保存（書き出し）できません。

- センサーの学習データ
- internavi 設定
- 電話音量設定（送話、受話、発着信）
- 車両ナンバー設定

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化されます。

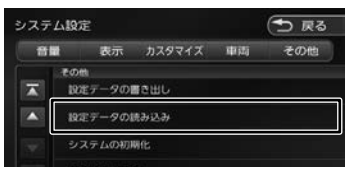
- 走行軌跡データ
- 目的地または経由地の検索履歴
- Bluetooth 機器の登録
- 本機のハンズフリー電話帳 / 着信履歴 / 不在着信履歴 / 発信履歴 / リダイヤル番号
- ナビのデバイス名 (Bluetooth)
- PIN コード (Bluetooth)

1 「その他」の［設定データの書き出し］にタッチして、［はい］にタッチする

SD カードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

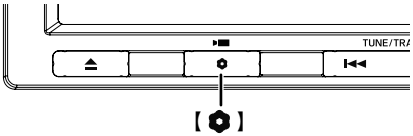
1 「その他」の［設定データの読み込み］にタッチして、［はい］にタッチする



読み込みが終了すると自動で再起動します。

オプションボタンに機能を割り当てる

フロントパネルの【 】に機能を割り当てます。割り当てられる 7 つの機能から選択します。



VXM-194VFi でフロントまたはコーナーカメラを接続している場合は、「フロントカメラ切替」または「コーナーカメラ切替」機能に設定されています。

1 「カスタマイズ」の［オプションボタン登録］にタッチする

2 割り当てたい機能にタッチする

自宅に戻る
自宅を目的地にしてルート案内を開始します。

現在地点登録
現在の地点を登録します。

右画面地図
右画面地図の表示 / 非表示を押すたびに切り替えます。

ミュート
画面表示を変えずに AUDIO ソースの音声出力をする、しないを押すたびに切り替えます。

昼夜切替
画面の輝度を昼（通常）/ 夜（減光）と切り替えます。地図の色、画質調整値、画面の明るさが押すたびに切り替わります。ナビ設定の地図色昼夜切替が「自動」に設定されているときは、画面の輝度に連動して切り替わります。

ドライブレコーダー静止画撮影
ドライブレコーダーの静止画を撮影します。

フロントカメラ切替またはコーナーカメラ切替（VXM-194VFi のみ）
フロントカメラまたはコーナーカメラの映像に切り替わります。
この項目はフロントカメラまたはコーナーカメラが接続されているときのみ表示されます。

セキュリティ機能を設定する

盗難防止対策のため、セキュリティ機能を設定することができます。
セキュリティ機能は、セキュリティコードとセキュリティインジケータがあります。

セキュリティの設定をする

セキュリティ設定は本機をバッテリーから外すと、再度接続したときにセキュリティコードを入力しないと本機が起動しないように設定するものです。

セキュリティコード（5 桁）は、付属のセキュリティカードに記載されています。セキュリティカードはなくさないように保管してください。なくしてしまった場合は、Honda 販売店までお問い合わせください。
また、セキュリティコードは変更することはできません。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [システム] にタッチする

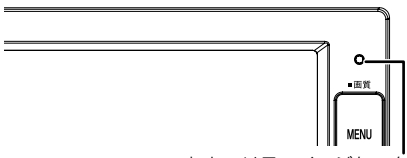
3 「その他」の［セキュリティ］にタッチする

[ON]：
セキュリティ機能をオンにします。

[OFF]：
セキュリティ機能をオフにします。

セキュリティインジケータの設定をする

セキュリティインジケータを ON に設定すると、エンジンスイッチをオフにしたときに、赤く点滅します。ただし、セキュリティの設定（上記）が「OFF」のときは「ON」に設定しても点滅しません。



セキュリティインジケータ

1 「その他」の［セキュリティインジケータ］にタッチする

[ON]：
エンジンスイッチオフ時にセキュリティインジケータを赤く点滅させます。

[OFF]：
エンジンスイッチオフ時にセキュリティインジケータを点滅させません。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチする

3 [バージョン] にタッチする

バージョン情報が表示されます。

Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

■ Bluetooth 接続中アイコンについて

Bluetooth 接続中はインジケータアイコンが本機の画面に表示されます。

Bluetooth 接続中アイコン

アドバイス

- Bluetooth 機器は 5 台まで登録できます。6 台目を登録しようとすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の携帯電話の表示と一致しない場合があります。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、191 ページをご覧ください。
- 本機で接続を確認している携帯電話は以下の Web サイトをご確認ください。https://www.honda.co.jp/navi/support
- 電話帳登録中に [終了] にタッチすると登録を中断します。
- 電話帳の登録はここで［いいえ］にタッチしても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

アドバイス

- iPhone/iPod touch を登録する場合は、108 ページをご覧ください。
- 手順 2 で Bluetooth 機器から本機を選ぶときの名前を変えることができます。（➔ P.111）

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器で “Gathers” を選ぶ

▼

パスキーを確認する画面が表示されます。Bluetooth 機器の画面に PIN コードを入力する画面が表示されたときは、107 ページをご覧ください。

3 [はい] にタッチする

▼

PBAP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器の電話帳を登録しますか？」と表示されます。

[はい]：
電話帳の登録が始まります。
機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。
アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

[いいえ]：
電話帳の登録はしません。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

Bluetooth 機器の画面に PIN コードを入力する画面が表示されたら

1 本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する

▼

初期設定は“0000”に設定されています。
本機の PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。(➔ P.108)

▼

PBAP に対応している機器の場合は、「この Bluetooth 機器の電話帳を登録しますか？」と表示されます。

[はい]：
電話帳の登録が始まります。
機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。
アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

[いいえ]：
電話帳の登録はしません。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

2台目を登録するときは

2台目を登録するときは、パスキーを確認した後または PIN コードを入力した後にハンズフリーの接続番号を選ぶ画面が表示されます。

1 ハンズフリーの接続番号を選ぶ

ハンズフリー 1/ ハンズフリー2：
発信や着信に使用します。

接続しない：
機器の登録のみで、発信や着信はできません。

▼

A2DP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器と BT Audio*/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。
* Bluetooth AUDIO

[はい]：
ハンズフリー接続、Bluetooth AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[いいえ]：
ハンズフリー接続のみとなります。

▼

PBAP に対応している機器の場合は、「この Bluetooth 機器の電話帳を登録しますか？」と表示されます。

[はい]：
電話帳の登録が始まります。
機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。
アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

[いいえ]：
電話帳の登録はしません。

▼

接続方法を選択すると本機にアイコンが表示されます。

オートペアリング機能で登録する

iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。(➔ P.108)

アドバイス
・ 登録ができない場合は 106 ページの登録方法で登録してください。

1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする

2 iPhone または iPod touch を USB ケーブルで接続する

接続方法は 84 ページをご覧ください。
本機に次の画面が表示されます。

3 デバイス名とパスキーを確認し、[はい] にタッチする

▼

PBAP に対応している機器の場合は、「この Bluetooth 機器の電話帳を登録しますか？」と表示されます。

[はい]：
電話帳の登録が始まります。
機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。
アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

[いいえ]：
電話帳の登録はしません。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。
2台目の登録の場合は、手順 3 で [はい] にタッチして 107 ページの「2台目を登録するときは」の操作を行ってください。

アドバイス
・ オートペアリング機能をオフにして本機に登録する場合は、106 ページの手順 1 から行ってください。

Bluetooth の設定をする

1 【MENU】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [Bluetooth] にタッチする

Bluetooth 設定画面が表示されます。

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/OFF	Bluetooth 機能をオン / オフします。オフにすると確認メッセージが表示されます。
デバイス接続	–	本機に Bluetooth 機器を接続します。(➔ P.109)
PIN コード	–	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。(➔ P.110)
ナビのデバイス名	–	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。(➔ P.111)
ナビのデバイスアドレス	–	本機のデバイスアドレスが表示されます。
オートペアリング	ON*/OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	ON/OFF*	着信時に、自動的に通話可能になります。

登録した機器を接続 / 解除する

Bluetooth 機器を接続する

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [Bluetooth] にタッチする

3 [デバイス接続] にタッチする

4 接続する Bluetooth 機器にタッチする

5 接続方法にタッチする

[ハンズフリー 1]/[ハンズフリー 2]：
ハンズフリー電話を使用します。

[BT Audio/ アプリケーション連携]：
BT AUDIO 再生と本機対応のスマートフォン連携アプリを Bluetooth 接続で使用します。
接続方法を選択すると本機にアイコンが表示されます。

Bluetooth 機器の接続を解除する

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [Bluetooth] にタッチする

3 [デバイス接続] にタッチする

4 解除する Bluetooth 機器にタッチする

5 接続を解除する方法にタッチして、[閉じる] にタッチする

- チェックマークがすべて外れていれば、ハンズフリー、BT Audio/ アプリケーション連携接続の両方を解除したことになります。

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [Bluetooth] にタッチする

3 [デバイス接続] にタッチする

4 [削除] にタッチする

5 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、[削除] にタッチする

複数選択することもできます。

[全て選択]：
リスト内のすべての機器を選択します。

[全て解除]：
リスト内のすべての機器の選択を解除します。

6 [はい] にタッチする

選択した機器が削除されます。

PIN コードを変更する

接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [Bluetooth] にタッチする

3 [PIN コード] にタッチする

4 PIN コードを入力して [決定] にタッチする

PIN コードが変更されます。

BS ：
カーソルの前にある文字を消去します。

アドバイス
・ 入力できる PIN コードは 4 桁です。

本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 ［ナビのデバイス名］にタッチする

2 デバイス名を入力して［決定］にタッチする

デバイス名が変更されます。

［小文字］：

アルファベットの小文字を入力できます。

アドバイス

- デバイス名は 20 文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベット（大文字、小文字）と数字のみです。

ハンズフリーを使う

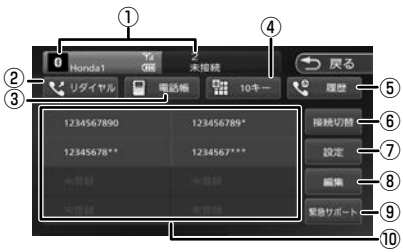
本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話メニューを表示する

1 【 MENU 】を押して [電話] にタッチする

電話メニューが表示されます。

画面の見かたと操作



① ハンズフリー 1/ ハンズフリー 2
- 2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は 1 または 2 にタッチして接続機器を選択してください。
- プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
- 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態が表示されます。
- 接続した Bluetooth 機器のバッテリー残量が表示されます。
- デバイス名が表示されます。

② **[リダイヤル]**
最後に電話をかけた番号に発信します。
（➔ P.117）

③ **[電話帳]**
電話帳を表示します。（➔ P.115）

④ **[10 キー]**
電話番号を入力します。（➔ P.117）

⑤ **[履歴]（PBAP 対応機器のみ表示）**
PBAP 対応機器の場合は、発信、着信、不在着信履歴から発信することができます。
（➔ P.115）

⑥ **[接続切替]**
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
（➔ P.109）

⑦ **[設定]**
Bluetooth 設定画面を表示します。（➔ P.108）

⑧ **[編集]**
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。
（➔ P.114）

⑨ **[緊急サポート]**
緊急サポート画面を表示します。
（➔ P.142）

⑩ **プリセットダイヤル**
プリセットに登録された番号に発信します。
（➔ P.113）

アドバイス
- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 にタッチする

：
着信中にタッチすると着信を拒否します。

：
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

アドバイス
- 着信中、通話中画面から地図画面または AV 画面に切り替えると、画面左下に [着信中] または [通話中] ボタンが表示されます。

2 通話が終わったら、 にタッチする

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。
あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。（➔ P.114）

1 電話画面を表示する（➔ P.112）

2 発信するダイヤルにタッチして、[はい] にタッチする

選択した電話番号に発信されます。

発着信音量 / 送話音量：
または にタッチして発着信音量（0 ～ 40）または送話音量（1 ～ 21）を調整します。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

1 ［編集］にタッチする

2 登録するプリセットにタッチする

3 登録方法にタッチし、電話番号を登録する

［電話帳から登録］：
登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

［10キーで登録］：
電話番号を入力し、［登録］にタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 ［編集］にタッチする

2 全て削除する場合
［全て削除］にタッチする

3 ［はい］にタッチする
全てのプリセットダイヤルが削除されます。

■ 選んで削除する場合

1 削除したいプリセットにタッチする

▼

2 ［削除］にタッチする

3 ［はい］にタッチする
選択したプリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は、発信、着信、不在着信履歴から発信することができます。

アドバイス
- PBAP に対応していない機器は履歴から電話をかけることはできません。［履歴］も表示されません。

1 **電話画面を表示する**（➔ P.112）

2 **［履歴］にタッチする**

機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。
アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

3 **［不在着信］/［着信］/［発信］のいずれかにタッチする**

4 **発信する履歴にタッチして、［はい］にタッチする**

▼

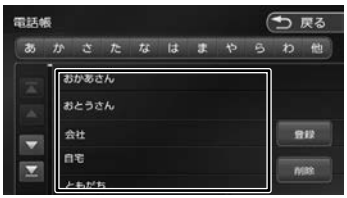
選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 **［電話帳］にタッチする**

2 **発信する相手にタッチする**



3 **発信する電話番号にタッチして、［はい］にタッチする**

▼

選択した電話番号に発信されます。

PBAP 対応機器の電話帳を登録する

電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。

アドバイス
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 ［電話帳］にタッチして電話帳を表示する

2 ［登録］にタッチする

PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。
機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。
アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

電話帳を削除する

1 ［電話帳］にタッチして電話帳を表示する

2 ［削除］にタッチする

3 削除する電話番号を選んでタッチし、［削除］にタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
すべての電話番号を選択します。

［全て解除］：
すべての選択を解除します。

4 ［はい］にタッチする

選択した電話番号が削除されます。

ダイヤルして電話をかける

1 ［10 キー］にタッチする

2 電話番号を入力して、［ ］にタッチする

3 ［はい］にタッチする

入力した電話番号に発信されます。

リダイヤルで電話をかける

最後にかけた電話番号に発信します。

1 ［リダイヤル］にタッチする

確認のメッセージと発信先の電話番号が表示されます。

2 ［はい］にタッチする

前回の電話番号に発信されます。

地点情報画面から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 地点の詳細情報画面を表示する（→ P.36）

1 ［ ］にタッチして、［はい］にタッチする

電話が発信されます。

アドバイス
- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

ハンズフリー電話の音量を調整する

■ 発信中 / 着信中の音量調整

送話音量（1 ～ 21）と発着信音量（0 ～ 40）を調整できます。

■ 通話中の音量調整

送話音量（1 ～ 21）と受話音量（0 ～ 40）を調整できます。

1 ［ ］または［ ］にタッチする

着信中画面の場合

アドバイス
- お使いの携帯電話によっては携帯電話からも受話音量調整が可能です。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを Bluetooth AUDIO に切り替える
(➔ P.69)

①曲名 / アルバム名 / アーティスト名
②ファイル番号
③再生時間 / 総再生時間
④バッテリー残量
⑤デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]	接続する Bluetooth 機器を切り替えます。(➔ P.109)
▶	再生します。
⏸	一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
ALL	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
OFF	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
[SOUND]	サウンド設定画面を表示します。

アドバイス

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応オーディオプレーヤーをハンズフリー接続したときに表示されます。

● 本機への登録（ペアリング）
Bluetooth 機器の登録や接続については「Bluetooth 機器の登録と設定」をご覧ください。(➔ P.106)

● 対応プロファイル
「Bluetooth について」をご覧ください。(➔ P.191)

インターナビを使う

リンクアップフリーについて

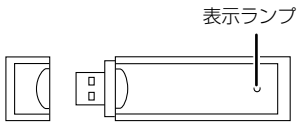
インターナビの性能をフルに発揮するには、ナビゲーションシステムとインターナビ情報センターとの間でデータ通信を行う必要があります。リンクアップフリーにより、通信費無料でのデータ通信が可能になります。

アドバイス

- リンクアップフリーを継続してお使いいただくには、車検時に Honda 販売店で更新手続きをしていただく必要があります。Honda 販売店以外で車検を受けられた場合は、別途更新手数料がかかります。詳しくは Honda 販売店にお問い合わせください。
- リンクアップフリーは、Honda が指定する通信事業者のデータ通信サービスを利用し、Honda がお客様にインターナビシステムのデータ通信を所定の条件下で無料で提供するものです。本サービスの提供期間や通信品質については、Honda はその責任を負うものではありません。

リンクアップフリー専用通信機器について

リンクアップフリーを利用するには、専用通信機器(インターナビデータ通信 USB)をナビゲーション本体のインターナビ USB ケーブルと接続し、正しく設定されている必要があります。

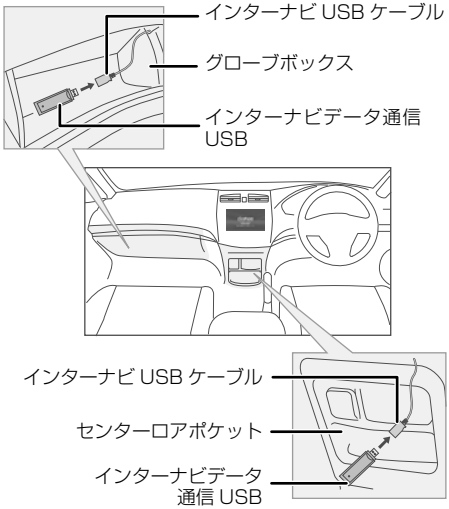


インターナビデータ通信USB (3G)

● 表示ランプについて

ランプの状態	電波の状態
青点灯	電波強、待受け、通信中
緑点灯	電波弱、待受け、通信中
赤点灯	USIM エラー
黄点灯	電波サーチ
青点滅	電波強、通信確認中
緑点滅	電波弱、通信確認中
赤点滅	圏外
消　灯	非装着、非給電

接続先のインターナビ USB ケーブルは、車種により接続箇所が異なり、グローブボックスまたはセンターロアポケットなどにあります。



アドバイス

- 通信の特性上、高速での移動中や基地局からの距離、電波をさえぎるものなどにより通信ができない場合があります。
- リンクアップフリー専用通信機器を他の車両・ナビゲーションシステム・その他の電子機器に接続してもデータ通信を行うことができません。上記接続を試みた結果、専用通信機器や接続した機器類に不具合が生じても、保証の対象とはなりません。
- 専用通信機器は、必ずインターナビ USB ケーブルに接続してください。AV 再生用の USB メモリーデバイスケーブルに接続しても、リンクアップフリーの機能をご利用いただけません。
- インターナビ USB ケーブルに他の USB 機器を接続しないでください。故障の原因になります。
- リンクアップフリー専用通信機器を高温の車内に放置すると、動作不良や故障の原因になりますのでご注意ください。

インターナビに接続する

以下の接続設定・確認操作は、基本的に Honda 販売店での販売時に行います。

会員 ID（フレーム No.）とパスワード（暗証番号）の入力

初めてインターナビへ接続する場合は、インターナビ情報センターより発行される「登録完了のご案内」に記載されている「会員 ID(フレーム No.)」と「パスワード（暗証番号)」を入力します。

1 [internavi] にタッチして、[はい] にタッチする

2 [フレーム No. 設定] にタッチする

フレーム No. 設定画面が表示されます。

3 会員 ID（フレーム No.）を入力し、[決定] にタッチする

4 [暗証番号入力] にタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。

5 4 桁のパスワード（暗証番号）を入力し、[決定] にタッチする

認証が完了すると「暗証番号認証が完了しました。internavi サービスを利用できます。」とメッセージが表示されます。

アドバイス

- 会員 ID、またはパスワードが正しく入力されていない内容のメッセージが表示されたときは、インターナビ情報センターより発行される「登録完了のご案内」をご確認の上、手順 1～5 で正しく入力されているか確認してください。

インターナビ接続アイコンについて

インターナビに接続しているときはナビの画面に「通信中」と表示されます。

internavi 画面の構成

internavi 画面は、インターナビを使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。internavi 画面は地図画面で［internavi］にタッチすると、いつでも表示できます。

1 ［internavi］にタッチする

▼

internavi 画面が表示されます。

internavi 画面

① **internavi ダイレクト**

インターナビでよく使う機能を表示します。項目はカスタマイズすることができます。「internavi ダイレクトカスタマイズ」(➔ P.139)

- internavi交通情報(➔ P.122)
- internaviウェザー(➔ P.124)
- 読み上げ再開(➔ P.129)
- 交通情報読み上げ(➔ P.123)
- ドライブの記録(➔ P.129)
- 駐車場セレクト(➔ P.128)

② **メッセージセンター**

Honda が発信するメッセージが表示されます。(➔ P.130)

③ **メニュー**

インターナビで利用できるメニューが表示されます。

- internavi 図形情報(➔ P.131)
- カーカルテ(➔ P.132)
- 駐車場セレクト(➔ P.133)
- 位置付き安否連絡(➔ P.134)
- 通行実績情報マップ(➔ P.134)
- 安全運転コーチング(➔ P.135)
- Myコース(➔ P.135)
- パーソナルHPと同期(➔ P.136)

④ **販売店連絡先**

My ディーラー、任意保険の連絡先が表示されます。(➔ P.137)

⑤ **緊急サポート**

路上での事故や故障などのトラブルに対応する緊急サポートセンターの電話番号、現在地のマップコードが表示されます。(➔ P.142)

アドバイス

- 「internavi ダイレクト」「メニュー」の項目数や内容は、予告なく変更される場合があります。変更された場合は、「internavi メニューが更新されました。」というメッセージが表示されます。

インターナビ交通情報を取得する

現在地やスクロールして表示した地点周辺のインターナビ交通情報を取得することができます。目的地を設定した場合は、目的地方面のインターナビ交通情報を取得して、地図上に表示できます。また、お客様からご提供いただいた情報（フローティングカー情報）から作成した交通情報（インターナビフローティングカー情報）やお使いのお車の条件にあった駐車場情報の提供も行います。

- 表示される情報は、交通規制、渋滞情報、簡易図形情報、駐車場情報、通行実績情報マップ、災害情報などです。
- インターナビ交通情報は、縮尺スケールが 10 m ～ 1 km(一般道は 10 m ～ 400 m) で表示されます。
- 情報を取得すると自動で表示されます。情報を手動で取得したいときは以下の手順で取得してください。手動で取得しても情報が何もない場合は表示されません。

1 [internavi] にタッチする

2 [internavi 交通情報] にタッチする

▼

地図を表示して、交通情報を取得します。

[取得中止]：
情報の取得を中止します。

▼

取得した情報を地図に表示します。

アドバイス

- インターナビ交通情報に関する設定については、「インターナビの設定をする」（➔ P.138）をご覧ください。
- 交通情報が収集されていない道路や VICS センターのメンテナンスなどにより、交通情報提供対象道路であっても交通情報が表示されない場合があります。
- 目的地設定したときに、自動で目的地方面の交通情報を取得することができます。
- 探索条件を internavi ルートに選択しているとインターナビ交通情報の情報取得後、自動的にインターナビ交通情報をもとにルートの再探索が行われます。

渋滞情報

予測リンク旅行時間情報

インターナビ交通情報では、過去の情報から統計・予測処理を行って作成した予測リンク旅行時間情報が提供されます。予測リンク旅行時間情報は VICS を使ったルート探索や、到着予測時間に使用します。

アドバイス

- 予測リンク旅行時間情報が提供されている箇所においても、地図上に表示している渋滞、混雑、順調表示は予測情報ではありません。順調表示でも予測リンク旅行時間が長いとその箇所を避けるルートを案内したり、渋滞情報でも予測リンク旅行時間情報が短いとその箇所を通るルートを案内する場合があります。

駐車場情報を表示

ナビ設定の「VICS 情報表示」(➔ P.92) で駐車場情報の表示を表示する設定にしているときに駐車場情報を表示することができます。
交通情報を取得すると、駐車場のアイコンが表示されます。カーソルをアイコンに合わせると、駐車場の情報が表示されます。地図に表示される駐車場のアイコンの色によって、駐車場の空き状況がわかります。

駐車場アイコン	色	空き状況
P	青	空き
P	橙	混雑
P	赤	満車
P	黒	不明
P	赤	閉鎖

インターナビフローティングカーシステム

お客様が走行した路線 / 時間の情報をナビゲーションシステムで記憶して、インターナビ情報センターに接続したタイミングでご提供していただいております。その情報（フローティングカー情報）を蓄積、編集処理を行い、該当路線の交通情報（インターナビフローティングカー情報）を作成します。フローティングカー情報は、インターナビ交通情報受信時にインターナビ情報センターに通知します。
また、インターナビ情報センターで作成されたインターナビフローティングカー情報も、インターナビ交通情報受信時に交通情報とあわせて提供されます。都市高速などのジャンクションの手前では、フローティングカー情報をもとにして、車線別の走行所要時間を考慮したルートを提供します。

アドバイス

- インターナビフローティングカー情報は、30 分以内に同じ道路を走行したデータがある場合はその情報を、ない場合には過去の同時刻帯のデータを統計処理した情報を提供しています。
- インターナビフローティングカー情報の対象となる道路は、全国約 36 万キロの道路区間です。生活道路や裏道などの全ての道路を対象とするものではありません。
- ご提供いただくフローティングカー情報は、お客様が特定できない形式に処理を行い、個人を特定するデータは保存されません。

災害情報

- 取得した交通情報に災害の情報が含まれているときは、地図上に災害警戒エリアを表示します。
- 縮尺スケールが 20 km 以下の場合のみ災害警戒エリア情報が表示されます。

交通情報読み上げ

交通情報を音声でお知らせします。

1 [internavi] にタッチする

2 [交通情報読み上げ] にタッチする

「internavi 情報コンテンツを取得中です。」が表示され、交通情報を取得します。

[中止]：
情報の取得を中止します。

internavi 交通情報画面が表示されます。

3 リストから項目を選んで [読み上げ開始] にタッチする

リストにタッチすると画面が切り替わり、[読み上げ開始] ボタンが表示されます。

アドバイス

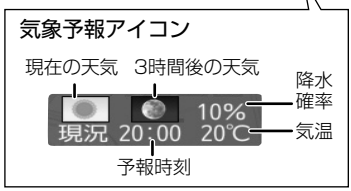
- [全件読み上げ] をタッチすると、表示中の全リストの内容を上から順番に音声で読み上げ、音声読み上げの情報に合わせて詳細情報を表示します。
- 項目にタッチすると詳細情報が表示されます。
- 音声読み上げ中に他の音声が割り込んだ場合は、読み上げを停止し新規の割り込み音声を読み上げます。停止した読み上げ音声は手動で再開することができます。(➔ P.129)

インターナビウェザーを取得する

地図画面に表示される情報について

現在の天気と天気予報表示

現在地またはスクロール先の取得時の気象予報と3時間後の気象予報を表示します。
ナビゲーション起動時は、現在地の気象情報が表示されます。



気象警戒エリアの表示

ルート周辺の雨や雪、津波などの気象警戒エリアを地図上に表示します。
各アイコンが表示可能なスケールは“10 m（最小スケール）～20 km”となります。降雨·降雪、津波の気象情報がある気象警戒エリアは、ナビ地図上に下記のアイコンが表示されます。

- 降雨·降雪のアイコンは、降水量·降雪量によって表示が変わります。

降水量	降雨アイコン	降雪量	降雪アイコン
1～4 mm		1～2 mm	
5～29 mm		3～4 mm	
30 mm 以上		5 mm 以上	

- 津波のアイコンは、予報の規模によって表示が変わります。

津波注意報	津波警報	大津波警報

- 気象情報を取得し、地図画面に戻ると、地図画面に気象予報アイコンが表示されます。気象予報アイコンには、地図をスクロールした地点の気象情報が表示されます（気象情報が取得できていない場合は表示されません）。
- 「ルート案内時連動取得」（➔ P.138）で [全ての情報] を選んでいる場合は、ルート案内を開始したときに気象情報を自動で取得することができます。（初期設定は [全ての情報] に設定されています。）
- 地図上に降雨・降雪、津波のアイコンを表示させるには、「internavi ウェザー設定」（➔ P.139）の「気象警戒エリアの表示」が [ON] に設定されている必要があります。（初期設定は [ON] に設定されています）。
  また、[ON] に設定されている場合は、ナビゲーション起動後にアイコンが表示されます。
- 気象情報は、要求に応じてインターナビサーバから取得します。データが取得できていないときは、気象情報は表示されません。
- 本サービス内容は変更されることがあります。予告なく中断、停止される場合があります。
- 気象予報アイコンは、ナビゲーション起動時に表示されます。表示されている時刻の予報天気を示しています。
- 気象予報アイコン、降雨・降雪、津波の情報表示の期限は以下の通りとなります。
  - 気象予報アイコン ⇒ 取得後 30 分
  - 降雨・降雪 ⇒ 提供時刻より 30 分
  - 津波 ⇒ 到達予想時刻から 60 分
- 地図スケールによって、表示されるアイコンは異なります。
- インターナビウェザーに関する設定については、「internavi ウェザー設定」（➔ P.139）をご覧ください。

internavi ダイレクトからインターナビウェザー情報を取得する

1 [internavi] にタッチする

2 [internavi ウェザー] にタッチする

▼

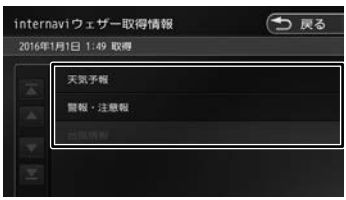
地図を表示して、天気情報を取得します。

[取得中止]：
情報の取得を中止します。

▼

internavi ウェザー取得情報画面が表示されます。

3 項目を選んでタッチする



この画面は一定の時間が過ぎると消えます。

天気予報

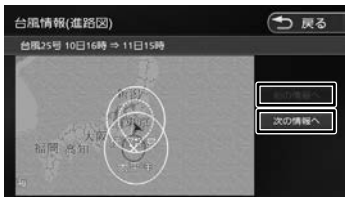
- ［前の情報へ］/［次の情報へ］にタッチするたびに、天気予報（今日・明日）↔ 天気予報（週間）…の順に切り替わります。
- 情報が取得できていない場合、項目は表示されません。
- ［マーク説明］をタッチすると、天気アイコンの説明を表示することができます。

警報・注意報

- 取得した気象情報に警報・注意報の情報が含まれているときは、発表日時、該当地域、警報・注意報の種類を表示します。

台風情報

- 取得した気象情報に台風の情報が含まれているときは、進路や詳細情報を表示します。
- 複数の台風情報を取得している場合は、［前の情報へ］/［次の情報へ］にタッチするたびに、台風情報 1（進路図）↔ 台風情報 1（詳細）↔ 台風情報 2（進路図）↔ 台風情報 2（詳細）…の順で切り替わります。



アドバイス

- 各画面の［前の情報へ］/［次の情報へ］にタッチするたびに、天気予報（今日・明日）↔ 天気予報（週間）↔ 警報・注意報 ↔ 台風情報（進路図）↔ 台風情報（詳細）↔ 天気予報 (今日・明日) …の順に切り替わります。
- インターナビウェザーを取得する地点は、画面表示状態や設定の有無で異なります。
  - 目的地を設定しており、現在地の地図が表示されている場合：
    目的地周辺の天気が表示されます。
  - 目的地を設定しておらず、現在地の地図が表示されている場合：
    現在地周辺の天気が表示されます。
  - 地図がスクロールされている場合：
    スクロール先周辺の天気が表示されます。
- 走行中は操作の一部が制限されます。
- 情報の取得を中止したい場合は、[取得中止] をタッチしてください。
- 気象情報は、目的地または任意の地点の気象情報を表示する操作を行ったときのほか、目的地を設定して最初のルート探索を行うときなどに取得されます。地図の向きが 3D 表示時は、気象情報に応じて空の絵が変わります。
- 気象情報を割り込み表示するには、「internavi ウェザー設定」（➜ P.139）の「気象情報割り込み表示」が [ON] に設定されている必要があります（初期設定は [ON] に設定されています）。

車両のメーター内へのウェザーインフォメーション表示

インターナビで取得した週間天気予報の今日と明日の気象情報を車両のメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。
機能の詳細については、車両の取扱説明書をご覧ください。

＜表示例＞

※車両の装備やグレードが気象情報表示に対応している必要があります。

アドバイス

- 気象情報を表示するにはインターナビで気象情報を取得する必要があります。[internavi システム設定] ー [情報取得設定] が「常時通信」に設定されている必要があります。（➜ P.140）（初期設定は [常時通信] に設定されています）。または手動で取得（現在地の地図画面で internavi ➡ internavi ウェザーをタッチ）してください。「internavi ウェザー」をタッチするには、「internavi ダイレクトカスタマイズ」（➜ P.139）で「internavi ウェザー」を設定しておく必要があります。
- 仕様およびデザインは、車両やグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

災害情報

- 取得した気象情報に災害の情報が含まれているときは、地図上に災害警戒エリアを表示します。
- 縮尺スケールが 20 km 以下の場合のみ災害警戒エリア情報が表示されます。

防災情報の配信について

取得した交通情報に防災情報（津波情報・豪雨地点予測情報など）が含まれている場合、画面に情報が表示されます。

防災情報配信は、パーソナル・ホームページから以下の手順で停止できます。

①パーソナル・ホームページからログインする（➔ P.18）

②「防災情報配信」をクリックする

③配信を停止したい情報の「配信を停止する」をクリックする

気象情報読み上げ

- 取得した気象情報を自動で読み上げるには、「インターナビの設定をする」（➔ P.138）の「情報センターからの音声割り込み」が [ON] に設定されている必要があります（初期設定は [ON] に設定されています）。
- 音声読み上げ中に他の音声 (ナビの音声案内など) が割り込んだ場合は、読み上げを停止し新規の割り込み音声を読み上げます。読み上げ停止した音声は手動で再開することができます。（➔ P.129）

簡易図形情報を表示

- 気象情報では以下の簡易図形が表示されます。
  - 豪雨発生予測区間の簡易図形
  - 地震発生情報の簡易図形
  - 路面凍結予測エリアの簡易図形
- 簡易図形情報を割り込み表示させるには、「インターナビの設定をする」（➔ P.138）の「図形情報割り込み」が [ON] に設定されている必要があります（初期設定は [ON] に設定されています）。

駐車場セレクトで駐車場を探す

あらかじめお好みの駐車場の条件を設定しておくと、条件にあった駐車場を探せます。なお、条件を設定しなくても、車両設定の情報にもとづき、駐車できる駐車場のみが絞り込んで表示されます。

1 駐車場の条件設定をする

駐車場の条件設定については「駐車場セレクト設定」（➔ P.133）をご覧ください。

2 [internavi] にタッチする

3 [駐車場セレクト] にタッチする

▼

「internavi 情報コンテンツを取得中です。」が表示され、駐車場情報を取得します。

[中止]：
情報の取得を中止します。

▼

条件にあった駐車場情報がピンドロップで地図上に表示されます。

4 [◀] / [▶] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[◀] / [▶] にタッチするたびに駐車場情報が切り替わります。

駐車場が 1 件のときは、[◀] / [▶] は表示されません。手順5 に進んでください。

[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。リストから選ぶと地点選択地図が表示され、行き先に設定することができます。

5 [この地点を選択] にタッチする

6 [目的地にする] にタッチする

ルートの探索が始まります。

アドバイス

- 駐車場セレクト情報を取得する地点は、画面表示状態や設定の有無で異なります。駐車場セレクトの操作をする前に、目的地設定や地図表示を目的に応じて変えてください。
  - **目的地を設定しており、現在地の地図が表示されている場合**：
    目的地周辺の駐車場セレクト情報が表示されます。
  - **目的地を設定しておらず、現在地の地図が表示されている場合**：
    現在地周辺の駐車場セレクト情報が表示されます。
  - **地図がスクロールされている場合**：
    表示されている地図周辺の駐車場セレクト情報が表示されます。
- ［詳細］をタッチすると、選んだ駐車場の詳細情報が表示されます。
- ［登録］をタッチすると、選んだ駐車場を地点登録することができます。
- 走行中は操作の一部が制限されます。
- 一部の駐車場で表示が実際の情報と異なるものもあります。

読み上げ再開

インターナビから受信した音声情報の読み上げを再開します。

1 [internavi] にタッチする

2 [読み上げ再開] にタッチする

最後に受信した読み上げ情報を再度先頭から読み上げます。

アドバイス

- 音声読み上げ中に他の音声が割り込んだ場合は、読み上げを停止し新規の割り込み音声を読み上げます。

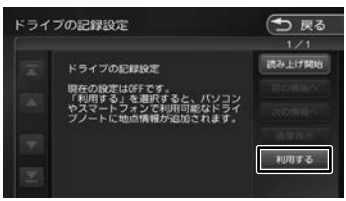
ドライブの記録

本機でドライブの記録を利用する設定にしておくと、ドライブごとの「走行距離」、「平均燃費」、「ガソリン消費量」、「出発地（前回車両のエンジンを停止した地点）」、「目的地（今回車両のエンジンを停止した地点）」をドライブノートとして記録し、パソコン・スマートフォンアプリで確認できます。

1 [internavi] にタッチする

2 [ドライブの記録] にタッチする

3 [利用する] にタッチする



メッセージセンターを利用する

Honda が発信する愛車の点検・車検やメンテナンスに関する情報などが表示されます。これらの情報はパソコン、スマートフォン、車のインターナビで閲覧することができます。

1 [internavi] にタッチする

2 [メッセージセンター] にタッチする

メッセージセンター画面が表示されます。

3 項目を選んでタッチする

アドバイス

- 未読メッセージがある場合は、項目の左側に下記アイコンが表示されます。
  - 優先度の高い未読メッセージ：
  - 未読メッセージ：
- 新着メール受信時に［今すぐ確認］/［後で確認］の取得メッセージが表示された場合、［今すぐ確認］にタッチすると詳細を確認することができます。［後で確認］にタッチすると、地図画面の［internavi］ボタンが下記アイコンで表示されます。
  - 優先度の高い未読メッセージ：
  - 未読メッセージ：

インターナビの情報サービスを利用する

インターナビに接続すると利用できるメニューが表示されます。この画面からは、インターナビが提供する情報（コンテンツ）を見たり、自車の情報を管理することができます。

1 [internavi] にタッチする

2 [メニュー] にタッチする

internavi メニュー画面が表示されます。

3 項目を選んでタッチする

internavi 図形情報

インターナビサーバから取得した簡易図形（災害情報など）を再表示します。

1 internavi メニュー画面を表示する
（➔ P.130）

2 [internavi 図形情報] にタッチする

最後に受信した簡易図形 (1 受信分、最大 4 枚) を表示します。

簡易図形(例)

カーカルテ

部品（パーツ）の交換時期や車検、保険の期限などを管理することができます。

1 internavi メニュー画面を表示する（➔ P.130）

2 [カーカルテ] にタッチする

カーカルテ画面が表示されます。

3 項目を選んでタッチする

メンテナンス記録を見る場合

1 [メンテナンス記録] にタッチする

2 リストより項目を選び、タッチする

3 [交換] にタッチする

メンテナンス記録が表示されます。

アドバイス

- パーツには、Honda 指定のパーツ（定期交換部品）とユーザーが追加登録（20件）できるパーツがあります。パーツ（定期交換部品）の追加登録はパーソナルホームページ（➔ P.18）で行うことができます。
- 車両のメーターと本機の距離数に差が生じる場合があります。

マイカースケジュールの表示

パーソナル・ホームページ（➔ P.18）でマイカースケジュールを設定しておくと、車検や免許更新時期が近づいたときなどに画面のメッセージやメールで教えてくれます。

1 [マイカースケジュール] にタッチする

マイカースケジュール画面が表示されます。

駐車場セレクト設定

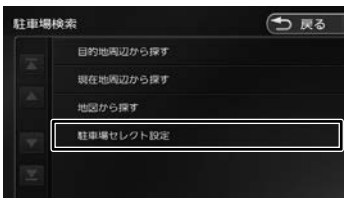
駐車場セレクトで駐車場を探すときの駐車場情報を絞り込む順位や条件を設定します。

1 internavi メニュー画面を表示する
(➔ P.130)

2 [駐車場セレクト] にタッチする

駐車場検索画面が表示されます。

3 [駐車場セレクト設定] にタッチする



4 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● **並び替え条件設定**

項目	設定	説明
並び替え条件 1	なし*/ 料金 / 距離（駐車場までの距離）/ 規模 / 満空情報	1 番目に優先する条件を設定します。
並び替え条件 2	なし*/ 料金 / 距離（駐車場までの距離）/ 規模 / 満空情報	2 番目に優先する条件を設定します。
並び替え条件 3	なし*/ 料金 / 距離（駐車場までの距離）/ 規模 / 満空情報	3 番目に優先する条件を設定します。

● **詳細条件設定**

項目	設定	説明
駐車場料金（1 時間あたり）	気にしない*/ 200 円 / h 以下 / 300 円 / h 以下 / 400 円 / h 以下 / 500 円 / h 以下 / 600 円 / h 以下 / 800 円 / h 以下 / 1000 円 / h 以下	駐車場料金の条件を設定します。
駐車場までの距離	気にしない*/100 m 以内 /200 m 以 内 /400 m 以内 /800 m 以内	駐車場までの距離の条件を設定します。
駐車場規模	気にしない*/30 台以上 /100 台以上 /500 台以上	駐車台数の条件を設定します。
屋根	気にしない*/ あり / なし	屋根の条件を設定します。
機械式	気にしない*/ 不可	機械式の駐車場を使用するかどうかを設定します。
営業時間	気にしない*/24 時間営業	営業時間の条件を設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

アドバイス

- 駐車場検索画面で［目的地周辺から探す］［現在地周辺から探す］［地図から探す］にタッチし、条件を選択すると駐車場セレクト情報を取得することができます。
- 設定項目や初期設定は予告なく変更される場合があります。

位置付き安否連絡

地震発生時にルート上に震度５弱以上のエリアがあった場合、ドライバーが自分の安否をナビゲーションから事前に登録した家族のアドレスに発信することができます。

1 internavi メニュー画面を表示する
(➔ P.130)

2 [位置付き安否連絡] にタッチする

3 [大丈夫]/[要支援] にタッチする

選んだメッセージと位置情報を登録しているアドレスにメールで送信します。

アドバイス
- 位置付き安否連絡サービスをご利用になるには、パーソナル・ホームページでの登録が必要になります。
- 位置付き安否連絡についての詳しい内容は、インターナビのホームページをご覧ください。https://www.honda.co.jp/internavi/

通行実績情報マップ

震度６弱以上の地震や、集中豪雨などの災害発生時、対象地域の付近をインターナビ装着車が実際に通行した道路の情報から得た「今、車で通ることができる道路」の情報を取得するための設定を行います。

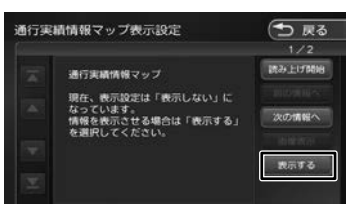
1 internavi メニュー画面を表示する
(➔ P.130)

2 [通行実績情報マップ] にタッチする

通行実績情報マップ画面が表示されます。

3 [通行実績情報マップ表示設定] にタッチする

4 [表示する] にタッチする



地図画面に表示した地域に通行実績情報があれば、地図上に通行可能の道路は緑色の破線、通行止めは赤色の破線で表示されます。

アドバイス
- 通行実績情報マップ画面で［通行実績情報マップとは？］にタッチすると、通行実績情報マップの説明が表示されます。

安全運転コーチング

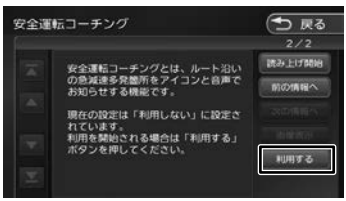
インターナビの膨大なフローティングカーデータの分析から検出された「急減速が多発している信号機のない交差点」を運転時、それらの交差点が近づくと、車載のインターナビおよびスマートフォンアプリ「インターナビ ポケット」で事前に通知し、ドライバーの注意を喚起します。

※目的地を設定すると、地図上にある「急減速多発地点」が「！」マークで表示されます。

1 internavi メニュー画面を表示する
(➔ P.130)

2 [安全運転コーチング] にタッチする

3 [利用する] にタッチする



My コース

パーソナル・ホームページやスマートフォンアプリで登録した My コースをナビに配信し、コースの設定をすることができます。

1 internavi メニュー画面を表示する
(➔ P.130)

2 [My コース] にタッチする

3 設定したいコースにタッチする

4 [決定] にタッチする

ルート案内が始まります。

アドバイス

- リストの項目にタッチすると、各地点の詳細情報が表示されます。
- My コースのルートは本機でルート探索しなおすため、パーソナル・ホームページで探索したルートと本機で案内するルートが異なる場合があります。

登録地点をパーソナル HP と同期

本機と会員専用のパーソナル・ホームページを同期することにより、登録地点情報 (My スポット情報）を最新の内容に更新することができます。

1 internavi メニュー画面を表示する
(➜ P.130)

2 [パーソナル HP と同期] にタッチする

メッセージが表示されます。
「はい」にタッチすると登録地点情報がインターナビのパーソナル・ホームページと同期されます。

※パーソナル・ホームページを利用するには 18 ページをご覧ください。

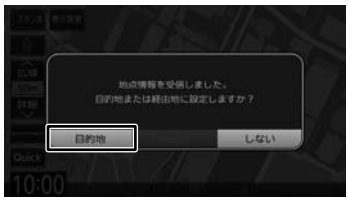
■ My スポット情報について

My スポットとは、パーソナル・ホームページやスマートフォンアプリで登録した地点情報です。上記のように情報を同期したときや【MENU】➜［登録地点］➜［パーソナル HP と同期］をタッチしたときに、ナビの登録地点情報として利用することができます。

アドバイス
- 「パーソナル・ホームページ」とは、インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care が提供するパソコン、携帯向けサービスです。
- 情報を同期すると、会員専用のパーソナル・ホームページにお客様がパソコンなどで登録した情報と、ナビゲーションシステム本体で登録した情報を、お互いに日付の新しい情報に更新することができます。
- 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。
- 登録地点（未分類 / カメラ登録地点 / 自宅 / 特別メモリ地点 1 ～ 5/ グループ 1 ～ 50）を登録できる件数は 300 件です。
- 自宅、カメラ登録地点、特別メモリ地点 1 ～ 5 は同期対象にはなりません。
- スポット名称 (よみ)、メールアドレス、施設ホームページの URL、カテゴリはパーソナル・ホームページの My スポット情報として設定することができますが、同期対象にはなりません。

目的地クリップ

パーソナル・ホームページやスマートフォンアプリであらかじめ目的地を登録しておくことで、次回ナビ起動時に自動的に目的地をサーバーから取得、設定できる機能です。



ルート情報(例)

ナビがサーバから情報を取得するとメッセージが表示されます。上記の場合、［目的地］にタッチするとルートの探索がはじまります。

販売店連絡先を表示する

Honda 販売店の担当者や保険会社の電話番号などを表示します。

1 [internavi] にタッチする

2 [販売店連絡先] にタッチする

販売店連絡先画面が表示されます。

3 項目を選んでタッチする

My ディーラー

My ディーラー情報画面が表示されます。
本機に携帯電話が接続されていて、電話番号、担当者電話番号が登録されている場合は、 をタッチすると、登録されているディーラーへ電話をかけることができます。

任意保険

任意保険画面が表示されます。
本機に携帯電話が接続されていて、電話番号、担当者電話番号が登録されている場合は、 をタッチすると登録されている任意保険へ電話をかけることができます。

インターナビの設定をする

インターナビの情報やインターナビのシステムについて設定を行います。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [internavi] にタッチする

internavi 設定画面が表示されます。

3 設定したい項目にタッチする

● internavi 設定一覧

項目	設定	説明
フローティングカー情報提供	ON*/OFF	走行データ(フローティングカー情報)をインターナビ情報センターに情報提供するかどうかを設定します。また、“フローティングカー情報”を［ON］に設定した場合は、他のユーザーが収集した交通情報（インターナビフローティングカー情報）を取得できますが、［OFF］に設定した場合は、他のユーザーが収集した交通情報を取得することができません。
ルート案内時連動取得	全ての情報*/交通情報のみ/取得しない	ルート案内開始時に取得する情報を設定します。
図形情報割り込み	ON*/OFF	簡易図形が表示される情報のときに簡易図形を割り込み表示させるかどうかを設定します。
情報センターからの音声割り込み	ON*/OFF	インターナビ情報センターから配信される情報を自動で読み上げるかどうかを設定します。
internaviウェザー設定	−	インターナビウェザー情報の表示を設定します。(➔ P.139)
internavi ダイレクトカスタマイズ	−	インターナビダイレクトの項目を設定します。(➔ P.139)
internavi 設定初期化	−	internavi 設定を初期化します。(➔ P.140)
internavi システム設定	−	インターナビに接続するためのシステムを設定します。(➔ P.140)

*：お買い上げ時の設定です。

internavi ウェザー設定

インターナビウェザー情報の取得について気象警戒エリア表示、気象予報アイコンの表示などの設定を行います。

1 internavi 設定画面を表示する
(➔ P.138)

2 [internavi ウェザー設定] にタッチする

3 設定したい項目にタッチする

● internavi ウェザー設定項目一覧

項目	設定	説明
気象警戒エリアの表示	ON*/OFF	インターナビウェザー情報で提供する気象警戒エリアを地図画面に表示するかどうかを設定します。
気象予報アイコンの表示	ON*/OFF	インターナビウェザー情報で提供する気象予報アイコンを地図画面に表示するかどうかを設定します。
気象情報割り込み表示	ON*/OFF	天気情報を取得したとき、割り込ませてもいいかどうかを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

アドバイス
- 防災情報割り込み表示 (地震、津波、豪雨地点予測、路面凍結予測) の設定は、パーソナル・ホームページの防災情報配信から設定してください。

internavi ダイレクトカスタマイズ

internavi 画面に表示される internavi ダイレクトの項目を変更することができます。

1 internavi 設定画面を表示する
(➔ P.138)

2 [internavi ダイレクトカスタマイズ] にタッチする

3 変更したい項目を選び、[決定] にタッチする

アドバイス
- 同じダイレクトメニューを重複登録することはできません。

internavi システム設定

インターナビに接続するための設定をすることができます。

1 internavi 設定画面を表示する
(➔ P.138)

2 [internavi システム設定] にタッチする

3 設定したい項目にタッチする

● internavi システム設定項目一覧

項目	設定	説明
情報取得設定	常時通信 */ 取得しない	インターナビサーバから情報を取得する際、周期的に接続するかどうかを設定します。
通信機器選択	−	使用する通信機器を選択します。初期設定は「リンクアップフリー (ソフトバンク 3G)」のみとなります。リンクアップフリーについては 119 ページをご覧ください。
フレーム No. 設定	−	会員 ID（フレーム No.）を設定します。 (➔ P.120)
総走行距離設定	−	総走行距離を設定します。
暗証番号入力	−	パスワード（暗証番号）を入力します。［暗証番号入力］は初回登録時のみしか選べません。（会員 ID の変更または設定が初期化された場合は除く） (➔ P.120)

*：お買い上げ時の設定です。

インターナビの設定を初期化する

internavi 設定をお買い上げ時の状態に戻します。「internavi 設定」ー「internavi システム設定」の「フレーム No. 設定」と「総走行距離設定」（左記）は消去されません。
これらの設定も消去したい場合は、本機のシステム設定の初期化（➔ P.102）を行ってください。

1 internavi 設定画面を表示する
(➔ P.138)

2 [internavi設定初期化] にタッチして、[はい] にタッチする

初期化が終了すると自動で再起動します。

インターナビルートを利用する

インターナビルートを使えば、さまざまなルートの中から選んで探索できます。
インターナビの提供サービス変更に伴い、ルートの種類は変更される場合があります。

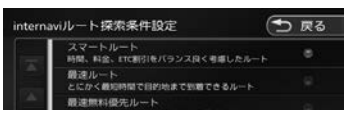
1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする

3 「探索」の[internaviルート探索条件] にタッチする

「internavi ルート探索条件」の上にある「優先する探索条件」が「internavi ルート」に設定されている必要があります。設定されていない場合は 53 ページの「ルートの探索条件を変更する」を参照して「internavi ルート」に設定してください。

4 設定したい条件にタッチする



■ スマートルート（時間と料金のバランスがよい）

スマートルートでは、「最速」をベースに「時間」「料金」「ETC 割引」などをバランスよく考慮した「最も賢いルート」をご案内します。お財布にやさしく、渋滞にもつかまりにくいので、目的地までストレスなく移動することができます。お買い上げ時はスマートルートに設定されています。

■ 最速ルート（最も早く目的地に到着できる）

ルート対象となるすべての道路のインターナビ交通情報を用いて、高性能なインターナビサーバでルート計算します。無料の一般道と高速道路を優先的に利用して、最速で目的地に到着できるルートを案内します。

アドバイス
- 「最速ルート」では交通状況により、高速道路の乗り降りを繰り返す場合があります。

■ 最速無料優先ルート（無料道路で最も早く目的地に到着できる）

一般道路と無料の高速道路を利用して、最も短時間で目的地に到着できるルートを案内します。

■ らくらく運転ルート（道幅が広く、右左折が少ない運転初心者でも走りやすいルート）

目的地まで早く着くルートであっても、道幅が狭い・右左折回数が多い・高速道路のジャンクション通過や車線変更を必要とするようなルートは、運転初心者の方や運転が苦手な方にとっては、ストレスを感じる場合があります。「らくらく運転ルート」は、そのような道をなるべく避け、運転初心者の方や運転が苦手な方がストレスをあまり感じることなくドライブできるルートを案内します。

■ 省燃費ルート（燃費消費が最も少なく、CO2 排出量も削減する）

会員の走行情報から、燃費消費量を計算し*、距離や時間ではなく、燃費消費量の最も少ないルートをご案内します。CO2 排出量を抑えた、環境にやさしいルートです。

アドバイス
- 過去走行データの平均で算出しています。過去走行データがない場合は、推定車速で算出しています。

■ ETC 割引ルート（ETC 割引を最大限に活用できる）

通勤割引や早朝割引など、複雑な ETC 割引をあなたに代わってサーバが計算します。高速料金を節約できるお得なルートを案内します。

アドバイス
- 2 度乗りで安くなる場合、IC の降り口の音声案内のみとなります。
- 2 度乗りする際は、実際の交通規制に従ってください。

緊急サポートを利用する

緊急サポートは Honda が提供するサービスです。コールセンターへの連絡には通話料がかかります。Honda 販売店で緊急サポートの申し込みと、本機のセットアップを完了しておく必要があります。

緊急サポート画面を表示する

緊急サポート画面を表示して、緊急サポートセンターに電話をかけます。

■ 地図画面から表示する

1 [internavi] にタッチする

2 [緊急サポート] にタッチする

■ 電話メニュー画面から表示する

1 【 MENU 】を押して [電話] にタッチする

2 [緊急サポート] にタッチする

緊急サポートの連絡先やマップコードが表示されます。あらかじめ緊急サポートの電話番号を控えておくことをおすすめします。

緊急サポート画面の見かたと操作

①現在地の地図
地図の向き、縮尺を変えることができます。

②現在地の地点情報

③現在地のマップコード

④受話音量（0 ～ 40）/ 送話音量（1 ～ 21）/ 発着信音量（0 ～ 40）調整（Bluetooth 接続時のみ）
[-] または [+] にタッチして調整します。

⑤電話をかける / 切る（Bluetooth 接続時のみ）
走行中はタッチできません。

電話をかける

■ Bluetooth に接続しているときは

1 にタッチする

オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

現在地のマップコード

2 [はい] にタッチする

■ Bluetooth に接続していないときは

緊急サポート画面に表示される電話番号にお手持ちの携帯電話で電話をかけてください。

アドバイス

- 緊急サポートのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- 緊急サポート画面から地図画面を表示させた場合、情報バーの住所は表示している地点の住所が表示されます。
- 緊急サポートセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
  - 地図向きを変える
  - 地図の拡大 / 縮小
  - 地図スクロール
  - AV の音量調整
  - AV のオン / オフ
- 走行中は緊急サポートのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。
- 緊急サポート画面表示中に走行を開始し、交差点拡大図の表示条件となった場合は、画面右側に交差点拡大図が表示されます。表示条件から抜けた場合は、自動で元の画面に戻ります。

地図データ更新サービス

地図データ更新サービスについて

地図更新は有償更新となります。
詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い
インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care の会員登録をされていない、あるいはホンダアクセスが指定する本製品の取り付け可能車種以外に取り付けられた場合は、地図データ更新をご提供いたしませんのでご注意ください。

2019 年～ 2023 年の毎年秋ごろにホンダアクセスより販売予定です。

地図更新について

- 地図の更新時間は約 30 分です。
- 地図データの提供時期は、予告なく変更となる場合があります。

ETC/ETC2.0 車載器を使う

アドバイス
- ETC 車載器または ETC2.0 車載器について詳しくは、別売の ETC 車載器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に別売の ETC 車載器（ナビ連動タイプ）または ETC2.0 車載器を接続すると、ETC 機能についての音声案内 (料金案内、有効期限など) は、本機から音声案内をします。

ETC 情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。
本機は、別売の ETC 車載器（ナビ連動タイプ）を接続することができます。

ETC2.0 情報について

別売の ETC2.0 車載器を本機に接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報提供を受けることができます。

アドバイス
- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。また決済サービスにも対応しておりません。

ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムでお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省　国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用及び取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC/ 一般」と表示されたレーンをご使用ください。

- 運転中に ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時にピッと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。
走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。
アップリンクしないように設定することができます。アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。
  案内情報を受信すると、割り込み表示されます。
  音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。
  対応している情報の種類は、次のとおりです。
  優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報

  一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。
- 渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。

ETC カードの状態表示について

別売の ETC 車載器（ナビ連動タイプ）または ETC2.0 車載器に挿入されている ETC カードの状態をお知らせします。

状態表示アイコン

白色：ETC カードが挿入されている
灰色：ETC カードが挿入されていない
赤色：
カードの有効期限切れ、ETC カードエラーや ETC 車載器のエラーなど使用できない状態

ETC/ETC2.0 の設定をする

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [ナビ] にタッチする

3 「ETC」の各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
ETC 音声の出力	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC 料金の表示	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
ETC カード入れ忘れ警告	ON*/OFF	エンジンスイッチをオンにしたときに ETC カードの入れ忘れ警告を出力するかしないかを設定します。
表示割り込み時間	しない / 5 秒 */10 秒 /15 秒 /30 秒	ETC の警告表示をしない、または表示時間を設定します。
ETC2.0 受信音	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で情報を受信したときに音でお知らせするかしないかを設定します。
ETC2.0 図形情報割り込み	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で受信した図形情報の割り込み表示をするかしないかを設定します。
ETC2.0 文字情報割り込み	ON/OFF*	ETC2.0 車載器で受信した文字情報の割り込み表示をするかしないかを設定します。
ETC2.0 音声自動再生	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で受信した音声を自動再生するかしないかを設定します。
ETC2.0 アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能を使用するかしないかを設定します。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチする

3 [ETC] にタッチする

[車載器情報]：
車載器の情報を表示します。

アドバイス

- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カード挿入時のみ表示されます。

ドライブレコーダーの操作・設定をする

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-189N）の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作、動画ファイル数など詳細については、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- 147 ページから 150 ページの操作中はドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオ機能もオフになります。その後で、［現在地］などを押してドライブレコーダー画面を終了すると録画を再開し、オーディオがオンになります。

録画について

● 動画の種類

常時録画	車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはオンに入れている間、ドライブレコーダーは常に録画を行います。*1（常時録画の動画は古い順に自動削除 *2 します。）
手動録画	ナビゲーションを操作して録画を行います。（手動録画した動画は、古い順に自動削除します。詳細についてはドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）
駐車時録画	エンジンスイッチオフ後、約 30 分間、録画を継続します。*2*3*4
駐車時録画プラス	エンジンスイッチオフ後に衝撃を検知した際に 1 分間、録画を自動で開始します。（駐車時録画プラスの動画は古い順に自動削除します。）*3*5

*1: ドライブレコーダーの再生中や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。（録画中 / 録画停止中は情報バーに表示されるインジケータでご確認ください。）

*2：録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入している microSDHC メモリーカードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に自動削除します。（急加速 / 急減速を検知した記録がある場合は自動削除されません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速 / 急減速を新たに検知した場合は、古い順に自動削除する場合があります。）

*3：車両のバッテリ状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。

*4：設定モードなど常時録画を停止している状態でエンジンスイッチをオフにした場合、駐車時録画をオンに設定していても駐車時録画が開始されません。設定モードなどを終了後、エンジンスイッチをオフにしてください。

*5：衝撃を検知すると、約 1 分間（検知後の約 4 秒後から約 60 秒後の間）の録画を行います。

● ドライブレコーダーで静止画撮影することができます。

● 録画された動画 / 静止画はドライブレコーダーに挿入された microSDHC メモリーカードに保存します。なお、動画は高画質モードで約 39 秒、標準モードで約 52 秒ずつを 1 ファイルに保存します。

録画の状態表示について

情報バーにインジケータが表示されます。

：常時録画中（緑）

：手動録画中（赤）

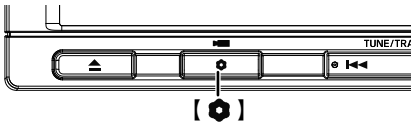
：録画停止中

常時録画中の場合（例）

インジケータ

手動録画する

1 オプションボタンを押し続ける



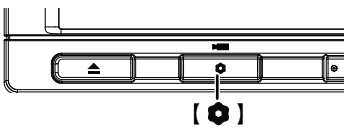
手動録画が開始されます。初期設定では、1分後に自動停止されます。

アドバイス
- 手動録画を途中で停止するには、再度、オプションボタンを押し続けてください。

ドライブレコーダーで静止画撮影する

あらかじめ、オプションボタンに「静止画撮影」（ドライブレコーダー静止画撮影）を設定しておく必要があります。（➔ P.103）

1 オプションボタンを押す



アドバイス
- 連続してオプションボタンを押すと静止画撮影ができないことがあります。

録画した動画・静止画を再生する

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチして、[ドライブレコーダー] にタッチする

3 [再生] にタッチする

4 再生する動画または静止画を選んでタッチする

リストは日付が新しい順に表示されます。

：手動録画ファイル

：急加速 / 急減速情報のあるファイル

：合流地点情報のあるファイル

：駐車時録画プラスのファイル

[動画]
microSDHC メモリーカードに録画されているすべての動画を表示します。再生したいファイルにタッチします。

[静止画]
microSDHC メモリーカードに録画されているすべての静止画を表示します。表示したいファイルにタッチします。

[保存フォルダ]

[動画] から保存フォルダに移動（➔ P.150）したファイルを表示します。再生したいファイルにタッチします。

[全表示]

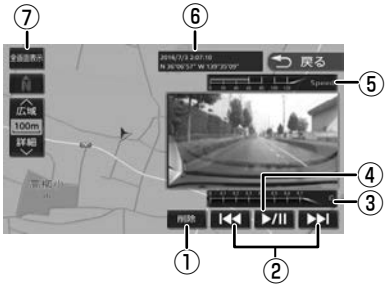
すべての録画ファイルを表示します。

[手動録画]

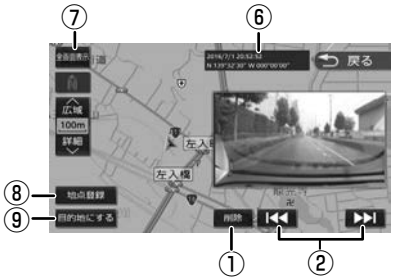
手動録画ファイルのみ表示します。

5 [再生] にタッチする

動画再生画面



静止画表示画面



① ファイルを削除します。
② 押すと前 / 次のファイルを再生します。
（動画終了後は、自動で次のファイルが再生されます。）
押し続けると巻き戻し / 早送りをします。
③ 録画時の加速 / 減速レベルを表示します。
表示更新は約 1 秒間に 1 回のため、実際の車の加速 / 減速レベルとはことなる場合があります。
④ 再生 / 一時停止します。
⑤ 録画時の走行速度
⑥ 録音 / 撮影時の日時 / 位置情報
⑦ タッチするとドライブレコーダーの映像を全画面表示します。
⑧ 静止画を撮影した地点を登録することができます。
⑨ 静止画を撮影した地点を目的地に設定することができます。

■ 動画再生画面 / 静止画再生画面について

- 表示される走行速度や加速 / 減速レベルは目安です。
- GPS などの情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報（加速 / 減速のレベルなど）や［地点登録］、［目的地］ボタンが非表示になることがあります。
- 次の映像に自動遷移する際、一度黒画面を表示します。
- ドライブレコーダー以外のファイルが microSDHC メモリーカードに入っていると正常に動作しない可能性があります。

録画した動画・静止画を削除する

全て削除する

1 全削除する再生リストを表示する

2 [全削除] にタッチして、[はい] にタッチする

アドバイス
- ファイル全削除中に他の画面に移動した場合は作業を中断します。

一つ選んで削除する

1 削除したい動画または静止画を再生する

2 再生画面で [削除] にタッチして、[はい] にタッチする

保存フォルダへ移動する

自動削除されたくない動画ファイルを、保存フォルダに移動することができます。

アドバイス
- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画は自動削除されなくなります。
- 保存フォルダには最大 20 ファイルまで移動できます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチして、[ドライブレコーダー] にタッチする

3 [再生] にタッチする

4 リストから移動したい動画を選んでタッチする

5 [保存] にタッチして、[はい] にタッチする

ドライブレコーダーの設定をする

ドライブレコーダーの設定は microSDHC メモリーカードがドライブレコーダーに入っているときに行ってください。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチして、[ドライブレコーダー] にタッチする

3 [設定] にタッチする

ドライブレコーダーの設定画面が表示されます。

設定できる項目は以下のとおりです。
*：お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
画質	高画質 */ 標準	録画の画質を設定します。
ブザー音	OFF/1 /2*/3	ドライブレコーダーのブザー音の音量を設定します。
手動録画の自動停止	1 分 */ 3 分 / しない	手動録画を開始後、自動停止する時間を設定できます。また、自動停止しないように設定することもできます。自動停止しないに設定した場合も手動録画の最大保存ファイル数になった時点で録画を終了します。
感度設定（常時録画 / 駐車時録画）	0.3（高）～ 0.5* ～ 0.7（低）	常時録画と駐車時録画の感度を設定します。数値を低く（感度を高く）設定するほど判定されやすくなります。
駐車時録画	ON*/OFF	エンジンスイッチがオフ中の駐車録画をするかしないかを設定します。
駐車時録画プラス	ON*/OFF	エンジンスイッチがオフ中の衝撃検知による録画をするかしないかを設定します。
感度設定（駐車時録画プラス）	0.2（高）～ 0.3* ～ 0.6（低）	駐車時録画プラス機能の感度を設定します。数値を低く（感度を高く）設定するほど判定されやすくなります。
SD カードのフォーマット	ドライブレコーダー本体の SD カードをフォーマットします。	
設定初期化	ドライブレコーダー設定を初期化します。	

ドライブレコーダーから SD カードを取り出す

お願い
- ドライブレコーダーから SD カードを取り出すときは、必ず以下の操作を行ってから取り出してください。この操作を行わないと SD カード内のデータが壊れる恐れがあります。

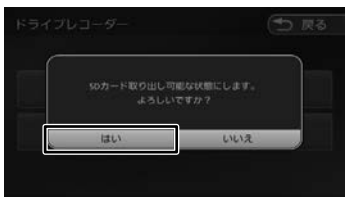
1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチして、[ドライブレコーダー] にタッチする

3 [SD カード取出] にタッチする

メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする



メッセージが表示されます。

5 「SD カードを取り出すことができます。」と表示されたら、ドライブレコーダーの SD カードをいったん押し込んで抜く

ドライブレコーダーの映像を表示する

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [情報] にタッチして、[ドライブレコーダー] にタッチする

3 [カメラモニター] にタッチする

ドライブレコーダーの映像が表示されます。

フロントカメラ / コーナーカメラを使う(VXM-194VFi のみ)

VXM-194VFi をご使用の場合は、別売のフロントカメラまたはコーナーカメラのどちらかを接続することができます。
カメラについて、詳しくは別売のフロントカメラ、コーナーカメラの説明書をご覧ください。

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

お願い

- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。**
- **カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。**
- **車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによってコーナーカメラガイドの示す位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。**
- **フロントカメラ / コーナーカメラの映像は、あくまで運転の補助手段としてご使用ください。安全のためカメラ使用時も直接目で安全確認しながら運転してください。**
- **フロントカメラ / コーナーカメラの映像調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。**

フロント / コーナーカメラを設定する

車速に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、カメラの接続アイコンを表示するように設定することができます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [システム] にタッチする

3 「車両」の各項目を設定する

[フロントカメラ自動表示] または [コーナーカメラ自動表示]：

車速が低速になったら、フロントまたは、コーナーカメラの映像に自動で切り替えるかどうかを設定します。

[フロントカメラ登録地点検知] または [コーナーカメラ登録地点検知]：

カメラ地点として登録した場所に低速で近づいたときに、自動でフロントカメラまたはコーナーカメラの映像に切り替えるかどうかを設定します。
カメラ地点の登録については 64 ページをご覧ください。

[フロントカメラインジケータ表示] または [コーナーカメラインジケータ表示]：

本機の画面にフロントカメラまたはコーナーカメラの接続インジケータを表示するかしないかを設定します。

■ フロント / コーナーカメラのインジケータについて

情報バーにフロント / コーナーカメラのインジケータが表示されます。

緑色：

低速走行になったら自動的にカメラ映像を表示します。

灰色：

低速走行になっても自動的にカメラ映像を表示しません。

インジケータ

フロント / コーナーカメラの映像を表示する

フロントカメラの映像

コーナーカメラの映像

■ [フロントカメラ自動表示] または [コーナーカメラ自動表示]、[フロントカメラ登録地点検知] または [コーナーカメラ登録地点検知] を ON に設定しているときは

車の走行速度が低速または、低速でカメラ登録地点に近づくと、フロントカメラまたはコーナーカメラの映像に自動で切り替わります。
速度が上がると自動でもとの画面に戻ります。

■ [フロントカメラ自動表示] または [コーナーカメラ自動表示]、[フロントカメラ登録地点検知] または [コーナーカメラ登録地点検知] を OFF に設定しているときは

フロントパネルの【 ✿ 】にオプションボタン登録機能が「フロントカメラ切替」または「コーナーカメラ切替」に設定（➜ P.103）されていると、停車中または低速のときに【 ✿ 】を押すとカメラ映像を表示することができます。
カメラ映像表示中にもう一度押すともとの画面に戻ります。

アドバイス

- 高速走行中は【 ✿ 】を押してもメッセージが表示され、カメラ映像に切り替わりません。低速走行になると 1 回だけカメラ映像を表示します（再度【 ✿ 】を押すとメッセージが表示され、低速になってもカメラ映像は表示しません）。

■ リアカメラとフロントカメラまたはコーナーカメラを接続しているときは

フロントパネルの【 ✿ 】にオプションボタン登録機能が「フロントカメラ切替」または「コーナーカメラ切替」に設定されていると、リアカメラ映像を表示中に【 ✿ 】を押すたびに、リアカメラとフロントカメラまたはコーナーカメラの映像を切り替えることができます。

アドバイス

- 車のセレクトレバーをリバース以外に入れている場合は、リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

ビューを切り替える（コーナーカメラ２ビュー接続時のみ）

コーナーカメラ（２ビュー）接続時はビュー（ノーマル / トップダウン）を切り替えることができます。

1 カメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする

ビューアイコン

トップダウン：
トップダウンビューに切り替えます。

ノーマル：
ノーマルビューに切り替えます。

アドバイス

- 現在表示中のビューアイコンは緑色表示となり、タッチできません。

コーナーカメラのガイドラインを消す / 表示する

アドバイス

- 必要なガイド線は Honda 販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda 販売店にご相談ください。
- フロントカメラではガイド表示はしません。

1 カメラ映像表示中に画面にタッチする

2 [ガイドライン表示] にタッチする

「ガイドライン表示」ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

▼

ガイドラインが消えます。
もう一度タッチするとガイドラインを表示します。

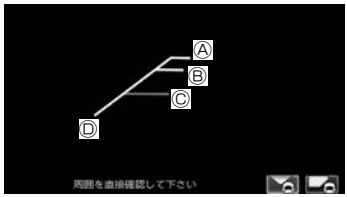
ガイドラインの見かた

コーナーカメラの映像にはガイドラインが表示されます。ガイドラインは車両前側の左コーナーと路肩の距離の目安を表示したものです。

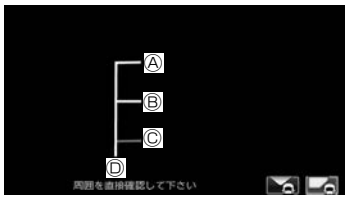
お願い

- **画面上に表示されるコーナーカメラガイドは目安です。コーナーカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。また、左折時には内輪差に注意してください。**
- **道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。**

■ ノーマルビュー



■ トップダウンビュー（コーナーカメラ2ビュー接続時のみ）



Ⓐ：フロントバンパーから約 1.5m

Ⓑ：フロントバンパーから約 1.0m

Ⓒ：フロントバンパーから約 0.5m

Ⓓ：車両左側面から約 25cm

画質を調整する

1 カメラ映像表示中に【 MENU 】を押し続ける

▼

画質調整するボタンが表示されます。操作については 70 ページをご覧ください。

リアカメラを使う

本機は、別売のリアカメラを接続することができます。
カメラについて、詳しくは別売のリアカメラの説明書をご覧ください。

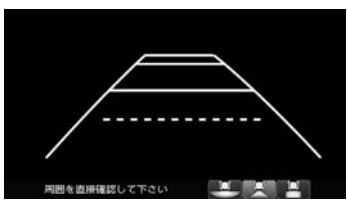
リアカメラの映像を表示する

本機に接続したリアカメラの映像を表示します。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

- **カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。**
- **リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。**
- **夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。**
- **リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。**
- **レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。**

1 セレクトレバーを“R”（リバース）にする

▼



リアカメラの映像が表示されます。

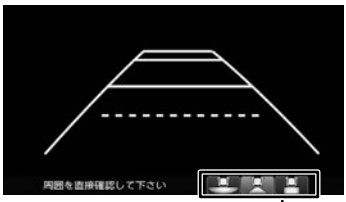
セレクトレバーを "R" 以外にすると、もとの画面に戻ります。

ビューを切り替える（リアワイドカメラ接続時）

リアワイドカメラ接続時はビュー（ノーマル / トップダウン / ワイド）を切り替えることができます。

お願い
- **ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが十分に周囲の安全を確認してから行ってください。**

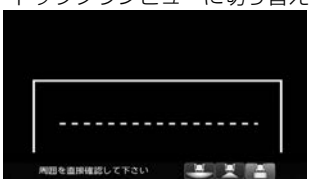
1 カメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする



ビューアイコン

ワイド：
ワイドビューに切り替えます。

トップダウン：
トップダウンビューに切り替えます。



ノーマル：
ノーマルビューに切り替えます。

アドバイス
- 現在表示中のビューアイコンは緑色表示となり、タッチできません。

ガイドラインを消す

1 カメラ映像表示中に画面にタッチする

操作ボタンが表示されます。

2 [ガイドライン表示] にタッチする

「ガイドライン表示」ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

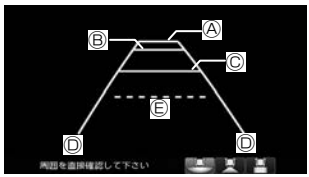
ガイドラインが消えます。
もう一度タッチするとガイドラインを表示します。

お願い
- **リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。**
- **夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。**
- **後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。**
- **リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。**
- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整をするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。**

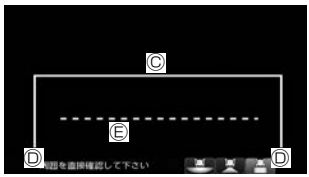
ガイドラインの見かた

リアカメラの映像にはガイドラインが表示されます。

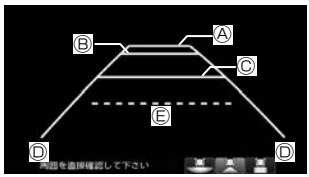
■ **ワイドビュー**
（リアワイドカメラ接続時のみ）



■ **トップダウンビュー**
（リアワイドカメラ接続時のみ）



■ **ノーマルビュー**



Ⓐ：車両後側面から約 3.0m

Ⓑ：車両後側面から約 2.0m

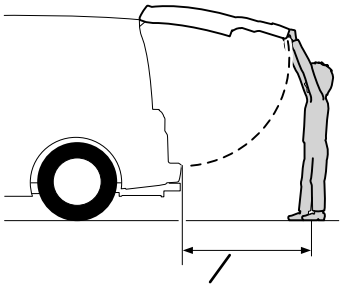
Ⓒ：車両後側面から約 0.5m または約 1.0m

Ⓓ：車両左右側面から約 25cm

Ⓔ：テールゲート開閉可能ライン

アドバイス

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、Honda 販売店にてご相談ください。



テールゲートなどの開閉に
必要な距離

- 説明に記載している数値は車種によって異なります。
- 以下の場合にはガイドラインと路面上の距離や障害物との距離に誤差が生じます。
  - 急な勾配の坂道など路面に対して車両が傾いているとき
  - 搭乗人数や積載量などにより車両が傾いているとき
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安です。画面に立体物が表示されたときは実際の距離感とは異なります。

次回表示ビューを設定する（リアワイドカメラ接続時）

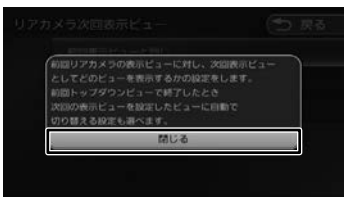
次回表示するビューを設定することができます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

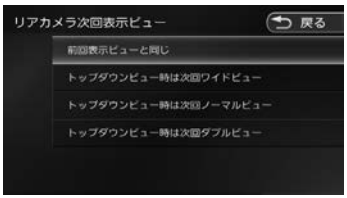
2 [システム] にタッチする

3 「車両」の [リアカメラ次回表示ビュー] にタッチする

4 表示された説明を読んで [閉じる] にタッチする



5 設定する項目にタッチする



[前回表示ビューと同じ]：
次回の表示を前回表示したビューで表示します。

[トップダウンビュー時は次回ワイドビュー]：
トップダウンビューで終了した後は次回ワイドビューで表示します。

[トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー]：
トップダウンビューで終了した後は次回ノーマルビューで表示します。

[トップダウンビュー時は次回ダブルビュー]
リアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）接続時のみ：
トップダウンビューで終了した後は次回ダブルビューで表示します。

画質を調整する

1 カメラ映像表示中に【 MENU 】を押し続ける

▼

画質を調整するボタンが表示されます。
操作については 70 ページをご覧ください。

パーキングセンサーを使う

本機はパーキングセンサーを接続することができます。
本機では、パーキングセンサーが障害物を検知したときに、障害物までの距離をイラストと色で表示します。
車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。
パーキングセンサー標準装備車については、車両の取扱説明書をご覧ください。別売のパーキングセンサーの場合は、パーキングセンサーに付属の説明書をご覧ください。

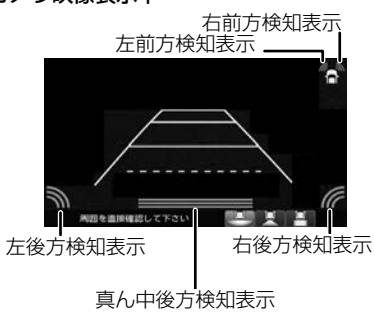
お願い

- **画面上に表示されるパーキングセンサー表示は、実際の距離間隔と異なる場合があります。あくまで補助手段としてご使用ください。**
- **パーキングセンサーは障害物が車両の周辺で検知された場合に表示されますが、運転の補助としてお知らせするものであり、ドライバーの注意義務を軽減するものではありません。**

■ パーキングセンサーのイラスト表示について

画面によって表示方法や表示されるイラストが異なります。

リアカメラ映像表示中



フロントカメラ映像表示中

カメラ映像以外の表示画面

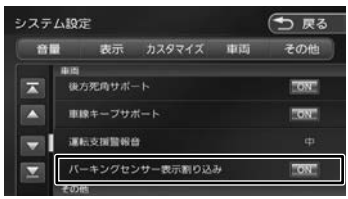
カメラ映像以外の画面ではイラストとメッセージが表示されます。
［消去］にタッチするとイラストとメッセージは消去することができます。

このイラストとメッセージ表示をパーキングセンサーが働いても表示しないようにすることができます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [システム] にタッチする

3 「車両」の［パーキングセンサー表示割り込み］にタッチする



■ 障害物を検知したときの作動状態

ブザー音の間隔	障害物との距離※1			インジケータ
	前方センサー	後方センサー		
	左前方もしくは右前方	左後方もしくは右後方	真ん中後方※2	
長い	ー	ー	100cm 付近	点滅（黄色）※3
短い	50cm 付近	50cm 付近	50cm 付近	点滅（橙色）
非常に短い	40cm 付近	40cm 付近	40cm 付近	
連続	30cm 付近もしくはそれ未満	30cm 付近もしくはそれ未満	30cm 付近もしくはそれ未満	点滅（赤色）

※1：距離は車両により異なる場合があります。詳細については、パーキングセンサーの取扱説明書をご確認ください。
※2：車両により装備のない場合があります。
※3：このときは、真ん中後方センサーのみが障害物を検知します。

ステアリングリモコンを使う

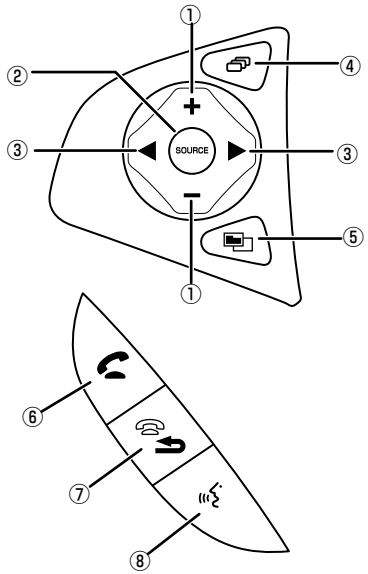
ステアリングリモコンについて

お使いの車のステアリングリモコンから本機を操作することができます。

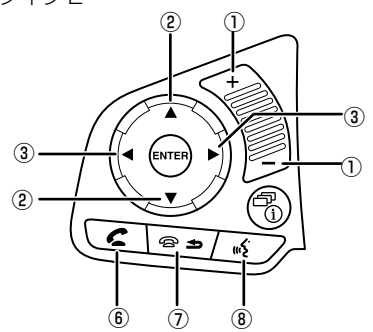
ステアリングリモコンのキー割り当てはお買い上げ時に設定されています。
本機ではキーの割り当てを別の機能に割り当て直すこともできます。

お買い上げ時の設定

タイプ 1



タイプ 2



ステアリングリモコンは装着している車によってデザイン、形状、キーの個数が異なる場合があります。

キー	機能
① **音量**	音量を調整します。
② **SOURCE/ ▼ / ▲**	押すたびに AV ソースを切り替えます。
③ **チャンネル**	• ラジオ： - プリセット局を番号順に受信します。 - 「サーチ中」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します (オート選局)。もう一度タッチすると、オート選局を中止します（オート選局)。 • TV（VXM-194VFi のみ)： 前または次のプリセット局を選局します。 • ファイル再生： 前 / 次のファイルを再生します。押し続けると、前 / 次のフォルダから再生します。 • CD/iPod/Bluetooth AUDIO 再生： 前 / 次の曲を再生します。押し続ける操作に機能はありません。 • DVD（VXM-194VFi のみ）再生： 前 / 次のチャプターを再生します。押し続ける操作に機能はありません。
④**ファンクション**	AV 画面と現在地画面を押すたびに切り替えます。
⑤ **ショートカット**	フロントパネルの【 ⚙ 】(OPTION) に設定されている機能を操作します。
⑥**オフフック**	ハンズフリーの電話を受けます。(Bluetooth 接続中)
⑦**オンフック / 取り消し**	ハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
⑧**発話**	お買い上げ時は何も設定されていません。

独自に機能を割り当てる

ステアリングリモコンのキーに機能割り当てを行います。

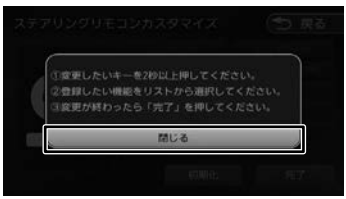
アドバイス
・ キーによって設定できる機能が限られる場合があります。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

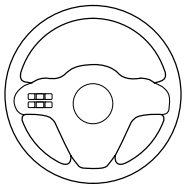
2 [システム] にタッチする

3 [カスタマイズ] の [ステアリングリモコンカスタマイズ] にタッチする

4 操作方法を確認して [閉じる] にタッチする



5 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを約 2 秒以上押す



画面に割り当てる機能リストが表示されます。

6 割り当てる機能にタッチする

画面に割り当てられたキーと機能名がハイライトします。

7 手順 5 と 6 を繰り返して他のキーにも割り当てる

8 [完了] にタッチする

設定できる機能は以下のとおりです。

キー	機能
POWER ON/OFF	AV 機能をオフにします。もう一度押すとオンになります。
VOL +	AV 音量を上げます。
VOL −	AV 音量を下げます。
CH UP	放送局や曲を切り替えます。
CH DOWN	放送局や曲を切り替えます。
SOURCE UP	AV ソースを切り替えます。
SOURCE DOWN	AV ソースを切り替えます。

キー	機能
ミュート	AV ソースの音声出力をオフにします。もう一度押すとオンになります。
現在地	現在地図画面を表示します。
広域	広域な地図を表示します。（地図画面表示中）
詳細	詳細な地図を表示します。（地図画面表示中）
現在地点登録	現在の地点を登録します。
案内中止	ルート案内を中止します。
自宅に戻る	自宅を目的地に設定します。
リダイヤル	最後にかけた電話番号に発信します。
	ハンズフリーの電話を受けます。（Bluetooth 接続中）
	ハンズフリーの電話を切ります。（Bluetooth 接続中）
昼夜切替	画面の輝度を昼（通常）/ 夜（減光）と切り替えます。地図の色、画質調整値、画面の明るさが押すたびに切り替わります。ナビ設定の地図色昼夜切替が「自動」に設定されているときは、画面の輝度に連動して切り替わります。
時計 ON/OFF	時計の全画面表示する / しないを切り替えます。
画面消し	画面を消します。ただし、リアカメラ映像が表示中は、画面消しの機能は利用できません。
N/A 画面切替	AV 画面と現在地画面を押すたびに切り替えます。
右画面地図	右画面地図の表示 / 非表示を切り替えます。
オプションボタンと同機能	フロントパネルの【 ⚙ 】（OPTION）に設定されている機能を操作します。
フロントカメラ切替	フロントカメラの映像に切り替えます。（VXM-194VFi でフロントカメラ接続時のみ）
コーナーカメラ切替	コーナーカメラの映像に切り替えます。（VXM-194VFi でコーナーカメラ接続時のみ）
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダー接続時のみ表示されます。ドライブレコーダーの静止画を撮影します。
ドライブレコーダー録画 ON/OFF	ドライブレコーダー接続時のみ表示されます。ドライブレコーダーの手動録画を開始 / 停止します。
割り当てなし	機能を割り当てません。

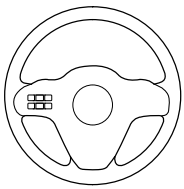
割り当てられたキーを確認する

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 ［システム］にタッチする

3 「カスタマイズ」の［ステアリングリモコンカスタマイズ］にタッチする

4 確認したいステアリングリモコンのキーを押す



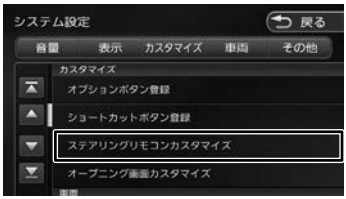
▼

画面に割り当てられたキーと機能名がハイライトします。

ステアリングリモコンキーの割り当てを初期化 / 変更する

独自に割り当てたステアリングリモコンキーの変更または初期化ができます。

1 「カスタマイズ」の［ステアリングリモコンカスタマイズ］にタッチする



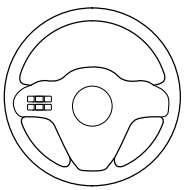
■ 初期化する

［初期化］にタッチします。
ステアリングリモコンに割り当てたキー設定をすべてお買い上げ時に戻します。

■ 変更する

手順 2 へ進んでください。

2 変更したいステアリングリモコンのキーを 2 秒以上押す



画面に割り当てる機能リストが表示されます。

3 割り当てる機能にタッチする

画面に割り当てられたキーと機能名がハイライトします。

4 ［完了］にタッチする

リアカメラ de あんしんプラスを使う (VXM-194VFi のみ)

お使いの車に別売の「リアカメラ de あんしんプラス」（後退出庫サポート / 後方死角サポート / 車線キープサポート）を装着していると、警報による注意喚起や運転支援の情報を本機で表示します。
別売のリアカメラ de あんしんプラスについては、リアカメラ de あんしんプラスの説明書をご覧ください。

お願い
- **車を後退させるときは、モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**
- **本システムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。**

リアカメラ de あんしんプラス機能をオン / オフする

リアカメラ de あんしんプラス機能をそれぞれオン / オフすることができます。

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [システム] にタッチする

3 「車両」の各機能にタッチする

[ON]：
機能をオンにします。
オンにすると各システムの画面でアイコンが表示されます。

[OFF]：
機能をオフにします。

アドバイス
- OFF に設定しているときは、それぞれの機能アイコンは画面に表示されません。
- 設定が ON のときに、機能アイコンにタッチすると一時的に ON/OFF することができます。
- アイコンはリアカメラ de あんしんプラスを接続しているときに表示されます。

警報音を設定する

1 「車両」の [運転支援警報音] にタッチする

[大]/[中]/[小]：
警報音の出力レベルを選択します。

[消]：
警報音を出力しません。

リアカメラ de あんしんプラス機能の種類と表示

リアカメラ de あんしんプラスは、後退出庫サポート、後方死角サポート、車線キープサポートの3種類です。

後退出庫サポート

後退して駐車場を出庫するときなど、リアカメラ映像に後方で接近する移動物を接近方向矢印および車両検知枠（ワイドビューのみ）で表示します。

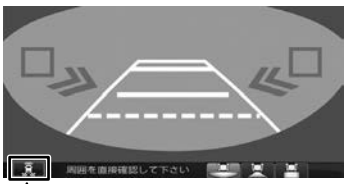
お願い

- **このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。**
- **後退時は、必ず目視やミラーなどで後方及び周囲の安全を直接確認して下さい。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って後退を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

■ アイコンで機能をオン / オフする

画面に表示される後退出庫サポートアイコンにタッチすると、一時的に機能をオン / オフすることができます。

1 リアカメラ映像表示中に後退出庫サポートアイコンにタッチする

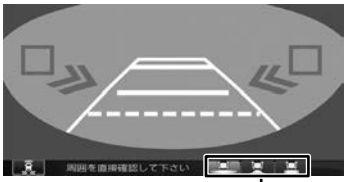


後退出庫サポートアイコン

アイコン	機能
	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

■ リアカメラ映像ビューを切り替える

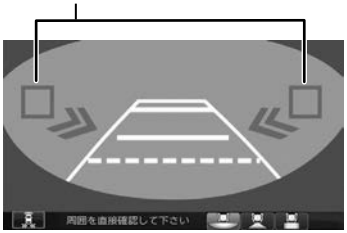
1 リアカメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする



ビューアイコン

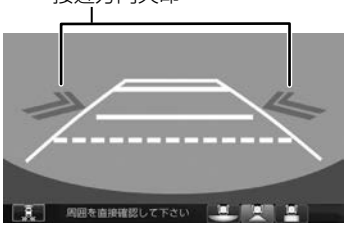
ワイド：
ワイドビューに切り替えます。

車両検知枠



ノーマル：
ノーマルビューに切り替えます。

接近方向矢印



トップダウン：
トップダウンビューに切り替えます。

アドバイス

- ガイドラインはリアカメラの設定で表示する / しないを設定できます。（➔ P.157）

後方死角サポート

車線変更をするときに、後方に車が接近していたときなどにアイコンで状態を表示します。

お願い

- **このシステムは隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを知らせ、運転者の車線変更の操作の際にサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。**
- **車線変更の際は、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認して下さい。状況によっては、検知できない可能性がある為、直接確認をせずに車線変更を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで後方死角サポート機能をオン / オフする

画面に表示される後方死角サポートアイコンにタッチすると、一時的に機能をオン / オフすることができます。

1 後方死角サポートアイコンにタッチする

後方死角サポートアイコン

アイコン	機能
(緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
(緑色)	機能が働く速度に達していません。
(灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
(赤色)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
(橙色)	左側に車が接近しています。
(橙色)	右側に車が接近しています。
(橙色)	左右両側に車が接近しています。
	車両の左側に車が接近しているときに、左ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
	車両の右側に車が接近しているときに、右ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
(赤色)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

車線キープサポート

車線から車がはみ出してしまったときに、アイコンで状態を表示します。

お願い

- **このシステムは走行車線から逸脱しそうなときに警報で注意を促すものであり、わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨や霧などの視界不良を補助するためのシステムではありません。**
- **常に周囲の状況を確認し、安全運転を心掛けて走行してください。**

走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで車線キープサポート機能をオン / オフする

画面に表示される車線キープサポートアイコンにタッチすると、一時的に機能をオン / オフすることができます。

1 車線キープサポートアイコンにタッチする

車線キープサポートアイコン

アイコン	機能
(緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
(緑色)	機能が働く速度に達していません。
(灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
(赤色)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

アイコン	機能
	車が左側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。
	車が右側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。
(赤色)	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

リアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）を使う（VXM-194VFi のみ）

お使いの車に別売の「リアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）」（後退出庫サポート / 後方死角サポート / 車線キープサポート / 後退駐車サポート）を装着していると、警報による注意喚起や運転支援の情報を本機で表示します。
別売のリアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）については、リアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）の説明書をご覧ください。

お願い

- **車を後退させるときに、モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**
- **本システムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。**

リアカメラ de あんしんプラス（ダブルビュー機能付き）機能をオン / オフする

1 【 MENU 】を押して [設定 / 情報] にタッチする

2 [システム] にタッチする

3 「車両」の各機能にタッチする

[ON]：機能をオンにします。
オンにすると各システムの画面でアイコンが表示されます。

[OFF]：機能をオフにします。

アドバイス

- OFF に設定しているときは、それぞれの機能アイコンは画面に表示されません。
- 設定が ON のときに、機能アイコンにタッチすると一時的に ON/OFF することができます。
- アイコンはリアカメラ de あんしんプラスを接続しているときに表示されます。

警報音を設定する

1 「車両」の [運転支援警報音] にタッチする

[大]/[中]/[小]：
警報音の出力レベルを選択します。

[消]：
警報音を出力しません。

リアカメラ de あんしんプラス機能の種類と表示

リアカメラ de あんしんプラスは、後退出庫サポート、後方死角サポート、車線キープサポート、後退駐車サポートの４種類です。

後退出庫サポート

後退して駐車場を出庫するときなど、リアカメラ映像に後方で接近する移動物を接近方向矢印および車両検知枠（ワイドビューのみ）で表示します。

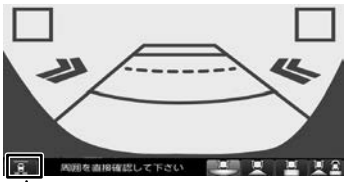
お願い

- **このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。**
- **後退時は、必ず目視やミラーなどで後方及び周囲の安全を直接確認して下さい。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って後退を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

■ アイコンで機能をオン / オフする

画面に表示される後退出庫サポートアイコンにタッチすると、一時的に機能をオン / オフすることができます。

1 リアカメラ映像表示中に後退出庫サポートアイコンにタッチする

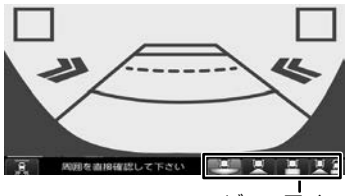


後退出庫サポートアイコン

アイコン	機能
	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

■ **リアカメラ映像ビューを切り替える**

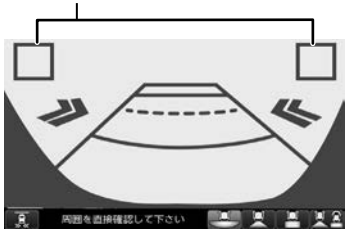
1 **リアカメラ映像表示中にビューアイコンにタッチする**



ビューアイコン

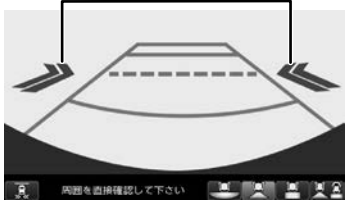
ワイド：
ワイドビューに切り替えます。

車両検知枠



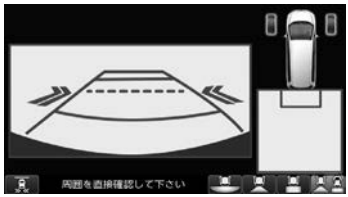
ノーマル：
ノーマルビューに切り替えます。

接近方向矢印



トップダウン：
トップダウンビューに切り替えます。

ダブル：
ダブルビューに切り替えます。



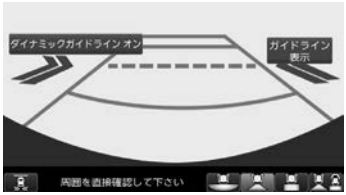
アドバイス

- ガイドラインはリアカメラの設定で表示する / しないを設定できます。（➔ P.157）

■ 操作ボタンを表示する

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

ワイド / ノーマル / トップダウンビュー画面



ダブルビュー画面

ガイドライン表示：
ガイドラインを表示します。もう一度タッチするとガイドラインを消します。

ダイナミックガイドライン　オン：
ダイナミックガイドラインを表示する設定にします。もう一度タッチするとダイナミックガイドラインは表示しない設定になります。

後退駐車サポート表示　オン：
検出した駐車枠と自車の角度のズレを色で表示するラインを表示する設定にします。もう一度タッチすると表示しない設定になります。

アドバイス

- ダイナミックガイドラインは、ハンドルを大きく切ったとき、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り替わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示すラインです。ハンドルの角度に合わせてラインの向きが変わります。

後方死角サポート

車線変更をするときに後方に車が接近していたときなどにアイコンで状態を表示します。

お願い

- **このシステムは隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを知らせ、運転者の車線変更の操作の際にサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。**
- **車線変更の際は、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認して下さい。状況によっては、検知できない可能性がある為、直接確認をせずに車線変更を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで後方死角サポート機能をオン / オフする

画面に表示される後方死角サポートアイコンにタッチすると、一時的に機能をオン / オフすることができます。

1　後方死角サポートアイコンにタッチする

後方死角サポートアイコン

アイコン	機能
(緑色)	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
(緑色)	機能が働く速度に達していません。
(灰色)	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
(赤色)	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
(橙色)	左側に車が接近しています。
(橙色)	右側に車が接近しています。

アイコン	機能
（橙色）	左右両側に車が接近しています。
	車両の左側に車が接近しているときに、左ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
	車両の右側に車が接近しているときに、右ウィンカーを作動させると拡大して表示されます。
（赤色）	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

車線キープサポート

車線から車がはみ出してしまったときに、アイコンで状態を表示します。

お願い

- **このシステムは走行車線から逸脱しそうなときに警報で注意を促すものであり、わき見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨や霧などの視界不良を補助するためのシステムではありません。**
- **常に周囲の状況を確認し、安全運転を心掛けて走行してください。**

走行速度が一定以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

■ アイコンで車線キープサポート機能をオン / オフする

画面に表示される車線キープサポートアイコンにタッチすると一時的に機能をオン / オフすることができます。

1 車線キープサポートアイコンにタッチする

車線キープサポートアイコン

アイコン	機能
（緑色）	機能がオンになっています。このアイコンにタッチすると機能がオフになります。
（緑色）	機能が働く速度に達していません。
（灰色）	機能がオフになっています。このアイコンにタッチすると機能がオンになります。
（赤色）	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	車が左側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。
	車が右側の車線から逸脱しそうになった場合、画面の右側に注意喚起の画像が拡大して表示されます。

アイコン	機能
（赤色）	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部に傷を付けないように拭いてください。

後退駐車サポート

車を後退で駐車するときに、駐車しやすいようにサポートします。

1 セレクトレバーを“R”（リバース）にする

▼

リアカメラの映像が表示され、ガイドラインが表示されます。

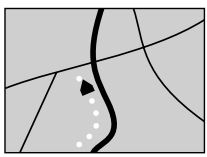
ガイドラインの色によって状態が異なります

ガイド線の色	状態
赤色	駐車枠線が検出できません。
緑色 / 水色 / 青色	検出した駐車枠と自車の角度のズレを色で表示します。
橙色	後退駐車サポート機能がオフになっています。
黄色	システムが故障しています。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

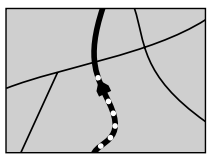
自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチング
していない場合



マップマッチング
している場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3D センサーについて

内蔵の 3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1）次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
- トンネルの中やビル内の駐車場
- 2 層構造の高速道路の下
- 高層ビルの群衆地帯
- 密集した樹木の間

2）GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
3）3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

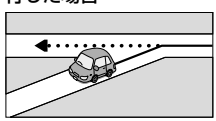
GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

1）電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
2）GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

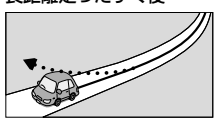
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さい Y 字路を走行した場合

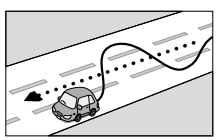


直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後

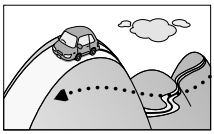


砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合

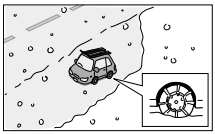
蛇行運転をした場合



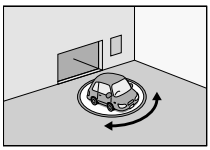
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



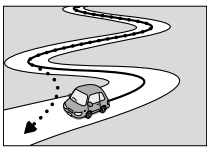
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



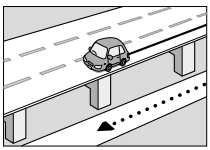
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



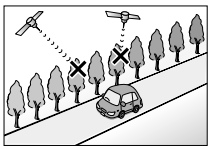
ヘアピンカーブが続いた場合



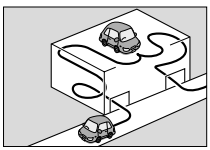
高速道路と側道などが隣接している場合



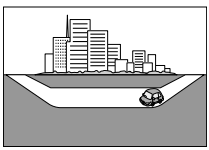
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



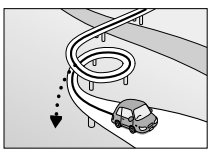
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



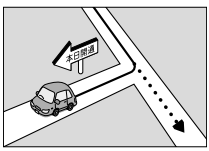
地下駐車場やトンネルなど、GPS 衛星による測位が長時間できない場合



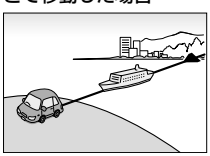
ループ橋などを走行した場合



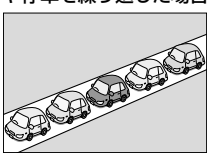
地図データにはない、新設道路を走行した場合



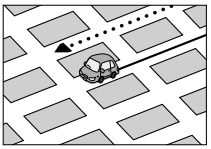
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



暮盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来の GPS 衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称
	信号機
	都道府県庁舎
	市特別区庁舎
	町村指定都市区庁舎
	官庁公共施設
	警察
	消防
文	学校
〒	郵便局
	病院
	デパート / スーパー
	カー用品店
IC	IC
SA	SA
PA	PA
P	パーキング
	工場
	飛行場
	フェリー
	港
¥	料金所
	マリーナ
	史跡名勝
	城跡
	神社
卍	寺院
	教会

記号	名称
	海水浴場
	ゴルフ場
	スキー
	キャンプ
	遊園地
	動物園
	公園
	ホテル
	スタジアム
	スポーツ施設
	植物園
	美術館
	博物館
	水族館
	図書館
	テーマパーク
	城・天守閣
	展望タワー
	温泉
	山頂
	自衛隊
	墓地
	ボウリング場
	サッカー
	競馬場ウィンズ
大	大学
短大	短大

記号	名称
高専	高専
高校	高校
中	中学校
小	小学校
文	その他学校
	保健所
■	税務署
	発電所
■	裁判所
	灯台
IC	スマートIC
■	その他の目的物
	NTT
	サーキット
	テニスコート
	ディスカウントストア
M	ビルアパート名称
	道の駅
	ヘリポート
	乗馬
	体育館
	牧場
	ホール
	自動車学校
	トンネル
	船着場（観光船等）
	野球場

記号	名称
	展望台
サービスエリア（SA）パーキングエリア（PA）	
IC	IC
スマートIC	スマートIC
SA	SA
PA	PA
JCT	JCT
IC JCT	IC/JCT（併設）
IC SA	IC/SA（併設）
IC PA	IC/PA（併設）
SA JCT	SA/JCT（併設）
PA JCT	PA/JCT（併設）
¥	料金所
スマートIC	スマートIC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
オアシス	ハイウェイオアシス
	インフォメーション
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
WC	障害者用トイレ
¥	ATM
	トイレ

・ 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して 1 つのマークで表示されることもあります。

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
  ©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
  (測量法第 44 条に基づく成果使用承認)
  [2017 年 3 月発行データ使用]
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。
  (承認番号　国地企調第 180 号　平成 22 年 9 月 28 日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分 1 国土基本図を使用した。
  (承認番号　平 26 情使、第 74 号 -46 号)
- このデータは、国土地理院の技術資料 C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成 26 年 12 月 10 日撮影)」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。
  (承認番号　平 27 情使、第 199 号 -46 号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
  (承認番号　平 27 情使、第 308 号 -46 号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の応急復旧対策基図を使用した。
  (承認番号　平 28 情使、第 1121 号 -46 号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報) 及び数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地名情報) を使用した。(承認番号　平 28 情使、第 1122 号 -46 号)
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
  URL：http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2018_1.pdf

■交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2017 年 9 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

■駐車場データについて

- 駐車場データは、2018 年 4 月 1 日まで対応する。但し、2017 年 11 月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。
- タイムズデータについては、パーク 24 株式会社が提供するリストに準拠し、2017 年 11 月時点で取得できた情報までに限ります。

■タウンページ / ハローページデータについて

- タウンページデータは、NTT タウンページ株式会社が提供する 2017 年 9 月現在のデータを収録しています。
- 訪問宅 (個人宅) 電話番号データ (ハローページデータ) は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax Ⓡ」2017 年 9 月現在のデータを収録しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

■住所データについて

- 住所データについては 2017 年 10 月時点の住所マスターデータを使用します。
- 市区町村合併については、2018 年 4 月 1 日施行分まで対応しています。但し、2017 年 11 月時点で取得できた情報までに限ります。

■郵便番号データについて

- 郵便番号データは、2017 年 10 月時点のデータを使用しています。
- 大口事務所・私書箱については、2017 年 10 月時点のデータを使用しています。

■料金データについて

- 高速道路 (有料道路を含む) 料金データは、2017 年 9 月調査で 2018 年 4 月 1 日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

■放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは 2018 年 3 月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数 (チャンネル) 変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

■施設情報および個人情報 (電話番号) について

- 電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではございません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ©2017 (一般財団法人) 日本デジタル道路地図協会
- ©2018 INCREMENT P CORPORATION

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および / または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。
使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第 1 条（総則）
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第 2 条（使用権）
1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアのを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条（許諾条件）
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウエア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用､再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）
1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウエア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条（著作権保護）
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条（輸出規制）
1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法 (アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます) に従うことに同意するものとします。

第 12 条（その他）
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ
本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。
当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。
ホームページアドレス
http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。
掲載場所は「設定 / 情報」ー［システム］ーその他内の［オープンソースライセンス］です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- **VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはお買い上げの販売店へお問い合わせください。**
- **VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICS センターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）**

  ＜問い合わせ先＞
  VICS センター
  電話番号
  0570-00-8831
  ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
  ※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。
  電話受付時間
  9:30 ～ 17:45
  （但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
  FAX 受付時間 24 時間
  FAX 番号（全国）03-3562-1719

- **VICS の最新情報について**

  VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
  インターネット URL http://www.vics.or.jp/

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

・VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）
第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
（4）VICS デスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）
第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　VICS サービスは、VICS 対応ＦＭ受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICS サービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応ＦＭ受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第 12 条　1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2.　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第 15 条　1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第 17 条　1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICS サービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］
視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

・ 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD*	DVD ビデオ	○	−
	DVD オーディオ	×	−
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2 層)	○	
	DVD-R DL (2 層)	○	
	DVD-RAM	×	−
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	−
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	−
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	−
	フォト CD	×	−
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	−
その他	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません
*VXM-194VFi のみ

●「Blu-spec CD」、「Blu-spec CD2」 は 再生することができます。

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/ Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW（VXM-194VFi のみ）は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号 (VXM-194VFi のみ)

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。
DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard) には対応していません。
*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

- SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですが、すべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32 または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0*1
デバイスクラス	マスストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

*1：USB3.0 には対応していません。
*2：使用する USB デバイスが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
*3：この他のファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB ハブを介して USB 機器を接続しないでください。
- マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、弊社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック ＼ メディア		CD	DVD*	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます　×：再生できません　*VXM-194VFi のみ

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit*1	16bit	16bit/24bit*1
ビットレート	8k ～ 320kbps, VBR	8k ～ 320kbps	8k ～ 320kbps, VBR	-	VBR	-
サンプリング周波数	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz*2	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz*2
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/ 2.2/2,3/2,4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル : 0 ～ 8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

*1：16bit 相当で再生します。
*2：CD メディアは 48kHz まで対応。48kHz 以上のファイルは、48kHz 相当で再生します。
※タグの文字数は全角 80 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。
※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。
※本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、サイズが 650KB 以下のファイルです。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイルコンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC			MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC
最大ピクチャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080				1920 × 1080	
最大フレームレート	30fps			30fps				30fps	
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。
※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：
半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：
ファイル名　全角 80 文字 (拡張子は除く)
フォルダ名　全角 80 文字
※ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：
¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|
ファイルには正しく拡張子を付けてください。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

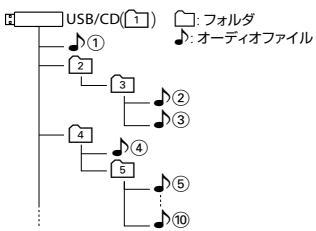
(2) ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：
1 フォルダ内の最大ファイル数：999
ディスク内の最大ファイル数：5000
ディスク内の最大階層数：8（ルートを含む）
- ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります。

USB 機器および SD カード：
1 フォルダ内の最大ファイル数：999
1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999
USB 機器 /SD カード内の最大階層数
：8（ルートを含む）
- 階層数、フォルダ名、ファイル名が最大数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

ファイル名の昇順
ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。
下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



(4) ご使用上の注意事項

- ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

2018 年 4 月現在
○：可能　×：不可

iPod ／ iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン (iOS)	Dock ケーブルで接続	Lightning ケーブルで接続
		音楽再生	音楽再生
iPhone X	11.3.1	×	○
iPhone 8 Plus	11.3.1	×	○
iPhone 8	11.3.1	×	○
iPhone 7 Plus	11.3.1	×	○
iPhone 7	11.3.1	×	○
iPhone SE	11.3.1	×	○
iPhone 6s Plus	11.3.1	×	○
iPhone 6s	11.3.1	×	○
iPhone 6 Plus	11.3.1	×	○
iPhone 6	11.3.1	×	○
iPhone 5s	11.3.1	×	○
iPhone 5c	10.3.3	×	○
iPhone 5	10.3.3	×	○
iPod touch (第 6 世代)	11.3.1	×	○
iPod nano (第 7 世代)	1.0.4	×	○

アドバイス

- iPod/iPhone は最新のソフトウェアバージョンを Apple 社のホームページよりインストールしてご使用ください。
- ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でも iPod/iPhone 側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますので iPod/iPhone 側で操作しないでください。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンは iPod/iPhone 本体の " 情報 " よりご確認ください。
- 各 iPod/iPhone の仕様は iPod/iPhone をお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

使用上のお願い

- iPod/iPhone を車内に放置しないでください。直射日光や高温などによって iPod/iPhone の故障の原因となります。
- iPod/iPhone のユーザガイドもあわせてご確認ください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPod/iPhone のリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod touch/iPhone を接続して使用する際は iPod touch/iPhone 本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
  ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
  電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
  オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
  オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
  Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.3.0 準拠
* SCMS-T 対応
（SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。）

対応コーデック

SBC、AAC

アドバイス

- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

ETC について

ETC とは

インターチェンジやランプなどの料金所では、一旦、停車して通行料金を支払います。これは、現在の 有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム) は、ETC 対応車線に設置されたアンテナと ETC 車載器間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。
ETC によって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。
※ ETC に対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

ETC を利用するには

ETC をご利用になるには、ETC 車載器のほかに、クレジット会社が発行する ETC 専用のカードが必要になります。カードの発行は、カード会社の審査･条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社 へお問い合わせください。
また、ETC をご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法については、ETC 車載器に添付の説明書をご覧ください。

必ず、ETC システム利用規定等をお読みください。

ETC システム利用規程、ETC カードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETC のご利用前に、必ずお読みください。

※利用規定等は、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については 必ずお守りください。

アドバイス

- ETC ゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ご利用時は ETC カードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETC カードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETC カードを ETC 車載器に入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- システム作動中は ETC 車載器内の温度が上昇します。そのため、ETC カードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETC レーンの表示を「OFF」(➔ P.94) に設定している場合は ETC レーンは表示されません。また、ETC レーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETC レーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。

■ 予告案内について

- ETC の利用ができないときは、"ETC が利用できません" と ETC 車載器から予告案内を音声と表示でお知らせします。また、ETC の利用が可能なときは、受信音でお知らせします。
- 予告案内は料金所に予告アンテナ / ETC 予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

初期設定一覧

本機のお買い上げ時の設定は以下になります。

■ ナビ設定

● 地図

項目	設定
地図色／文字サイズ	地図色：1
	文字サイズ：大
	昼夜切替：自動
ランドマーク表示	パターン1：カーディーラー：Honda Cars、ホンダオートテラス
登録地点表示	表示オン（全ての登録地点を表示）
VICS 情報表示	渋滞 / 混雑線の表示：高速道表示する
	渋滞 / 混雑線の表示：一般道表示する
	順調線の表示：高速道表示しない
	順調線の表示：一般道表示しない
	規制情報の表示表示する
	駐車場情報の表示表示しない
自車マーク	
走行軌跡の表示	ON
地図の向き	ノースアップ
地図の向き（小画面）	ノースアップ
フライビューマップ表示	ON
マップコードの表示	ON
緯度・経度の表示	ON
盗難多発地点表示	ON
冠水注意地点表示	ON

● 案内

項目	設定
案内音声の音量	10
案内音声音量の車速連動	ON
案内警告音の出力	ON
ルート案内音声の出力	ON
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に ON
盗難多発地点音声案内	ON
レーン情報の表示	ON
方面看板の表示	ON
高速道分岐イラストの表示	ON
交差点案内図の表示	ON
ETC レーンの表示	ON
AV 画面時の地図割り込み	ON
目的地方向表示	ON
ルート学習	ON

● 探索

項目	設定
優先する探索条件	internavi ルート
internavi ルート探索条件	スマートルート
道幅の広い道路	優先する
スマート IC を利用した探索	OFF
フェリーを利用した探索	OFF
渋滞を考慮したオートリルート	ON

● ETC

項目	設定
ETC 音声の出力	ON
ETC 料金の表示	ON
ETC カード入れ忘れ警告	ON
表示割り込み時間	5 秒
ETC2.0 受信音	ON
ETC2.0 図形情報割り込み	ON
ETC2.0 文字情報割り込み	OFF
ETC2.0 音声自動再生	ON
ETC2.0 アップリンク	ON

■ システム設定

● 音量

項目	設定
スターターボリューム	動作しない
電話送話音量	11
電話受話音量	15
電話発着信音量	15

● 表示

項目	設定
画面の明るさ	イルミ OFF：0　イルミ ON：0
映像画面の時計表示	ON
映像画面以外の時計表示	ON

● カスタマイズ

項目	設定
オプションボタン	(割り当てなし) フロントカメラ接続時： フロントカメラ切替 * コーナーカメラ接続時： コーナーカメラ切替 *
ショートカットボタン	ショートカット 1： 案内中止 ショートカット 2： 再探索 ショートカット 3： ルート表示 ショートカット 4： 周辺で食事 ショートカット 5： 周辺の駐車場 ショートカット 6： 割り当てなし

● 車両

項目	設定
車両ナンバー	5・7
リアカメラ次回表示ビュー	前回表示ビューと同じ
フロント / コーナーカメラ自動表示 *	OFF
フロント / コーナーカメラ登録地点検知 *	ON
フロント / コーナーカメラインジケータ表示 *	ON
後退出庫サポート *	ON
後方死角サポート *	ON
車線キープサポート *	ON
後退駐車サポート *	ON
運転支援警報音 *	中
パーキングセンサー表示割り込み	ON

● サウンド設定

項目	設定
車両タイプ	選択しない
リスニングポジション	全ての座席
イコライザー	0
バランス	センター
フェーダー	センター
Drive Equalizer +	ON
バスブースト	OFF
スペースエンハンサー	OFF
サウンドライザー	OFF
リアライザー	ON
ソースレベル調整	全ソース 0

● その他

項目	設定
セキュリティ	ON
セキュリティインジケータ	ON
操作音の出力	ON
iPhone との接続方法	USB
表示言語	日本語
音声言語	日本語

● Bluetooth 設定

項目	設定
Bluetooth	ON
PIN コード	0000
ナビのデバイス名	Gathers
オートペアリング	ON
着信の自動応答	OFF

● 情報

項目	設定
VICS 情報	FM 選局モード：自動

項目	設定
NaviCon 友達マップ*	友達マップ表示：OFF

● 音量調整

項目	設定
AV 音量	3
交通情報音量	3
ドライブレコーダー映像音量	3

● 画質調整

項目	設定
ブライトネス	イルミ OFF：0　イルミ ON：0（ＤＶＤ*、ＳＤ/ＵＳＢ、ＴＶ*、リアカメラ、フロントカメラ*、コーナーカメラ*、ドライブレコーダー）
コントラスト	イルミ OFF：0　イルミ ON：0（DVD*、SD/USB、TV*、リアカメラ、フロントカメラ*、コーナーカメラ*、ドライブレコーダー）
色の濃さ	イルミ OFF：0　イルミ ON：0（ＤＶＤ*、ＳＤ/ＵＳＢ、ＴＶ*、リアカメラ、フロントカメラ*、コーナーカメラ*、ドライブレコーダー）
色合い	イルミ OFF：0　イルミ ON：0（リアカメラ、フロントカメラ*、コーナーカメラ*、ドライブレコーダー）
アスペクト	DVD*：オート　SD：オリジナル　USB：オリジナル

アドバイス
・ TV、カメラは画面表示サイズ（アスペクト）の設定はできません。

● FM/AM/ 交通情報

項目	設定
FM 周波数	76.0MHz
AM 周波数	522kHz
交通情報	1620kHz
プリセット	エリア
FM プリセット周波数（お気に入り 1/2）	76.0/78.0/80.0/83.0/86.0/90.0/76.0/76.0 (MHz)
AM プリセット周波数（お気に入り 1/2）	522/603/999/1404/1629/1629/522/522 (kHz)

● TV*

項目	設定
受信エリア	東京
受信チャンネル	13ch
プリセット	エリア
音声、二重音声	音声 1 主
映像	映像 1
字幕	表示 OFF
文字スーパー	第一言語
受信モード切替	自動切替
1Seg ／ 12Seg 自動切替設定	標準
中継局 / 系列局サーチ	自動切替 (中継局＋系列局)
バックグラウンドサーチ	ON

● DVD*

項目	設定
メニュー言語設定	日本語
音声言語設定	英語
字幕言語設定	日本語
ダイナミックレンジコントロール	ダイアログ

● SD/USB

項目	設定
リピート設定	ALL
ランダム設定	OFF

● internavi

項目	設定
フローティングカー情報提供	ON
ルート案内時連動取得	全ての情報
図形情報割り込み	ON
情報センターからの音声割り込み	ON
気象警戒エリアの表示	ON
気象予報アイコンの表示	ON
気象情報割り込み表示	ON
情報取得設定	常時通信

*:VXM-194VFi のみ

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

● **共通**

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、エンジンスイッチをオンにしたときに、通常より暗い場合があります。エンジンスイッチをオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画面の明るさが暗い設定になっている。	画面の明るさを調整してください。 (➔ P.30)
画面が見にくい。	見る角度によって画面の明るさ、色、画質が変わります。	画面の明るさ、映像の画質を調整してください。(➔ P.30、P.70)
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(➔ P.70)
カメラ映像に切り替わらない。	カメラが正しく接続されていない。	Honda 販売店で、正しく接続してください。
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(➔ P.97)
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。

● **ナビ機能**

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは 500m 以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに 300 か所が登録されている。	不要な登録地点を削除してください。 (➔ P.66)
経由地を設定できない。	すでに 5 か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。 (➔ P.60)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。

症状	考えられる原因	対処方法
音声案内されない。	案内音声出力が“OFF”に設定されている。	案内音声出力を“ON”に設定してください。(➔ P.94)
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 100 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、100 か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPS アンテナの設置場所が悪い。	GPS アンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICS のレベル 3（地図表示情報）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、10m ～ 1km（一般道は 10m ～ 400m、一般道の駐車場情報は 10m ～ 200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。(➔ P.91)
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“自動”に設定してください。(➔ P.95)
	イルミネーションコードが接続されていない。	Honda 販売店で、正しく接続してください。
	—	イルミ減光キャンセル機能を操作してください。(➔ P.21)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	**【現在地】**を押して現在地図画面に切り替えてください。(➔ P.33)
	画面がオフになっている。	**【現在地】**を押すか、画面にタッチしてください。(➔ P.31)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	Honda 販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音量を大きくしてください。(➔ P.94)

症状	考えられる原因	対処方法
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。（➜ P.188）
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。（➜ P.188）
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	⏏ を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置（約 1 時間）してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	⏏ を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。（➜ P.78）
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD の禁止マーク “ ⃠ ” が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。

症状	考えられる原因	対処方法
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● TV（VXM-194VFi）

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	Honda 販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。（➜ P.75）
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。（➜ P.75）
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。（➜ P.75）
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	● 見通しのいい場所に移動してください。 ● ワンセグに切り替えてください。
	ワンセグ /12 セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	● iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 ● iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	エンジンスイッチをオンにしてください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しないで接続してください。
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(➜ P.188)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、| ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていない。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。(➜ P.110) 記載されていない場合は “0000” を試してください。
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中です。または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳の登録中などには、音声が途切れる場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。 問題が解消されない場合は Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。

メッセージ	対処
地デジアンテナに異常があります。接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
GPS アンテナに異常があります。接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
車速パルスに異常があります。接続を確認してください。問題が解消されない場合は Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。
カメラとの接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
カメラ映像を表示できません。	Honda 販売店にご相談ください。
カメラエーミングを実施してください。	Honda 販売店にご相談ください。
リアカメラ de あんしんプラスが使用できません。リアカメラを拭いてください。	カメラが汚れています。乾布などでレンズ部を傷を付けないように拭いてください。
暗証番号が違います。忘れた場合は、Honda 販売店にお問い合わせください。○○回失敗。	正しい暗証番号を入力してください。「○○」は誤入力を行った回数です。最大 10 回まで入力可能です。 暗証番号を思い出せない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
規定回数以上コード入力を間違えたため入力できません。 忘れた場合は、Honda 販売店にお問い合わせください。 入力可能まで残り○○分。	入力操作がロックされた状態です。「○○」分経過後に正しい暗証番号を入力してください。 暗証番号を思い出せない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
ステアリングリモコンキーの機能登録ができませんでした。	Honda 販売店にご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般優先」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC ユニットとの接続を確認してください。	Honda 販売店にご相談ください。
ETC に異常が検出されました。 販売店に連絡してください。(04)、(06)、(07)、(09)、(10)	ETC に異常が検出されました。Honda 販売店にご相談ください。
ETC カードを確認してください。(01)、(02)、(03)、(05)	● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

メッセージ	対処
ETC カードが挿入されていません。	● ETC カードを挿入してください。 ● ETC カードを差し込み直してください。 ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。
ETC ユニットがセットアップされていません。	Honda 販売店にご相談ください。
ETC ユニットのセットアップは行われませんでした。	セットアップができませんでした。Honda 販売店にご相談ください。
ETC がご利用できません。	ETC 車線が通行できません。料金所の係員の指示に従ってください。
情報が取得できませんでした。	● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カード認証中です。しばらくお待ちください。 ● 問題が解決しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
ETC 履歴がありません。	● ETC カードに履歴情報が記録されていません。 ● 問題が解決しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
中断しました。	故障ではありませんので、もう一度操作してください。

● **AV（共通）**

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(➜ P.188)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● **AV(Disc)**

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。(➜ P.78) または、Honda 販売店にご相談ください。
DISC メカに異常が発生しました。 Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。

● **AV(地デジ)**

メッセージ	対処
この受信機ではご覧になることができません。Honda 販売店にお問い合わせください。	Honda 販売店にご相談ください。
この受信機ではご覧になることができません。	Honda 販売店にご相談ください。
ご覧のチャンネルのサービス構成が変更されました。ホーム及びお出かけモードのプリセット番号をすべて削除します。 再度初期スキャンを実施してください。	[閉じる] ボタンをタッチした後、初期スキャンを再度行ってください。

● AV(USB)

メッセージ	対処
非対応デバイスが接続されました。	本機で再生できないデバイスが接続されました。 187 ページの「本機で再生できる USB 機器」をご覧ください。
USB Hub の接続には対応していません。	本機は、USB ハブを介して接続した機器を再生することはできません。

● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は 1000 件（1 件最大 5 番号まで）までです。不要な電話帳の登録を削除してください。（➜ P.116）

● internavi

メッセージ	対処
認証に失敗しました。	●「登録完了のご案内」を確認して、再度パスワード（暗証番号）を正しく入力してください。 ● パスワード (暗証番号) を正しく入力してもメッセージが表示される場合は、「会員 ID（フレーム No.）とパスワード（暗証番号）の入力」（➜ P.120）を参照しフレーム No. が正しく登録されていることを確認して、未入力あるいは間違って入力されていた場合は修正してください。（フレーム No. は AB1-1001234 のような形式です。アルファベットが大文字であることをご確認ください）。それでも接続できない場合は、Honda 販売店または Honda Total Care コールセンターへお問い合わせください。
フレーム No. が正しく入力されていません。 internavi システム設定のフレーム No. 設定が必要です。	
USB 通信機器の接続先を確認してください。	「リンクアップフリー専用通信機器について」（➜ P.119）を参照して、専用通信機器を正しく接続してください。
USB 通信機器が切断されました。	●「リンクアップフリー専用通信機器について」（➜ P.119）を参照して、専用通信機器を正しく接続してください。 ● Honda 販売店にお問い合わせください。
ただいま接続できません。	
情報の取得に失敗しました。	● 再度操作を行ってください。 ● 通信圏内に移動して操作してください。
情報を取得できません。	
サーバが混み合っています。	しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。
サーバが停止しています。	しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。
サーバエラーのため情報を取得できません。少し時間をおいてから、再度実行してください。	しばらくしてからインターナビ情報を取得してください。

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
受信感度	-145dBm
位置更新時間	0.25 秒
VICS	FM 多重（内蔵)、ETC2.0 対応（別売）

● モニター部

種類	液晶カラーモニター
画面サイズ (幅x高さx対角)	7.0V型ワイド (156.6 × 81.6 × 176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源 (照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W × 4
スピーカーインピーダンス	4 ～ 8 Ω

● 地上デジタルチューナー部 *

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式（日本）（ワンセグ対応）
受信チャンネル	UHF13 ～ 52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)		76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)		522kHz～1629kHz (9kHz)
実用感度	FM	15dB
	AM	37dB
S/N比	FM	55dB(30kHz L.P.F.使用)
	AM	50dB(30kHz L.P.F.使用)
ステレオセパレーション		FM　30dB(30kHz L.P.F.使用)
歪率	FM	0.3%
	AM	0.5%

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V ⎓ 1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD*/CD 部

信号方式 *	NTSC
対応ディスク	DVD-Video*, DVD ± R/ ± RW/ ± R DL*, CD-DA, CD-R/-RW, SACD（CD LAYER ONLY）
リージョン番号 *	2
サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/ 48kHz/96kHz
周波数特性	20 ～ 20.000Hz
量子化ビット数	16/20/24bit（直線）
S/N 比	96dB
高調波ひずみ率	0.1%以下（1kHz）
ダイナミックレンジ	94dB
ステレオセパレーション	90dB

● 対応メディア

DVD-Video*		DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA		8cmCD 非対応
DVD*/CD	音声	MP3, WMA, AAC, WAV
USB/ SD	音声	MP3, WMA, AAC, FLAC, WAV, Vorbis
	映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	13.2V (10.0V ～ 16.0V)
消費電流	VXM-194VFi: 約 3.0A(CD 再生出力 1W 時) VXM-194Ci: 約 2.6A(CD 再生出力 1W 時)
使用温度範囲	-30℃～+ 70℃
本体	外形寸法 (W × H × D) 191mm × 111.5mm × 181mm
	埋込寸法 (W × H × D) 180mm × 100mm × 158mm
	質量 (重さ) 2.7 kg
GPS アンテナ	外形寸法 (W × H × D) 33mm × 12.8mm × 36mm
	ケーブル長 2m
	質量 (重さ) 60g

● 入出力端子

電源入力端子	24 ピン専用コネクター
GPS アンテナ入力端子	GPS コネクター
ラジオ入力端子 (VICS 入力端子)	3 ピン専用コネクター (ラジオ入力端子と共用)
ETC 端子	5 ピン専用コネクター
AUX コード接続端子 *	8 ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8 ピン専用コネクター
フロント / コーナーカメラ端子 *	7 ピン専用コネクター
USB 端子	4 ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3 ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子 *	GT13 ピン専用コネクター
LUF 入力端子	4 ピン専用コネクター
ETC2.0 接続端子	4 ピン専用コネクター
車両通信接続端子	20 ピン専用コネクター
ドライブレコーダー接続端子	12 ピン専用コネクター

*:VXM-194VFi のみ

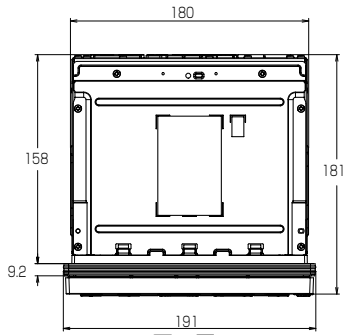
これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

構成内容

外形寸法図 （単位：mm）

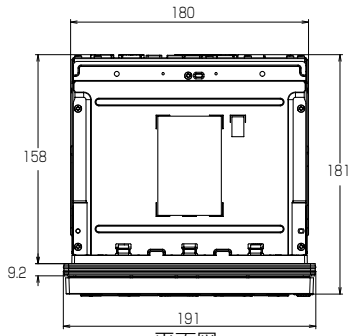
本体

■ VXM-194VFi



平面図　右側面図

■ VXM-194Ci



平面図　右側面図

GPS アンテナ

平面図　側面図

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

● 調子が悪いとき
まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
● それでも調子が悪いとき
保証規定に従い修理させていただきますのでお買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
● 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
● 補修用性能部品
製造打切り後、最低 6 年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod nano, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。
Copyright© 2018 Ubiquitous Corp. All rights reserved.

Ubiquitous

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

FontAvenue

「ETC」、「ETC2.0」は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2018 All Rights Reserved.

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立超 LSI システムズの登録商標です。

Ruby Talk®
with
Hitachi Speech Synthesizer

libFLAC
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg
Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis
Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

A
AM/FM 72
AUDIO メニュー画面 69
AV 画面 69

B
Bluetooth オーディオ機器の再生 118

E
ETC 車載器 144
ETC レーン表示 58

I
internavi 設定 138
internavi ルート 51
iPod の接続 / 取り外し 84

P
PIN コード 110

T
TV を視聴する 74

U
USB 機器の接続 / 取り外し 82

V
VICS 情報 88

あ
アスペクト（画面表示サイズ） 70
案内を開始する 51
案内を中止する 63

い
インターナビ 14

お
オートペアリング 108
オートリルート 63
オープニング画像 29
オプションボタン 103
音声案内について 56
音声案内の音量 94

か
外形寸法図 206
外部機器 86
画質を調整 70
画面の明るさ 30
画面のオン / オフ 31
画面の操作 25
画面をカスタマイズ 28

き
緊急サポート 142

け
経由地の削除 60
経由地の順番変更 59
経由地を追加 59
現在地図画面 33
現在地の修正 96
検索履歴の削除 45

こ
交差点案内図の表示 57
後退出庫サポート 167, 171
高速道分岐イラストの表示 57
高速道路でのルート案内 55
後退駐車サポート 175
交通情報 73
後方死角サポート 168, 173
コーナーカメラ 153

さ
再生できるオーディオ / ビデオフォーマット 188
再生できるディスクメディア 186
サウンド設定 97

し
システム設定 100
自宅に帰る 38, 40
自宅の登録 37
車線キープサポート 169, 174
ジャンル検索 42, 47
住所検索 43
渋滞を配慮したオートリルート 52
情報メニュー 87
ショートカット機能 32
初期スキャン（TV） 75

す
ステアリングリモコン 162

せ
セキュリティインジケータ 104
セキュリティ機能 104
セキュリティコード 104
設定メニュー 87

そ
走行軌跡の表示 95
走行軌跡を消去 95
操作音の出力 101
ソースレベル 100
ソースを切り替える 69

た
ダイナミックレンジコントロール（DVD） 81

ち
地図データ更新サービス 143
地図の縮尺 34
地図表示の設定 95
地点登録 64

て
ディスクの出し入れ 78
デモ走行 62
電源オン / オフ 22
電話帳 115, 116
電話番号検索 44
電話をかける 113, 115, 117

と
登録機器の削除（Bluetooth） 110
登録地点検索 46
登録地点の編集 65, 66

な
ナビ設定 93

は
パーキングセンサー 160
バージョン情報 105
ハイウェイモード画面 55
ハンズフリー通話 112

ふ
フライビューマップ表示 93
フロントカメラ 153

ほ
方面看板 94

め
メッセージ 200

も
目的地の削除 60
目的地付近の地図表示 62
目的地メニュー 40
文字の入力 67

ゆ
ユーザーイコライザー 99

ら
ラジオ 72

り
リアカメラ 156
リアカメラ de あんしんプラス 159, 166, 170
履歴検索 45
リンクアップフリー 119

る
ルート案内の開始 51
ルート案内の中止 63
ルート学習 52
ルートの再探索 58

00_19KC_Navi.indb 211 2018/06/05 8:59

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～ 12時、13時～ 17時／
但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

■ インターナビおよびリンクアップフリー、緊急サポートの
サービスについてのお問い合わせは、
Honda Total Careコールセンター までお願いします。

本田技研工業株式会社
「Honda Total Care コールセンター（会員専用）」

【会員専用窓口】 フリーダイヤル 0120-215656
（受付時間　9時～ 12時、13時～ 17時／
ゴールデンウィーク・夏期・年末年始休業を除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号
製造元　株式会社JVCケンウッド　〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

この QR コードは生産管理用です。操作説明とは一切関係ありません。

PART NO. 08A40-4Y0 -4000-8A
PART NO. B5A-2490-00